



○周東政府委員 第一點ニ付テハ、大體御話ノヤウニ業態別ニ許可ヲ致ス積リデアリマス、ソレカラ第一點ニ付キマシテハ、大體只今營ンデ居リマスル者ニ付キマシテハ、テハソレデハ絕對ニ許サヌノカト云フ御話デゴザイマスガ、ソレハ其ノ地方ニ於ケル米穀ノ買入、賣渡等ノ業ニ携ツテ居リマスル者ノ分布狀況、米穀ノ消費狀況、移入取引狀況ト云フヤウナモノヲ考慮シマシテ、許可ヲ致シテ參ル譯デアリマスカラ、必ズシモ許可ヲ致サナイ譯デハゴザイマセヌ。

○山田委員 尚ホ念ノ爲ニ御聽キシテ置キ

ト云フコトニナリマスガ、米ヲ買入レル者ハ同時ニ賣渡ス者デアリ、或ハ賣買ノ仲介ノ業ヲヤルト同時ニ、自分デモ賣買ノ衝ニナリマセウカ

○周東政府委員 ソレハ小賣業或ハ卸賣業、媒介業ト云フヤウナ業別ニ許可ヲ致シテ参ルノデアリマス

○山田委員 兼業ヲ許サヌノデスカ

○周東政府委員 兼業モ勿論許シマスガ、

其ノ場合ニ於キマシテハ別々ニ許可ヲシテ行ク、斯ウ云フコトニナリマス

○山田委員 其ノ次ニ御聽キ致シタコトハ、第五條ノ地區ハ市場毎ニ認可ヲ受クベシト云フコトニナツテ居リマスルシ、命令ニ依ツテ地區ヲ決定スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ「市場毎」トアルガ、是ハ全國ニ何箇所位許可ニナリマスカ、其ノ許可スル場所ハ、今ノ所デハ何處々ノ御見込デアリ、御豫定デアルカ、ソレヲ御聽キ致シタイ

○周東政府委員 只今ノ所ハ差當リ現在市場ノアリマスル場所ナリ、其ノ縣ヲ考慮ニ入レテ居リマスガ、實施ノ場合ニ於キマシテ、能ク地方ノ事情ヲ考慮シマシテ、其ノ間多少ノ變更ガアルコトハアラウカト考ヘテ居リマス

○周東政府委員 農業倉庫等ガ、只今御話ノヤウナ仕事ヲ致シマス場合ニ於テハ、五條ノ第三項ノ關係ニハ入ラナイノデアリマス、隨テ類似施設ヲ爲シタコトニハナラナハ此ノ法規ニ依ツテ出マスル勅令等デ定メマスル取引ノ仕方ニ隨ツテ行フ賣買取引ト云フモノト同様、又ハ類似ノ施設ヲ爲シ、又ハ其ノ施設ニ依リ取引行爲ヲ致ス場合ヲ指スノデアリマス

○山田委員 此ノ類似ノ施設ヲ爲ストカ、或ハ其ノ施設ニ依ツテ取引ヲ爲スコトヲ得ズト云フ規定ガアルノデアリマスガ、此ノ類似ト云フヤウナコトガアリ勝チナンデアリマスカラ、是等ノ兼業ヲシテ色々ナ營業ヲヤリタイト云フ者ニ對シテモ、御許可ニナリマセウカ

○周東政府委員 農業倉庫等ガ、只今御話ノヤウナ仕事ヲ致シマス場合ニ於テハ、五條ノ第三項ノ關係ニハ入ラナイノデアリマス、此ノ地方ニ市場ガ出來、此ノ地方ノ所謂賣市場ニ米ガ集マル、更ニ消費市場ニ米ガ集マルト云フコトニナリマスルト、米ノ運搬ニ對シテ重複ナル移動ガ行ハレ、更ニ取引ニ付キマシテ重複ナル移動ガ行ハレルコトニナリマシテ、取引ガ圓滑ヲ缺キ経費ガ餘計ニナルノデハナイカト云フコトヲ心配スル、其ノ點ハドウ云フコトニナリマスカ

○周東政府委員 米ノ實物ヲ必ズシモ市場ヘ持ツテ來テ、其處デ米ノ受渡ヲスルト云フヤウ古積リデハゴザイマセヌ、ヤハリ御話ノヤウニ米ノ引渡ト云フモノト、賣買行爲ト云フモノハ別ニ考ヘテ居リマスカラ、御話ノヤウナコトハ起ラナイモノト考ヘテ居

人ガ十分或ハ二十人ト云フ工合ニ、月ニ六回トカ八回トカ決メテ集リマシテ其處ニ取引ヲスル、其ノ取引ノ狀態ハ、或ハ入札賣アリマシテ、値段ヲ決定スル、決定スレバヲスルコトモアリ、或ハロ耀ラスルコトモアリマシテ、値段ヲ決定スル、決定スレバ其ノ値段ニ依ツテ其ノ日ノ賣買ヲ終了スル、斯ウ云フ賣買ヲ今現ニ行ツテ居ル所ガアリマスガ、是ハ市場行爲等ニ付テハドウ云フ風ニ御覽ニナリマセウカ

○周東政府委員 農業倉庫等ガ、只今御話ノヤウナ仕事ヲ致シマス場合ニ於テハ、五條ノ第三項ノ關係ニハ入ラナイノデアリマス、此ノ地方ニ市場ガ出來、此ノ地方ノ所謂賣市場ニ米ガ集マル、更ニ消費市場ニ米ガ集マルト云フコトニナリマスルト、米ノ運搬ニ對シテ重複ナル移動ガ行ハレ、更ニ取引ニ付キマシテ重複ナル移動ガ行ハレルコトニナリマシテ、取引ガ圓滑ヲ缺キ経費ガ餘計ニナルノデハナイカト云フコトヲ心配スル、其ノ點ハドウ云フコトニナリマスカ

○周東政府委員 米ノ實物ヲ必ズシモ市場ヘ持ツテ來テ、其處デ米ノ受渡ヲスルト云フヤウ古積リデハゴザイマセヌ、ヤハリ御話ノヤウニ米ノ引渡ト云フモノト、賣買行爲ト云フモノハ別ニ考ヘテ居リマスカラ、御話ノヤウナコトハ起ラナイモノト考ヘテ居

リマス

○長野委員 一寸關聯シテ……只今ノ類似ノコトデアリマスガ、例ヲ舉ゲテ申シテ見マスルト、販賣組合ガ倉庫ニ米ヲ千俵持ツテ居ル、ソレヲ販賣スルニ付テ地方ノ人ガ十人ナリ十五人ナリ商人ガ集ツテ居ル、サウストゾレヲ入札ノヤウナモノニ依ツテ現在賣ツテ居ル、其ノ行爲ハ類似行爲デアルカナイカト云フコトヲ、先刻カラ御聽シテ居ルモノト私ハ考ヘマス、其ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 ソレハ農業倉庫等ニ於テヤツテ居ル行爲ニ付キマシテ、大體是ハ單ノ賣手即チ農業倉庫ノ所ヘ多數ノ買受人ガ集マツテ來テ居ルト云フヤウナ狀況デアリマシテ、是ハ本法ニ定メマスル市場不特定多數ノ買手ト、不特定多數ノ賣手ガ集マリマシテ、其ノ間ヲ取纏メルト云フヤウナ市場トハ違ツテ考ヘテ居リマス、實際ヲ申上ゲマス、私共ノ方ニ磐城購販聯ト云フノガアリマス、是ハ農業倉庫デアリマスルカラ色々ナ人ノ米ヲ澤山扱ツテ、同時ニ金融モ致シテ居リマス、サウスト其ノ米ノ中ニハ脇カラ買入レタ米モアリ、生

マスルト、販賣組合ガ倉庫ニ米ヲ千俵持ツテ居ル、ソレヲ販賣スルニ付テ地方ノ人ガ十人ナリ十五人ナリ商人ガ集ツテ居ル、サウストゾレヲ入札ノヤウナモノニ依ツテ現在賣ツテ居ル、其ノ行爲ハ類似行爲デアルカナイカト云フコトヲ、先刻カラ御聽シテ居ルモノト私ハ考ヘマス、其ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 販賣組合若クハ農業倉庫ニ於キマシテノ販賣ハ、御承知ノ通リ是ハ生産者ノ生產致シタ米ヲ共同販賣致スノデアリマス、御話ノヤウニ外カラ買ツテ、ソレヲ更ニ賣ルト云フ行爲ハ産業組合ニハ許サレナイ行爲ト思ヒマス、ソレハナイト思ヒマス、隨ヒマシテ生産者ノ生產致シタ米ヲ纏メマシテ賣手ガ一ツデ、其處へ買手ガ多數集マリマス、ソレハ本法ニ謂フ市場トハ違フノデアリマス、本法ノ市場ハ先程申シマシタヤウニ不特定多數ノ賣手ト、不特定多數ノ買手トガ集マリマシテ、其處デ賣買行爲ヲ致シマス、サウ云フモントハ區別致シタイト思ツテ居リマスガ、ソレナラバ

○周東政府委員 御話ノヤウニ農業倉庫デ合ガアリマス、ソレヲソコデ賣ルト云フヤウナコトガアリマシテモ、是ハ農業倉庫ガ其ノ賣買行爲ヲヤル譯デハアリマセヌ、是ハ何處マデモ類似施設トハ認メナインデアリマス

○山田委員 此ノ第八條ノ命令ニ、取引ノ方法ニ付テ現物取引、未著物取引、延取引、斯ウ云フコトニ分ケテ居ルノデアリマス、其サレナイ行爲ト思ヒマス、ソレハナイト思居リマスガ、取引員ニナリ得ル資格デアリノ中ノ主ナルモノハ全販聯ト申上ゲタノデアリマスガ、縣販聯等モ能ク實際ニ即シマシテ必要ガアレバ、考慮出來ル譯デアリマス、併シ其ノ主ナルモノハ全販聯デアルトコトニナツテ居リマスルガ、生産者ノ團體ド云フモノハ「米穀取扱業者及其ノ團體並ニ」居リマスガ、此ノ資格ガ生産者ノ團體ト云フマスルガ、此ノ資格ガ生産者ノ團體ト云フコトニナツテ居リマスルガ、生産者ノ團體ト云フモノハ「米穀取扱業者及其ノ團體並ニ」居リマスガ、其ノ主ナルモノハ全販聯一ツヲ指シタモノデアル、斯ウ云ハ全販聯一ツヲ指シタモノデアル、斯ウ云

○山田委員 今一度御聽致シマスガ、サウフ御解釋デアリマセウカ

○周東政府委員 是ハ産業組合聯合會ヲ意味シテ居リマスガ、其ノ主ナルモノハ御話スルト其ノ米ガ生産者ノ手カラ販賣組合ノ手ニ集ツテ來タモノナラバ、決シテ市場トノヤウニ全販聯ヲ考ヘテ居リマス

○山田委員 産業組合聯合會ト言ヘバ府管ニ屬シテ居ルノデアリマスガ、商工省ノ

ツテ買ツタ米ガ賣買サレル場合ニハ、市場ト見做ス、斯ウ云フヤウニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○周東政府委員 御話ノヤウニ農業倉庫デハ商人ノ手ニ移ツテ暫定的ニ保管サレル場合ガアリマス、ソレヲソコデ賣ルト云フヤ合ガアリマス、ソレノモト云フ

ハ商人ノ手ニ移ツテ暫定的ニ保管サレル場合ニ殆ド市場ト類似ノ取引ト私ハ思ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ差支ナイト云フコトニナリマセウカ

○周東政府委員 只今申上ゲマシタヤウニ米穀生産者ノ團體ト云フ中ニハ、産業組合聯合會ト云フモノガアルノデアリマス、其ノ中ノ主ナルモノハ全販聯ト申上ゲタノデアリマスガ、縣販聯等モ能ク實際ニ即シマシテ必要ガアレバ、考慮出來ル譯デアリマス、併シ其ノ主ナルモノハ全販聯デアルト云フコトニナツテ居リマスルガ、生産者ノ團體ト云フモノハ「米穀取扱業者及其ノ團體並ニ」居リマスガ、此ノ資格ガ生産者ノ團體ト云フマスルガ、此ノ資格ガ生産者ノ團體ト云フコトニナツテ居リマスルガ、生産者ノ團體ト云フモノハ「米穀取扱業者及其ノ團體並ニ」居リマスガ、其ノ主ナルモノハ全販聯一ツヲ指シタモノデアル、斯ウ云ハ全販聯一ツヲ指シタモノデアル、斯ウ云

○山田委員 此ノ取引ノ團體ノ中ニ「米穀取扱業者及其ノ團體」トナツテ居リマスガ、生産者ノ方ハ宜シウゴザイマスガ、此ノ「米穀取扱業者及其ノ團體」ト云フノハ、商工省ノ所管ニ屬シテ居ルノデアリマスガ、商工省ノ



シテ此ノ會社ニ關興、サセルト云フコトノ必  
要ガ當然アラウト思ヒマスガ、ソレヲ取引  
所及ビ是マデノ市場ニ優先權ヲ與ヘルノ  
ハ、狭イ範圍ノ株主ニナツテシマヒ、株ヲ  
制限スルト云フヤウナ傾向ニナラウト思ヒ  
マスガ、其ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ  
○松村政府委員 其ノ點ハ斯ウ云フ國策會  
社デアリマシテ、重役モ大體政府デ任命ス  
ルノデゴザイマスカラ、株ガ何處ニ集ツ  
テ居リマセウトモ會社ノ目的ヲ達成スルノ  
ニハ影響ガナイコト思ヒマス、隨ヒマシ  
テ是ハ此ノ間モ申上ゲマシタ通リニ、從來  
取引所ノ株ヲ持ツテ居ツタ者ニ大體優先サ  
セタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○山田委員 是ハ理事幹事等ヲ推薦スルノ  
ハ株主ノ權利デアツテ、理事長及ビ副理事  
長ヲ政府ガ任命スル、斯ウ云フコトニナル  
ノデハナイデセウカ

○周東政府委員 理事長、副理事長ダケヲ  
政府ハ任命致シマスガ、其ノ他ニ付キマシテ  
ハ株主總會デ選任シタル者ニ就テ政府ガ認  
可ヲ與ヘルト云フ手續ヲ執ルコトニ致シマ  
ス、ソレデ十分ナル監督ハ出來ル、斯様ニ考  
ヘテ居リマス

○山田委員 今日ノ米穀事情ノ上ニ於テ非  
常ナル徒勞ガ行ハレテ居ルノデアリマス、  
出来ルコトデハゴザイマセスカラ、此ノ法

案以外ノ施設ト相俟ツテ、其ノ目的モ出來  
ルダケ達成スルヤウニ致シタイト思ヒマス、  
スガ、此ノ點ニ付キマシテ御伺シテ置キマ  
スハ、縣内ノ生產米ニ對シテモ既ニ三四四十  
万石モ足リナ、百万俵ノ米ガ足リナイト  
云フ縣デアリマスガ、出來秋ニハ少クトモ  
五六十万俵ノ米ヲ東京ニ賣出シテ居ル、是  
ハ單リ長野縣バカリデナク、東北地方ナド  
ハ殊ニ生活ノ程度ガ低イ所デアリマスカ  
ラ、自己ノ飯米ヲ悉ク賣出シテ、更ニ夏カ  
ラ秋ニ掛ケテ飯米ヲ買入レルト云フヤウナ  
コトヲシテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ徒  
労ヲ防イデコソ、需給ノ調節ガ取り得ルダ  
ラウト思ツテ居リマスガ、是ハ全國的ニ見  
タナラバ非常ナ大多數ノモノダラウト思  
フ、何千万俵ト云フ米ヲ或ハ運出し或ハ積  
戻スト云フヤウナコトヲ、年々繰返シテ居  
ルノデアリマスガ、是等ニ對スル御對策ハ  
御持チニナリマセヌデセウカ、此ノ點御伺  
致シタイ

○松村政府委員 サウ云フ點ニ付テ遺憾ナ  
コトモ御話ノ通り相當ニアラウト思ヒマス、  
併シナガラソコマデ立入ツテ今直グニ其ノ  
商習慣ノ上ニ於キマシテハ、一時ニ容易ニ  
ガ、是等ハドウ云フ種類ノ許可ヲ與ヘルノ

業者即チ問屋デアリマス、是ハ當然市場員  
トシテノ許可ヲ與ヘルモノト考ヘテ居リマ  
スガ、此ノ點ニ付キマシテ御伺シテ置キマ  
ス

○周東政府委員 御話ノ點ハ米穀ノ買入若  
クハ賣渡又ハ其ノ代理若クハ媒介ノ業務ヲ  
モ出來ナイト云フヤウナ關係ガアリマスノ  
デ、此ノ配給統制ノ考ヘ方デハ參リマセヌ  
カラ、ソレ等ノ點ニ付テモ相當ニ考慮ハ致  
アラウカト存ジマス

○山田委員 是ニテ私ノ質問ヲ終リマス

○添田委員長 小平君

○小平委員 私ハ連日ノ各委員諸公ノ質問

ニ依リマシテ、本法ノ全貌ハ大體分リマシ

タガ、各委員ノ質問サレタコトニ付キマシ

テ、政府當局ノ答辯ニ對シマシテ、マダ不  
受ケル譯デゴザイマス

○添田委員長 小平サン、一寸申シマスガ、

只今農務局長御出席ナノデ、成ベク農務局

長ニ對スル御質問ヲ先ニ願ヒタイト云フコ  
トデスガ……

○小平委員 ソレデハモウ一つ米穀局長ニ

對シテ質問シマシテ、ソレカラ農務局長ニ

致シマス——サウシマスルト御答辯デ能ク

分リマシタガ、市場員トシテノ許可ハ別ニ

スルト云フコトデアリマシタガ、今ノ御豫

定ト致シマシテハ、地方ノ移出業者ニハ市

場員ノ御許可ヲナサル方針デアリマスカ、

或ハ御許可ヲナサラヌ方針デアリマスカ

○周東政府委員 此ノ點ハ市場ノ開設ノ場

所ト云フモノト關聯シテ決スル問題ダト思ヒマス、隨ヒマシテ大體地方ニ於キマシテ、市場ガ設置致サレマス箇所ニ於テノ移出間屋ト云フモノハ、恐ラクハ市場員トシテノ免許ガ與ヘラレルモノト考ヘテ居リマスカラ、關聯質問トシテ肥料問題ヲ先ニ御質問申上ゲマス

○添田委員長 一寸其ノ肥料問題ハ之ニ關係ノアル肥料問題デスカ

○小平委員 勿論サウデス、生産力擴充ニ重大ナル影響ガアルモノト思ヒマスカラ、御聽キシタインデアリマス、本法ノ第二十九條ノ附帶事業ト致シマシテ、雜穀、大豆、肥料等ヲ扱フト云フヤウナコトニナツテ居リマスルガ、是ハ坊間傳フル所ニ依リマスルト、農林省トシテハ斯ウ云フ風ナ仕事ハヤリタクナイト云フヤウナ考ガアリマシタガ、商工省ノ方カラノ非常ナル希望ニ依リマシテ、此ノ條文ヲ入レタト云フヤウナコトモ聞イテ居リマスガ、其ノ間ノ消息ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○松村政府委員 ソレハ私カラ申上ゲテ置キマスガ、只今御質問ノ點ハ全然左様ナコトハゴザイマセヌ、商工省カラ註文ヲ受ケテ農林省ガソレニ應ジタト云フヤウナ從來

ノ關係ハ全然ナイノデゴザイマス、唯今日  
デモヤハリ米ノ取引所ニサウ云フモノヲ附  
帶シテヤツテ居ル所モアリマスカラ、其ノ  
意味ニ於テ加ヘタト云フニ過ギマセヌ、此  
ノ間モ本會議ニ於テ大臣モ御答ヲ致シテ居  
リマシタガ、之ニ關シマシテハ全ク商工省  
ノ註文ダトカ、農林省ノ註文ダトカト云フ  
ヤウナコトハゴザイマセヌ、左様御承知ヲ  
願ヒタイト思ヒマス

マスガ、其ノ邊ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居  
リマスカ、伺ツテ置キタイト思ヒマス  
○周東政府委員 第二十九條ノ第二項ノ附  
帶市場ニアリマス、之ニ掛ケルモノハ何カ  
ト云フ御質問ニアリマスガ、是ハ先程政務  
次官カラモ御話ヲ申上ゲマシタヤウニ、現  
在ノ米穀市場ガ附帶的ニ行ツテ居ルモノニ  
付テハ、急速ニ是ガ變ルコトハ不便デアラウ  
ト云フコトデ、入レテ居ル譯ニアリマスカ  
ラ、自ラ現在市場ノ扱ツテ居ル範圍ト考ヘ  
ラレル譯ニアリマス、御話ノヤウニ大豆粕  
ト云フヤウナモノガ主ナモノニナルト考ヘ  
マス、ソレカラ第一點ノ御尋ニアリマスガ、  
此ノ市場ノ市場員ハ何カト云フ御話ニアリ  
マス、是ハ米穀市場ノ性質ト致シマシテ、  
米穀商ニ限ル積リデ居リマス  
○小平委員 只今ノ御答辯ハ能ク分リマセ  
ヌカラ、モウ一遍繰返シテ御尋致シタイト  
思ヒマス、市場員ハ米穀市場員ノミニ限ツ  
テ之ヲ扱ハセルト云フ御意見ニアリマスカ、  
又大豆粕ノ方ハ肥料ノ部類ニ屬スルノニアリ  
マスカラ、肥料商ヲモ市場員トシテ認メ  
ルト云フコトニアリマスカ、其ノ點ヲハツ  
キリト伺ヒタイ

令ニ依ツテ書キタイト思ツテ居リマスガ、必要ガアレバ、今ノ御話ノヤウニ大豆粕ヲ附帶市場ノ市場員トスル場合モアルカト考ヘマス、是ハ第二十九條ノ第一項ノ命令ニ於テ指示致シタイト考ヘマス

○小平委員 只今ノ御答辯ニ依リマスト、現在市場ニ於テ取扱ツテ居ル大豆粕ノ如キモノヲ先づ以テ登場スル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、將來ハ大豆粕バカリデナク、他ノ一般肥料ヲモ御扱ヒニナルト云フ順序デ進マウト云フ御考カドウカ、其ノ點ヲハツキリ御伺シタイ、尙又假ニ豆粕ヲ先ニ登場スルト云フコトニ致シマスト、最高ト最低ト云フモノハ御決メニナル御考デアルカ、是ハ放任シテ、幾ラ高クナツテモ構ハヌ、或ハ幾ラ安クナツテモ構ハヌト云フヤウナ趣意デオヤリニナルカ、米穀ノ市場ノヤウニ最高最低ト云フモノヲ抑ヘル考デアルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○周東政府委員 特ニ此ノ市場ニ於テノ肥料ニ付テ、最高最低價格ヲ決メルト云フヤウナ積リハ、只今ノ所ハゴザイマセヌ

○小平委員 市場ノ問題ハ大體諒解致シマシタ、次ニ生産力擴充ト最重關係ノアリマス所ノ、將ニ農林省ガ行ハントスル肥料配

給割當制度、此ノ問題ニ付キマシテ詳細ニ  
農務局長カラ伺ヒタイ

○小濱政府委員 肥料ノ割當制度ヲ考ヘテ  
居リマスルノハ、國內ニ供給セラレマスル  
肥料ガ、サウ潤澤デナクナリハシナイカ、  
サウ云フ場合ニ地方的ノ偏在ガアリマシテ  
ハ、非常ニナケナシノ金デ入レマシタ肥料  
ガ——作物ノ成育ニ必要ナル所ノ肥料ハド  
ウシテモ輸入ヲ致サナケレバナリマセヌガ、  
入レマシタル肥料ノ地方的ノ偏在ヲ防グコ  
トヲ考ヘテ置カナケレバナラヌ、隨ヒマシ  
ト云フ風ニ府縣ニ割當ヲ致シマシテ、府縣  
内ニ於キマシテノ配給ハ現在ノ配給機構ヲ  
使ツテ、之ヲ農家ニ分配シテ行キタイ、斯  
様ニ存ジテ居リマス、其ノ方法ト致シマシ  
テハ、各府縣カラ自分ノ縣デハ單肥トシテ  
是ダケノ肥料ガ要ル、配合肥料トシテ是ダ  
ケノ肥料ガ要ル、其ノ配合肥料ハ單肥ニ換  
算スレバ幾ラトナル、仍テ硫安、過磷酸、  
石灰窒素、加里等ニ付キマシテ、是ダケノ  
肥料ガ自分ノ縣ニ要ルノダト云フコトヲ申  
請シテ參リマス、ソレデ其ノ年ニ供給シ得  
ベキモノガ全體トシテ幾ラト云フコトガ分  
リマズカラ、其ノ供給シ得ベキ數量ニ應ジ  
マシテ、府縣カラ申請シテ參リマシタモノ

ガ超過致シテ居リマスレバ、ソレヲ減ラサ  
ナケレバナリマセヌ、各府縣ニ對シマシテ、  
申請ニ基キマシテ供給シ得ル數量ノ範圍内  
デ割當テルノデゴザイマス、府縣ハ其ノ數  
量ノ割當ヲ受ケマスルト、府縣ニ於テ單肥ト  
シテ消費致シマスル部分ト、配合肥料ノ原  
料トシテ消費スル部分ト二ツニ分ケマシテ、  
ソレカラ單肥トシテ使フ部分ニ付キマシテ  
ハ、產業組合ノ系統ヲ通ジテ配給致シマス  
ルモノト、商人ノ系統ヲ通ジテ配給致シマ  
スルモノトニ取扱數量ヲ分ケルノデゴザイ  
マス、ソレデ產組合ヲ通ジテ配給セラレマ  
スルモノニ付キマシテハ、全購聯カラ縣ノ  
聯合會ニ渡シマシテ、聯合會ガズツ分ケ  
ル、ソレカラ商人ノ手ヲ通ジテ配給セラレ  
マスルモノニ付キマシテハ、商人ノ統制ノ  
團體ヲ府縣デ作ツテ貴ヒマシテ、商人全體  
ガ扱ヒマスル數量ヲ其ノ團體デ統制ヲ執ツ  
シテ、全國的ノ中樞ノ配給機關ガアリマスノ  
シテ、全體的ノ中樞ノ配給機關ガアリマス  
デ、其ノ配給機關カラ其ノ府縣デ消費セラ  
レル所ノ數量ヲ流シテ參リマスレバ、府縣  
ハマス、配合肥料ノ原料トシテ使ハレマスモ  
ノニ付キマシテハ、其ノ府縣デ配合肥料トシ

テ使ヒマス種類ヲ豫メ限定致シテ置キマシ  
テ、其ノ配合肥料ノ中ニハ硫安ガ幾ラ、過  
磷酸ガ幾ラ、加里ガ幾ラ入ツテ居ルト云フ  
コトハ分ツテ居リマス、ソレデ配合肥料ト  
シテ扱ヒマスモノニ付キマシテモ、產業組  
合ヲ割當テ受ケマスルト、府縣ニ於テ單肥ト  
シテ消費致シマスル部分ト、配合肥料ノ原  
料トシテ消費スル部分ト二ツニ分ケマシテ、  
ソレカラ單肥トシテ使フ部分ニ付キマシテ  
ハ、產業組合ノ系統ヲ通ジテ配給致シマス  
ルモノト、商人ノ系統ヲ通ジテ配給致シマ  
スルモノトニ取扱數量ヲ分ケルノデゴザイ  
マス、ソレデ產組合ヲ通ジテ配給セラレマ  
スルモノニ付キマシテハ、全購聯カラ縣ノ  
聯合會ニ渡シマシテ、聯合會ガズツ分ケ  
ル、ソレカラ商人ノ手ヲ通ジテ配給セラレ  
マスルモノニ付キマシテハ、商人ノ統制ノ  
團體ヲ府縣デ作ツテ貴ヒマシテ、商人全體  
ガ扱ヒマスル數量ヲ其ノ團體デ統制ヲ執ツ  
シテ、全國的ノ中樞ノ配給機關ガアリマスノ  
シテ、全體的ノ中樞ノ配給機關ガアリマス  
デ、其ノ配給機關カラ其ノ府縣デ消費セラ  
レル所ノ數量ヲ流シテ參リマスレバ、府縣  
ハマス、配合肥料ノ原料トシテ使ハレマスモ  
ノニ付キマシテハ、其ノ府縣デ配合肥料トシ

テ使ヒマス種類ヲ豫メ限定致シテ置キマシ  
テ、其ノ配合肥料ノ中ニハ硫安ガ幾ラ、過  
磷酸ガ幾ラ、加里ガ幾ラ入ツテ居ルト云フ  
コトハ分ツテ居リマス、ソレデ配合肥料ト  
シテ扱ヒマスモノニ付キマシテモ、產業組  
合ヲ割當テ受ケマスルト、府縣ニ於テ單肥ト  
シテ消費致シマスル部分ト、配合肥料ノ原  
料トシテ消費スル部分ト二ツニ分ケマシテ、  
ソレカラ單肥トシテ使フ部分ニ付キマシテ  
ハ、產業組合ノ系統ヲ通ジテ配給致シマス  
ルモノト、商人ノ系統ヲ通ジテ配給致シマ  
スルモノトニ取扱數量ヲ分ケルノデゴザイ  
マス、ソレデ產組合ヲ通ジテ配給セラレマ  
スルモノニ付キマシテハ、全購聯カラ縣ノ  
聯合會ニ渡シマシテ、聯合會ガズツ分ケ  
ル、ソレカラ商人ノ手ヲ通ジテ配給セラレ  
マスルモノニ付キマシテハ、商人ノ統制ノ  
團體ヲ府縣デ作ツテ貴ヒマシテ、商人全體  
ガ扱ヒマスル數量ヲ其ノ團體デ統制ヲ執ツ  
シテ、全國的ノ中樞ノ配給機關ガアリマスノ  
シテ、全體的ノ中樞ノ配給機關ガアリマス  
デ、其ノ配給機關カラ其ノ府縣デ消費セラ  
レル所ノ數量ヲ流シテ參リマスレバ、府縣  
ハマス、配合肥料ノ原料トシテ使ハレマスモ  
ノニ付キマシテハ、其ノ府縣デ配合肥料トシ

ハ分ツテ居リマスカラ、ソレニ應ジマシテ  
誰ニ幾ラ誰ニ幾ラト云フ風ニ配給シテ参リ  
マス、配給ヲ受ケマシタ商人ハ從來賣ツテ  
居リマシタ賣先、ドノ村ニハドノ人ガ賣ツ  
テ居ルト云フコトハ大體分ツテ居リマスカラ  
、ソレニ應ジテ賣ツテ行クト云フコトニ  
致シタイト考ヘマス、縣ヘ數量ヲ割當テマ  
スト、縣デハ更ニ之ヲ町村ニ割當テマシ  
テ——此ノ割當ハ少シ意味ガ違フノデアリ  
マスガ、兎ニ角町村ニ割當テマシテ、各町村  
デ消費シ得ベキ肥料ノ目標ヲ決メテ居ラレ  
ル譯デアリマス、各町村デハ肥料ハ幾ラノ  
範圍デ自分ノ方デハ使フト云フ目標ガ示サ  
レテ居ルカラ、其ノ目標ノ範圍内ニ於テ肥  
料ノ使ヒ方ヲ調整シテ參ル、其ノ調整ニ付  
キマシテハ、固ヨリ農業者ノ團體デアリマ  
ス農會等ノ指導ニ俟タネバナラヌモノガ非  
常ニ多イノデアリマス、町村ニゴザイマス  
生産計畫委員會ニ於キマシテ、其ノ町村ニ  
於ケル肥料ノ使ヒ方等ニ付テハ、其ノ目標  
ノ範圍内デ肥料ヲ使ツテ行カウデハナイカ  
ト云フコトデ、調整シテ參ル譯デアリマス、  
其ノ肥料ハ產業組合ノ系統ヲ通ジテ流レル  
モノモアリマスシ、商人ノ系統ヲ通ジテ流  
レルモノモアリマス、產業組合ノ系統ヲ  
通ジテ流シマスモノト、商人ノ系統ヲ通ジ

在ノ状態其ノ儘デ流シテ行キタイト思ツテ  
居リマス、十三年ニ扱ツタ實績ヲ基準ト致  
情ノ變化ガアリマスレバ其ノ變化ヲ織込ン  
デ、産業組合ノ扱ヒマス數量ト商人ノ扱ヒ  
マス數量ヲ決メテ行クト云フコトニ致シマ  
スレバ、配給機構ノ間ニ摩擦ヲ生ズルコト  
ハナカラウ、總ジテ此ノ割當制度ヲ考ヘマ  
シタノハ肥料ノ地方的偏在ヲ防止シタイト  
云フコトガ主デゴザイマシテ、配給機構ヲ合  
理的ニドウスルト云フヤウナ、配給機構ノ  
改革ヲ目指シテ居ルノデハナイノデアリマ  
ス、其ノ縣ニ割當ラレマシタ數量ヲ其ノ縣  
デ配給致シマスノニハ、現在ノ配給機構ヲ  
其ノ儘使ツテ參ルコトガ宜イ、肥料ノヤウ  
ニ時期的ニ速ニ農家ノ手ニ入ラナケレバナ  
ラヌモノニ付テ、配給機構ヲ理論的ニ斯ウ  
シタ方ガ宜イト云フヤウナ、配給機構ノ改  
革ヲ同時ニ織込ンデ考ヘル時ニ於テハ、配  
給ノ不圓滑ヲ生ズル虞ガアリマス、肥料ガ足  
却テ配給ノ圓滑ヲ妨ゲル所以ダト考ヘマシ  
テ、此ノ點ニハ全然觸レナイデ行カウト大  
シテハ、配給機構ノ改革ヲ企圖スルコトハ

○小平委員 農務局長ノ御説明ニ依リマシ

○小平委員 農務局長ノ御説明ニ依リマシテ肥料割當制ノ全貌ハ、大體承知致シマシタ、此ノ問題ニ付キマシテハ、農林省ノ最初ノ方針ハ本年ノ一月カラ之ヲ實施シタイト云フ方針ノヤウニ聽イテ居リマシタガ、段々實施ガ遅レテ參ツテ居リマスノデ、地方ニ於テハ何時是ガ實施サレルカト大變待ツテ居ルヤウナ有様デアリマス、今農務局長カラ配給ノ計畫、方法ニ付テモ大體伺ツタノデアリマスガ、只今ノ局長ノ御話ニ依リマスト、肥料ハ縣ノ方ガ其ノ縣ノ使用スル所ノ肥料ヲ調査スル、町村ハ町村デ調査スル、ソコデ町村カラ縣ノ方ニ申請ヲシテ、縣ハ何縣ハ單肥ニ幾ラ、配合肥料ニ幾ラノ肥料ガ要ル、斯ウ云フコトデ本省ニ申請ヲスル、ソコデ本省ハ現在日本ニ於ケル所ノ肥料ヲ偏在シナイヤウニ公平ニ割當テル、ソコマデハ能ク分ツテ居リマス、ソコデ町村ノ方ノ問題ニ歸リマスガ、町村ノ計畫委員會ニ於キマシテ町村ノ肥料ハ幾ラ要ルカト云フコトヲ決定致シマス、大體其ノ町村ノ決定ニ依リマシテ町村ノ農民ガ、ソレダケシカ要ラヌ、肥料ヲ買ハナケレバ宜シイ、假ニ「エー」ト云フ町村ガアル、其ノ町村デハ過磷酸ガ何百樽、配合ガ何百樽、ソレダケシカ要ラヌ、ソレデ一ツ本年度ノ肥料ヲ間ニ合セヨウデ

ハナイカト云フコトヲ決定シテモ、其ノ各  
自ノ農家ノ肥料ノ數量ト云フモノヲ決定ス  
ル譯デハナイノデアリマス、ソレヲ假ニ決定ス  
裁ハ此ノ割當制ニハナイト私ハ思フ、今日  
本省ニ於キマシテハ肥料ガ足リナイ、輸入  
ガ出來ナイト云フヤウナコトヲ口癖ノヤウ  
ニ言ツテ居リマスカラ、地方ノ農村デハ來  
年度ハ肥料ガ來ナイノデハナイカト云フコ  
トヲ非常ニ憂ヘテ居ルノデアリマス、ソコ  
デ此ノ割當制ガ實施サレマシテ、町村ニ於  
テ計畫委員會ヲ開キマシテ、ザア肥料ヲ買  
取レト云フコトニナリマシタナラバ、將來肥  
料ハ來ナイノデハナイカト心配シテ居ル農  
家が非常ニ多イノデアリマスカラ、今年十  
俵デ間ニ合フモノヲ二十俵、三十俵買フト  
云フコトニナルノハ當然デアル、現在強度  
ノ統制ノ行ハレテ居ル棉花ニ致シマシテモ、  
鐵ニ致シマシテモ、切符制度ニシテモ買溜  
賣惜、闇取引ト云フモノガ行ハレテ居ルフ  
デアリマス、殊ニ農村デハ肥料ガナカツタ  
ナラバ百姓ガ出來ナイノハ當然ノコトデア  
リマス、此ノ戰時狀態ガ繼續スル以上ハ、  
來年度ハ思フヤウニ十分ナ肥料ノ輸入ハ出  
ラモ考ヘテ居リマス、本年度ノ輸入デスラ

モ燐礦石五十万噸、並ニ加里鹽十七万噸ノ  
輸入ト云フモノハ非常ナ努力ノ結果デ、農  
林省ハ腐心シテ居リマス、此ノ状態ガ繼續  
スル以上ハ來年度ハ尙更困難デアラウト云  
フコトハ常識ニモ考ヘラレル、サウ云フ  
コトヲ農村デモ考ヘテ居リマスカラシテ、  
今年ハ買ヘルダケ買ツテ置カウト云フコト  
デ、金ノアル農家ハ當然肥料商若クハ産業  
組合ニ向ツテ買註文ヲ發スルコトハ、既定  
ノ事實デアラウト私ハ考ヘテ居リマス、サ  
ウ云フ場合ニ於キマシテハ、足リナイ肥料  
ガ尙更非常ニ足リナイ結果ニナルト云フコ  
トハ當然デアルト私ハ思ヒマス、全國五百  
五十万戸ノ農家ガ、是ハ買ツテ置カナケレ  
バ來年ハ肥料ガ來ナイゾト云フコトヲ一齊  
ニ考ヘラレタ時ニ於キマシテハ、假ニ一叭  
肥料ガ餘計要ルノデアリマス、サウ云フコ  
トヲ政府ハ御考ヘニナツテ居ルカ居ラナイ  
カ、私共直接農村ニ居ル者ハソレヲ非常ニ  
憂ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ抑ヘル方法  
ト致シマシテハ、今ノ唯單ニ肥料ヲ安クス  
ルト云フヤウナコトヤ、肥料ガ足ラナイカ  
ラ農家ガ肥料商若クハ組合カラ自制的ニ買  
ツテ吳レルダラウト云フヤウナ、ソンナ御  
考デ當局ガオヤリニナリマシタナラバ、此

ノ足リナイ所ノ肥料ガ益々足リナクナツテシ  
マフ、金ノナイ百姓ハ肥料ヲ買フコトガ出  
來ナイト云フヤウナ、頗ル悲慘ナル状況ヲ  
呈シハシナイカト憂ヘテ居ル、此ノ問題ニ  
付キマシテ當局ハドウ考ヘテ居ラレルノ  
カ、御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス  
○小濱政府委員 此ノ割當制度ヲ考ヘルニ  
當リマシテ、ドノ程度マデ徹底シタル制當  
ヲヤルカニ付テハ色々考慮致シマシタ、理論  
的ニ考ヘテ徹底シタル割當ト云フコトニナ  
リマスト、農家個々ニ其ノ農家ノ耕作段別  
及ビ耕作物ノ種類ニ依ツテ幾ラノ肥料ヲ使  
ツテ宜シイト云フ風ニ割當テ、ソレニ切  
符ヲ與ヘ、其ノ切符ト引替ニ肥料ヲ渡シテ  
行クヤウニ致シマスコトガ、理論的ニ考ヘ  
テ最モ徹底シタル方法ダト考ヘマス、併シ  
ナガラドウシテモナケレバナラヌ肥料ニ付  
キマシテ、直チニ左様ナ方法ヲ採リマスコ  
トハ、農村ノ現在ノ状態カラ見マシテ農家  
ニ更ニ一段ノ不安ヲ感ゼシメルヤウナコト  
ニナリハシナイカ、ソレデ肥料ノ地方的偏  
在ヲ防止スル爲ニ、府縣デ消費スル全體ノ  
數量ヲ決メテ、ソレデ府縣ダケハ抑ヘテ參  
リマスケレドモ、府縣内ノ配給ニ關シマシ  
テハ暫ク從來ノ配給方法ニ依ル、而シテソ  
レハ各町村デ消費シ得ベキ消費ノ範圍ヲ示

シテ、其ノ範圍内ニ於テ肥料ノ合理的使用ノ方法ヲ指導シテ行ク、又町村農會、町村ノ計畫委員會ト云フモノガ中心ニナリマシテ、此ノ村デ消費シ得ル肥料ノ範圍ハ此ノ程度ニシヨウデハナイカト云フコトデ、自治的統制ヲヤツティイツテ貰ヒダイ、サウヤリマスコトガ現在ノ狀態トシテハ宜シクハナイカト考ヘマシタ次第ゴザイマス、其ノ點ニ付キマシテハ農家ノ自制ト、又統制團體ニ於ケル商人ノ自制ト云フコトト相俟ツニアラザレバ、所期ノ目的ヲ達シ得ナイヤウチ部分ガゴザイマズ、是ハ理論的ニ考ヘマシテ徹底シタル方法デナイト云フコト度デヤルコトガ妥當デアリハシナイカト云ヲ承知シナガラ、現在トシテハ先づ此ノ程

俟タウ、今年ハ其ノ程度デヤツテ行カウ、  
ソレデ差支ナイト云フ御考ノヤウデアリマ  
スガ、私共ノ考トハ非常ナ隔リガアル、先  
程モ申上ゲマシタガ、今年此ノ調子デ事變  
ガ繼續スレバ來年ハマダ〳〵非常ニ足リナ  
クナルト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、  
デスカラ左様ニ政府ノ考ヘルヤウニ自制ヲ  
スレバ宜シイデセウガ、萬一政府ノ考ト反  
スルコトニナリマシテ、肥料ハ足リナイカウ  
テ買溜メダ、來年分マデモ買入レテ置カウ  
ト云フコトニナリマシタラドウナサイマス  
カ、足リナイ肥料ガ益、足リナクナツテ、金  
ノナイ百姓ハ肥料ヲ買フコトガ出來ナイ結果  
現ニサウ云フ聲ガ今農村デ非常ニ上ガツテ  
居レノデアリマス、ドクンテニア刃守剣度

來ナカツタナラバ、他ノ方法ヲ以テヤラウト云フ御考ヲ政府ハ持ツテ居ラナイノデアリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒマス○小瀆政府委員 只今ノ所デハ此ノ程度ノ割當デヤツテ行カウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、此ノ制度ニ依リマシテ旨ク行カナイト云フ場合ニ於キマシテハ、是ハ又考ヘ直サナクテハナラヌコトニナル譯デアリマスガ、現在ノ所デハ農村ノ現在ノ狀態カラ考ヘマシテ——是ハ意見ニナリマスガ、私共ノ見ル農村ノ實態カラ考ヘマシテ、イキナリ切符制度ニ行クコトハ、却テ農村ニ不安ヲ釀成スル因ニハナリハシナレカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ府縣ノ割當、ソレカラ後ハ府縣内ノ從來ノ配給機構其ノ儘テ農村ニ不安全ヲ釀成スル因ニハナリハシナレカ、ソレ記治ヲ改シテ、而シテ各町村ニ肖

テ最キ簡直シタ方法外ノ事ハアノ  
ナガラドウシテモナケレバナラヌ肥料ニ付  
キマシテ、直チニ左様ナ方法ヲ採リマスコ  
トハ、農村ノ現在ノ状態カラ見マシテ農家  
ニ更ニ一段ノ不安ヲ感ゼシメルヤウナコト

○小平委員　御意見ハ能ク分リマシタガ、農務局長ノ御考ト、私共實際ニ農村ニ居リマシテ農民ノ考トハ非常ナ隔リガアルト考ヘテ居リマス、今ノ御意見ニ依リマスト、

ニシナインカ、切符制度ニシナカツタラト  
ンデモナイコトニナル、綿絲ノ統制或ハ鐵  
ノ統制ノ如ク、アレダケ強度ノ統制ヲ致シ  
マシテモ闇取引ガ行ハレ、賣惜ガ行ハレテ

費シ得ベキ肥料ノ總量ニ付テ目標ヲ示シテ、目標ノ範圍内ニ於テ自治的統制ヲ執ツテ貰フト云フコトデヤツテ戴キタイト思ツテ居リマス

ニナリハシナイカ、ソレデ肥料ノ地方的偏  
在ヲ防止スル爲ニ、府縣デ消費スル全體ノ  
數量ヲ決メテ、ソレデ府縣ダケハ抑ヘテ參  
リマスケレドモ、府縣内ノ配給ニ關シマシ  
テハ暫ク從來ノ配給方法ニ依ル、而シテソ  
レハ各町村デ消費シ得ベキ消費ノ範圍ヲ示

農會若クハ町村團體ガ、肥料ハ足リナイン  
デアルカラ此ノ程度デ肥料ヲ間ニ合セヨウ  
ト云フコトヲ申合セテ、其ノ範圍内ニ於テ  
肥料ヲ購入サシテヤツテ行カウト云フ御意  
見ノヤウデアリマス、又反面ニハ肥料ノ販  
賣業者、或ハ肥料ニ關係ノアル者ノ自制ニ

居ルノデアリマス、況シテヤ肥料ニ付テ唯  
自治的統制ニ俟ツト云フヤウナ考ヲ實行出  
來ルト、政府ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、  
政府ノ御考ト實際問題ノ相反スルコトハ火  
ヲ睹ルヨリモ明カデアルト考ヘテ居ルノデ  
アリマス、之ヲ自治的ニ統制スルコトガ出

○小平委員 今ノ局長ノ御話デハ、切符制度ニシテマスト不安ヲ生ズルト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、私ハ切符制度ニシナイカラコソ非常ナ不安ダト思フ、切符制度ニシテコソ農村ハ確實ニ肥料ヲ買ヒ得ル、切符制度デナカツタラ、中農以下ノ百姓ハ肥

シテ、其ノ範圍内ニ於テ肥料ノ合理的使用ノ方法ヲ指導シテ行ク、又町村農會、町村ノ計畫委員會ト云フモノガ中心ニナリマシ

俟タウ、今年ハ其ノ程度デヤツテ行カウ、  
ソレデ差支ナイト云フ御考ノヤウデアリマ  
スガ、私共ノ考トハ非常ナ隔リガアル、先

來ナカツタナラバ、他ノ方法ヲ以テヤラウト云フ御考ヲ政府ハ持ツテ居ラナインゾアリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒマス

料ヲ買へナイダラウト考へテ居リマス、ソレデ現在ノ所デハ此ノ程度デヤツテ見ヨウ、若シ間違ツタラ又考ヘルト云フ御詫デアリマスガ、漸ク農林省ノ御盡力ニ依リマシテ今年使フダケノ肥料ガ輸入出來タノデアリマスガ、農村ガ非常ナ買溜ヲ始メタ時ニ於テ、ソレヲ途中デ止メテモ追付カナイコトニナル、買溜メサレタダケノ數量ハ地方的ニ偏在シテ居リマシテ、其ノ殘ツタ數量ヲ以テドウスルコトモ出來ナイト云フ結果ニナルト思フ、其ノ點ハドウ云フ風ニ御考ナリマスカ

○小瀬政府委員 是ハ意見ニナルカモ分リマセヌガ、サウ云フ風デナク御答スル積リデアリマスガ、現在ノ狀態デハ府縣ノ割當ヲヤツテ行ク方ガ宜イ、而シテ春肥ノ供給ニ付キマシテハ昨年ノ春肥ニ供給致シマシタ實績ヲ下ラザル供給ガ、出來ル手配ガ出來タト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ春肥ニ付キマシテハ昨年ニ較ベマシテ左様ナ供給ノ不安ハナカラウト考ヘマス

○小平委員 是以上申上ゲマスルト議論ニ亘リマスカラ、是以上私ハ申上ゲマセヌ、次ニ承リタイコトハ本年度ノ統制肥料ハ非常ニ足リナイト云フコトヲ最初カラ政府ハ心配サレテ、新聞ナドモ高唱サレテ

居リマスカラ、之ガ爲ニ他ノ統制肥料ノ以外ノ肥料ノ暴騰ト云フモノハ、實ニ前古未會有ノ暴騰デアルト思フノデアリマス、モノガ三千圓以上シテ居ル、品物ノ惡イモノデモ倍ニナツテ居ル、此ノ米糠ノ如キハ是ハ全國ニ於テ使用地區ハ大體制限サレテ居ル、是等モ莫大ナ金ニナツテ居リマス、是等ハ大阪方面デ出來ル一呑八斗入肥料ガ二圓五十錢位ノモノガ、今日四圓四十錢ニナツテ居リマス、其ノ他種粕ト云ヒ、其ノ他ノ雜肥ト云ヒ非常ナ暴騰ヲ致シテ居リマス、此ノ暴騰ニ對シマシテ農林省ハ更ニ御考ニナラナインカ、或ハ知ツテ居ルノカドウカ知リマセヌガ、更ニ御考ニナツテ居ラナイ、農村ガ是ダケ大ナル犠牲ヲ拂ツテ此ノ戰時態勢ニ順應シテ仕事ヲシテ居ルニモ拘ラズ、生產資材トシテ肥料ガ高クナルコトハ農民ガ非常ニ困ルト云フコトハ、御分リニナツテ居ルト思フノデアリマス、此ノ足リナイト統制肥料ヲ統制シヨウト云フコトバカリニ浚頭ヲシテ居リマシテ、其ノ他ノ統制肥料以外ニ付テハ何等不思フノデアリマスガ、此ノ點ニ十分ノ努力ヲ致シマシタナラバ、自ラ此ノ問題ハ解決スル何ニ外國カラ來ル肥料ヲ確保スルカト云フ肥料ハ中々今日ノ場合、御承知ノヤウナ譯デ買入レルコトハ出來マセヌケレドモ、少

シテ、一千五百万圓ノ損ヲシテ居ル、私ハ全ク然リト考ヘテ居リマス、大豆粕ダケスモノ如キハ百石ニ對シテ千七八百圓ノモノデモ倍ニナツテ居リマスノデ、其ノ普通ノ時價ニ比較シタナラバ、其ノ暴騰率ハ事變後全國デハ七八千万圓ニナツテ居リマス、是等ハ大阪方面デ出來ル一呑八斗入肥料ガ二圓五十錢位ノモノガ、當局ハドウ御考ニ堪ヘナイノデアリマスガ、當局ハドウ御考ニ知レナイ、此ノ肥料ニ對シテ更ニ無關心デアルト云フ政府ノ態度ニ對シテハ、甚ダ遺憾ニシナイカ、或ハ一億圓ニモナツテ居ルカモ他ノ粕、或ハ米糠、種粕ト云フヤウナノヲモノデモ倍ニナツテ居リ、此ノ米糠ノ如キハ是ハ全國ニ於テ使用地區ハ大體制限サレテ居ル、是等モ莫大ナ金ニナツテ居リマス、是等ハ大阪方面デ出來ル一呑八斗入肥料ガ二圓五十錢位ノモノガ、今日四圓四十錢ニナツテ居リマス、其ノ他種粕ト云ヒ、其ノ他ノ雜肥ト云ヒ非常ナ暴騰ヲ致シテ居リマス、此ノ暴騰ニ對シマシテ農林省ハ更ニ御考ニナラナインカ、或ハ知ツテ居ルノカドウカ知リマセヌガ、更ニ御考ニナツテ居ラナイ、農村ガ是ダケ大ナル犠牲ヲ拂ツテ此ノ戰時態勢ニ順應シテ仕事ヲシテ居ルニモ拘ラズ、生產資材トシテ肥料ガ高クナルコトハ農民ガ非常ニ困ルト云フコトハ、御分リニナツテ居ルト思フノデアリマス、此ノ足リナイト統制肥料ヲ統制シヨウト云フコトバカリニ浚頭ヲシテ居リマシテ、其ノ他ノ統制肥料以外ニ付テハ何等不思フノデアリマスガ、此ノ點ニ十分ノ努力ヲ致シマシタナラバ、自ラ此ノ問題ハ解決スル何ニ外國カラ來ル肥料ヲ確保スルカト云フ肥料ハ中々今日ノ場合、御承知ノヤウナ譯デ買入レルコトハ出來マセヌケレドモ、少

シテ、一千五百万圓ノ損ヲシテ居ル、私ハ全ク然リト考ヘテ居リマス、大豆粕ダケスモノ如キハ百石ニ對シテ千七八百圓ノモノデモ倍ニナツテ居リマスノデ、其ノ必

要數量ダケハ是非確保致シマシテ、サウシテ圓滿ナル配給ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ

ニ付テソレヲヤツテ居リマスノデ、其ノ必

要數量ダケハ是非確保致シマシテ、サウシテ圓滿ナル配給ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ

話ノヤウナ相當ナ考ヲ有機質的肥料ニモ持  
タネバナラヌ機會ガアルコトハ、私共モ考  
ヘザルヲ得ナイト存ジテ居リマス

○小平委員 御説明ニ依リマシテ大體諒承  
致シマンタガ、先程私ガ申上げマシタガ、  
此ノ統制肥料ニノミ政府ハ浚頭致シテ居リ  
マシテ、我國使用ノ半數以上ノ有機質肥料  
ニ對シテ、何等ノ御關心ヲ持ツテ居ラナカ  
ツタト云フヤウナコトハ、私ハ農村トシテ  
ハ大損害デアルト考ヘテ居リマス、之ヲ物  
價ノ統制委員會トカ何トカ此ノ方面ニ於キ  
マシテ、當然私ハ大豆粕ニシテモ、或ハメ  
粕ニシテモ油粕ニシテモ、相當抑ヘルダケ  
ノ方法ガアルト考ヘテ居リマス、今日マデ  
ヤラナカツタコトハ甚ダ遺憾ニ堪ヘナイト  
考ヘテ居リマスガ、今政務官カラ御話ガア  
リマシタ爲ニ大イニ安心ヲ致シマシタ、洵  
ニ現在ノ情勢ハ尙ホ益、暴騰シツツアル情勢  
ニアリマス、殊ニメ粕ノ如キハ今年ハ未會  
有ノ不漁デアリマス、ソレガ爲ニメ粕デナ  
ケレバ困ルト云フヤウナ作物ガ隨分アルノ  
デアリマス、ソレ等ノ作物ニスラ使用スル  
コトガ餘程困難ト思ヒマス、ソレ程不漁デ  
アリマス、不漁デアルカラ高イノハ致シ方  
ナイ次第デアリマス、併シ倍以上ニナルト  
云フコトハ、是ハドウモ低物價政策ヲ成道

シテ居ル現内閣トシテハ、何トカ考ヘナケレ  
バナラヌ問題デアルト考ヘマス、此ノ點十  
分御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ次ニ伺  
ツテ置キタイコトハ、肥料行政ノ「元化ト  
云フ問題デアリマス、此ノ問題ハ昨年ノ重  
要肥料統制法ノ委員會ニ於キマシテモ、大  
分問題ニナリマシテ、商工大臣ト農林大臣  
ガ立會ノ上デ、直チニ肥料ノ一元化ヲ實行  
スル、斯ウ云フ風ナ言明ヲ私ハ得タヤウニ  
記憶シテ居リマスガ、現在ハドウ云フコト  
ニナツテ居リマスカ、此ノ點ヲ一つ御伺シ  
テ置キタイト思ヒマス

○松村政府委員 ソレ等ノ事情ヲ有リノ儘  
ノ申上げマスレバ、實ハ議會ノ途中デ内閣  
モ迭リマシテ、ソレデ此ノ大キナ法案其ノ  
他非常ニ仕事ガ手一杯デゴザイマシテ、商  
工省トソレ等ニ付テ委細ノ御話ヲ致シマス  
ノニ、殊ニ米穀ノ問題ナドニ付テモ、商工  
省ト能ク打合セラルコトガ多ウゴザイマ  
見ヲ承リタイコトハ、本法第六條ニ依リマ  
シテ米穀市場ノ賣買取引ハ差金決済ヲ許サ  
ナイト云フコトガ原則ノヤウニ考ヘテ居ル  
ノデアリマスガ、未著物竝ニ延取引ニ對シ  
付キマシテハ、只今御話ノヤウニ、命令ノ  
規定スル所ニ依リマスレバ、差金決済ヲ認  
メル譯デアリマスガ、唯此ノ兩方ノ取引ノ  
仕方ニ付キマシテハ、從來ノ清算取引ニ  
ケル取引ノ仕方トハ、内容ガ餘程變ツテ參  
ルノデアリマス、差金決済ヲ或ル一部限ラ  
レタル場合ニ於テ認ヌマスケレドモ、之ニ  
依ムテ從來ノヤウナ非常ナ投機的ナ行爲ガ  
行ハレルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリ  
ス、即チ少シ説明サシテ戴キマスナラバ、

レ近イ機會ニ於キマシテ、兩省ガ能ク相談  
シ合ツテ、相互ノ間ニ善處致シタイト思ヒ  
マス

○小平委員 私ハ斯ウ云フコトガ只今申上  
ゲマシタ物價ノ暴騰ヲ來シ、肥料ノ暴騰ヲ  
來スコトニナツタ原因デハナイカ、斯ウ云  
フコトヲ日頃憂ヘテ居ルノデアリマシテ、  
ドウカ肥料ノ問題ノ「元化ト云フコトハ、  
一日モ早ク實行出來ルヤウニ是非一ツ御運  
ス、肥料ニ關スル問題ハ其ノ程度デ打切ツ  
テ置キマス、元ニ還リマシテ本法ニ對スル  
審議ヲ繼續スルコトニ致シマス……

○添田委員長 小平君農務局長ハ宜シウゴ  
ザイマスカ  
○周東政府委員 御尋デゴザイマスルガ、  
此ノ度ノ會社ヲ設ケマシテ市場ニ於テノ取  
引ニ付キマシテハ、實物取引ト延取引ト未  
著物取引ノ三ツヲ認ヌマスコトハ、御話ノ  
通リデアリマス、而シテ延取引ト未著物ニ  
付キマシテハ、只今御話ノヤウニ、命令ノ  
規定スル所ニ依リマスレバ、差金決済ヲ認  
メル譯デアリマスガ、唯此ノ兩方ノ取引ノ  
仕方ニ付キマシテハ、從來ノ清算取引ニ  
ケル取引ノ仕方トハ、内容ガ餘程變ツテ參  
ルノデアリマス、差金決済ヲ或ル一部限ラ  
レタル場合ニ於テ認ヌマスケレドモ、之ニ  
依ムテ從來ノヤウナ非常ナ投機的ナ行爲ガ  
行ハレルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリ  
ス、即チ少シ説明サシテ戴キマスナラバ、

シテ居ル現内閣トシテハ、何トカ考ヘナケレ  
バナラヌ問題デアルト考ヘマス、此ノ點十  
分御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ次ニ伺  
ツテ置キタイコトハ、肥料行政ノ「元化ト  
云フ問題デアリマス、此ノ問題ハ昨年ノ重  
要肥料統制法ノ委員會ニ於キマシテモ、大  
分問題ニナリマシテ、商工大臣ト農林大臣  
ガ立會ノ上デ、直チニ肥料ノ一元化ヲ實行  
スル、斯ウ云フ風ナ言明ヲ私ハ得タヤウニ  
記憶シテ居リマスガ、現在ハドウ云フコト  
ニナツテ居リマスカ、此ノ點ヲ一つ御伺シ  
テ置キタイト思ヒマス

○小平委員 宜シウゴザイマス、次ニ御意  
見ヲ承リタイコトハ、本法第六條ニ依リマ  
シテ米穀市場ノ賣買取引ハ差金決済ヲ許サ  
ナイト云フコトガ原則ノヤウニ考ヘテ居ル  
ノデアリマスガ、未著物竝ニ延取引ニ對シ  
付キマシテハ、只今御話ノヤウニ、命令ノ  
規定スル所ニ依リマスレバ、差金決済ヲ認  
メル譯デアリマスガ、唯此ノ兩方ノ取引ノ  
仕方ニ付キマシテハ、從來ノ清算取引ニ  
ケル取引ノ仕方トハ、内容ガ餘程變ツテ參  
ルノデアリマス、差金決済ヲ或ル一部限ラ  
レタル場合ニ於テ認ヌマスケレドモ、之ニ  
依ムテ從來ノヤウナ非常ナ投機的ナ行爲ガ  
行ハレルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリ  
ス、即チ少シ説明サシテ戴キマスナラバ、

未著物取引市場ニ於キマシテハ、大體銘柄等級又見本ニ依リマシテ相對賣買ノ方法ニ依ツテ取引ヲ致シマス、而シテ此ノ場合ニ於キマシテ、最初ノ賣方ト最後ノ買方トノ間ニ於キマシテハ、必ズ約定ノ期限内ニ於テ現品ト代金ノ授受ヲスルコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ方ニ於キマシテハ、大體ニ於テ從來ノヤウナ差金決済ト云フモノハ起ラナイト思ヒマス、但シ未著物ニ付テ、賣方ガ十五日以内ニ市場ニ於キマシテ買方が現ハレマシタ時ニハ、既ニ到著前ニ之ヲ賣ル場合ガアリマス、而シテ其ノ者ガ更ニ最後ノ買方ニ賣ルト云フヤウナ場合ガ起ツテ參リマシタ時ニ、期日ニ至リマシテ其ノ中間ノ買方ニ付キマシテ、殊更ニ現品ノ受渡ヲ爲シ、更ニ代金ノ決済等ヲ爲サシヌマスクトハ、徒ニ取引ヲ複雜ニ致サセマスカラ、ソレ等ノ中間ノモノニ付キマシテハ、順次簡易決済ノ方法ニ依リマシテ、差金ノ決済ノ方法ヲ行クト云フコトニ致シタ次第デアリマス、最初ノ賣方ト最後ノ買方ノ間ニ於キマシテハ、必ズは現品ト代金ノ授受ヲサセルト云フ建前ヲ執ツテ參リマスノデ、未著物ノ取引ニ付キマシテ、一部左様ナ限定セラレマシタ場合ニ差金ノ決済方法ヲ認メマシテモ、左程投機的ナ行爲ガ

行ハレルヤウニハナルマイト、考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ然ラバ延取引ノ場合ハ如何ナル關係ニアルカト云フ問題デアリマス、此ノ取引ニ於テモ從來ノ清算取引市場ト異リマシテ、其ノ賣買對象トシテ柄ト云フモノニ依リマシテ、相對賣買ノ方法ニ依ツテ取引ヲ致シテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ從來ノ清算取引市場ニ於ケル取引ト異リマス點ハ、銘柄等級別ノ取引ニ付テハ類似致シテ居リマスガ、併シナガラ清算取引ノ方ニ於ケルガ如ク、標準米ニ依ル格付ハ代用制ヲ認メテ、廣ク如何ナル米ニ於テモ取引ガ出來ル、賣方ガ賣ツタ米ヲ買方ガ引取ル場合ニハ、其ノ選擇權ハ賣方ニアツテ如何ナル米ヲ渡サレルカ分ラナイト云フヤウナ、廣イ意味ニ於ケル代用制ト違ヒマシテ、此ノ場合ハ組合セ銘柄ノ範圍ニ於キマシテハ、多少代用制ガ起ルノデアリマスケレドモ、其ノ點ハ非常ニ範圍ヲ限局シテ參ル譯デアリマス、サウ云フコトト、ソレカラ相對賣買ノ方法ニ依ツテヤリマシテ、而モ受渡シ期行ハレマスケレドモ、ソレヲ若シモ市

場ニ於ケル實情ニ依ツテ買戻スト云フヤウ  
ナ場合ニ於キマシテ、從來ノ清算取引市場  
ニ於ケルト同様ナ買戻ハ認ヌマセヌ、唯別  
ニ新シク買ヒノ玉ヲ建テルト云フヤウナコ  
トハアリマシテモ、從來ノヤウナ期日前ニ  
於テ轉賣買戻ヲ行ヒ、賣リト買ヒトノ玉ヲ  
決済シテ無クシテシマフト云フコトハ認ヌ  
ナイノデアリマスガ故ニ、從來ノヤウナ單  
ニ米ノ受渡シヲ初メカラ目的トセズニ、差  
金ノ授受ノミヲ目的トシタヤウナ行爲ハ、  
自ラサウ云フ關係ニ於テハ除カレルノデア  
リマス、唯受渡シ期日ニ於キマシテハ例外  
トシテ差金ノ決済ヲ認ヌル、斯ウ云フ範圍  
ニ於キマシテハ、稍、從來ト似テハ居リマ  
スガ、ソコマデ至ル經過ニ於キマシテ、期  
日前ニ於ケル差金決済ハ之ヲ認ヌナイ、更  
ニ受渡シ物ニ付キマシテ從來ノヤウナ廣イ  
代用制ハ認ヌナイ、ソレカラ地方ニ於キマ  
シテ大體相對賣買ノ方法ヲ採ルト云フヤウ  
ナコト、及び是ハ未著取引市場ニ於キマシ  
テモ、延取引市場ニ於キマシテモ共通スル  
マス市場員ト云フモノガ總テ原則トシテ米  
ノ受渡ニ付テ實際ノ利害ヲ有シ、又實際ノ  
必要ヲ持チ、米穀取扱業者或ハ生産者團體  
ト云フモノガ、其ノ市場ノ市場取引員トナ

ツテ動イテ參ルノデアリマスカラ、從來ノヤウニ單ニ差金ノ授受ダケヲ目的トシテ、米ノ取引ニハ實質上何等利害關係ヲモ有シナイ米屋以外ノ方ノ參與シテ居リマス市場ニ於キマシテハ、未著物及ビ延ヲ認メテ、ソコニ必要ナル限度ニ於テ差金決済ヲ認メマシテモ、從來ノヤウナ投機取引ガ非常ニ行ハレルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯然ラバ何故ニ延ト未著物ヲ認メルカト云フ話ニナルカト思ヒマスガ、是ハ何處マデモ此ノ會社ノ行ヒマス取引ハ、實物ノ出現ニ應ジテ實物ノ取引ヲ原則ト致シマスケレドモ、ヤハリ場所的時間的ニ實物ノ大量賣買ヲ致シ、需給ノ統合ヲサセルト云フ結果ニ於キマシテモ、ソコニ多少ノ先物ノ取引ヲ認メル、或ハ未著物ノ取引ヲ認メルト云フコトガ、需給ノ圓滑ヲ期スル上ニ於テ必要デアル、之ヲ單ナル現物市場ナドニ於キマシテ、五日以内ダケニ取引ヲ限定致シマスト、却テ配給ノ圓滑ヲ害スル、斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ、茲ニ延又ハ未著物ノ取引ヲ、或ル程度時間的ニ餘裕ノアル先物ノ取引ヲ認メマシテ需給ノ統合ヲ圖リ、米價ノ平均ヲ保タセル、斯ウ云フ意味合ニ於

キマシテ現物ノ取引ガ主デハアリマスガ、

ソレヲ完全ニ行ハシメテ行ク爲ニ、斯ウ云  
フ兩方ノ取引ヲ認メタ譯デアリマス、御諒

承ヲ願ヒマス

○小平委員 此ノ問題ハ委員會開始以來、

皆サンカラ御質問ガアツタヤウニ私ハ拜承

致シテ居ルノデアリマス、只今モ御説明ヲ

承ツタノデアリマスガ、ドウモ私共ハ此ノ

投機デナイト云フ御説明ニ對シテハ、マダ

承服ガ出來ナイノデアリマス、然ラバ此ノ

先物ニ對シテ賣買高ハ御制限ヲナサル御考

デアリマスカ、詰リ銘柄取引或ハ組合セ取引

ニ依リマシテ賣買ヲスルノデアリマスカ、

其ノ先物ハ幾ラ以上賣ツテハイカスト云フ

ヤウナ制限ヲナサル御考デアリマスカ、或

ハ賣方賣方トニ何百万石ノ建植ヲシテモ宜

シイ、此ノ點ニ付テハ制限ヲシナイ、斯ウ

云フ御考デアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○周東政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ、

或ル程度ノ取組高、賣買高ノ數ノ制限ニ付

テハ致サナケレバナラヌカト考ヘテ居リマス

○小平委員 ドノ位ノ額ノ制限ヲサレル御  
考デアリマスカ

○周東政府委員 是ハ各市場毎ニ其ノ市場  
ニ出廻リマス數量等ヲ考ヘテ決メタイト思

ヒマスノデ、只今具體的ニハマダ申上ゲル

程度ニ達シテ居ラヌヤウナ事情デアリマス

○小平委員 只今ノ御説明ニ依リマスト、

本法ハ實際ノ必要ニ應ズルモノヲ以テ賣買

ヲサセルノダ、斯ウ云フコトガ再三御言葉

モアツタヤウデアリマスガ、私ハ此ノ實際

取引ノ狀況カラ考ヘマスルト、途中デ轉賣

ヲスレバ宜シイノデアリマスカラ、本當ハ

米ノ要ラナイ人ガ、借金ヲシテ清算取引ヲ

ヤルト云フ考ヲ持ツ者ガ、相當ニ此ノ市場

ヲ利用シテ出來ルト思フノデアリマス、

其ノ點ハドウ御考ニナリマスカ

○周東政府委員 此ノ點ハ先程申シマシタ

ヤウニ、今度ノ市場員ニ付キマシテハ、其

ノ資格ヲ定メテ免許ヲ致シマス、其ノ市場

員ヲシテ取引セシメルコトガ大體ノ原則デ

アリマス、其ノ市場員ガ米ノ取引ニ一切關

係ヲ有シ、又必要ノアル人デゴザイマスノ

デ、御話ノヤウナ場合ハ少カラウト思ヒマ

ス

○吉植委員 委員長、一寸ソレニ關聯シ

テ——今ノ未著物ノ場合ニ轉賣ヲ許ス、甲ト

乙トノ間ニ丙乃至丁ガ入ルノヲ許シテ、轉

轉ト賣買サセル必要ハ、ドウ云フ所カラ生

ジテ來マスカ、御伺致シタイト思ヒマス

○周東政府委員 未著物ノ取引ハ、度々申

上ゲマシタヤウニ、大體十五日以内ニ受渡

期日ヲ定メタ時デアリマシテ、其ノ十五日

二箇月モ先ノ先物デアリマスト、其ノ間ニ

左様ナ必要ガアルカモ知レマセヌガ、ドウ

モソコノ所ガハツキリシマセス、モウ少シ

マシタ場合ニ、ソレヲ賣ルコトモアラウト

考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ別ニ其ノ

ノ期間内ニ於ケル轉賣ヲモ認メタ譯デアリ

マス

○吉植委員 サウ云フ際ニ、ソレヲ禁止ス

ルト、米ノ供給ノ不圓滑ヲ來スト云フ實害

ガ伴フノデゴザイマセウカ、ソレヲ一寸承

リタイ

○吉植委員 サウ云フ際ニ、ソレヲ禁止ス

給ヲ豫定致シマス爲ニ、市場員相互ノ間ニ於

テ、未著物取引ノ中間デ、横ノ賣買行爲ガ

行ハレル必要ガアルト思ヒマス、十五日ノ

間ニ實物市場ヘノ供給ノ代位ヲ考ヘマシテ

スルコトハ、事實上困難デゴザイマス、隨

ヒマシテ斯ル遠隔ノ地ノモノヲ受渡ス場合

ニハ、現在ニ於キマシテモ二週間位ハ掛ル

付テハ五日以内ノ受渡ヲ十五日、二週間位

マデ延バシテ、實物ノ取引ニ相應セシムル

必要ガアル、其ノ爲未著物ヲ認メマスノ

デ、決シテソレヲ投機ノ具ニ供スルコト

ハ、殆ド絶對ニナイト申上ゲテモ差支ナ

ト思ヒマス

○吉植委員 今ノコトデ之ニ對スル説明ハ

能ク分ツテ居リマスケレドモ、其ノ間ニ事情ガ生ジテ、轉賣シナケレバナラスト云フ理由ガ分ラナイ、ソレヲ聽イテ居ルノデス、實例ヲ舉ゲテ言ツテ下サイ

○新倉政府委員 例ヘバ九州ノ米ヲ東京デ契約ヲ致シマスト、契約ヲシマシテカラ引渡スマデニ、五日ト云フコトデハ到底引渡セナイト云フ點ハ御諒承ヲ戴イタト思ヒマス、サウナリマスト假ニ十日ナラ十日ト致シマシテ契約シマシテモ、現實ノ品物ヲ引渡ス十日マデノ間ニ、或ル程度價格ノ騰落ガゴザイマスカラ、其ノ場合ニ「ビー」ナラ「ビー」ノ人ニ賣リ、「ビー」ガ「シー」ニ賣ルコトガ、實際上現在ニ於テモゴザイマス、又價格ノ騰落ハ、今後ノ米穀市場ニ於テモ全然ナイ譯デハゴザイマセヌデ、所謂延取引ニ於キマシテモ、公定價格ノ範圍内デハ米ノ價格ノ騰落ハアリマス、隨ヒマシテ小サナ幅ノ騰落ハ常ニソコニナルノデゴザイマス、サウ云フ點ヲモ考ヘマスト、十日ナラ十日ト云フ間ニ、「エー」ガ「シー」ニ賣ツタモノハ、必ズ「シー」ニ賣ラナケレバナラナイト云フコトデナシニ、其ノ間ニ「ビー」ガ入りマスコトモ、實際ノ取引ノ圓滑ニハ役立ツデアラウト云フ考デゴザイマス、逆ニ言フトソレハ必ズ「エー」カラ「シー」ニ賣ツ

タ場合ニ、中間ニ「ビー」ガ入ラナイヤウニスル方ガ、寧ロ投機ト云フ要素ガ全然ナク契約ヲ致シマスト、ヤハリ「ビー」ガ入ル方ガ圓滑ヲ期シマス爲ニ宜イコトモアル、投機ニ流レテハナラナイト云フ點ハ、全ク御趣旨ノ通りダト思ヒマスケレドモ、十幾日ノ間ニ投機ヲスルコトハ、殆ド實際問題トシテ出來ナイト思ヒマスノデ、差支ナイト考ヘル次第デアリマス。

○吉植委員 只今ノ御話ハドウモヤハリハツキリシマセヌ、ト云フノハ本法ガ投機ハイケナイト云フノデ、投機性ヲ根本カラ排除シテ居リマスノニ、甲カラ乙ニ渡リ、乙カラ丙ニ更ニ渡ルト云フ狀態デ、米價ノ騰落ニ依ツテ中ニハ賣リタクナル人ト買ヒクナル人トアル、之ヲ許スコトニナルト即チ投機性ヲ認メテ居ルコトニナリマシテ、本法ノ精神ト根本ニ背反スルヤウニ私ハ考ヘマス、併シ是以上ハ御尋シテモ議論ニナリマスカラ御尋ハシマセヌガ、ドウモ吾々ハ左様ニ認定ゼザルヲ得ナイヤウニ思ヒマス、此ノ點ヲ申上ゲテ私ノ質問ヲ終リマス

○松村政府委員 其ノ點ハ非常ニ重要ナ點デアリマス、之ニ投機ヲ絕對ニ禁絶スルト云フコトハ、實際ノ上ニ於テハソレガ理想デアリマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ行カナイト思ヒマス、ナゼナラバ五日渡ノ正米ノ取引ニシマシテモ、尙且ツソコニ投機ガ行ハレル、色々ノ方法デ投機ハ出來ルコトデアリマスカラ、絕對ニ之ヲ禁絶スルノダント云フコトハ私共考ヘテ居リマセヌ、但シ過去五箇年間ニ一億石ノ取引ヲシナガラ、

○小平委員 私ハ尙ホ其ノ問題ニ付テ御伺  
シマスガ、就キマシテハ投機ハ絕對排除シタル方ガ、寧ロ投機ト云フ要素ガ全然ナクテ宜イデハナイカト云フ御考デアラウト思ヒマスケレドモ、ソレハ先程モ申シマシタヤウニ、米ソ需給ノ圓滑ヲ圖ル方面カラ申シマスト、ヤハリ「ビー」ガ入ル方ガ圓滑ヲス、斯ウ云フ御考デゴザイマセウカ、此ノ點ヲハツキリ御答願ヒタイ

○松村政府委員 其ノ點ハ非常ニ重要ナ點デアリマス、之ニ投機ヲ絕對ニ禁絶スルト云フコトハ、實際ノ上ニ於テハソレガ理想デアリマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ行カナイト思ヒマス、ナゼナラバ五日渡ノ正米ノ取引ニシマシテモ、尙且ツソコニ投機ガ行ハレル、色々ノ方法デ投機ハ出來ルコトデアリマスカラ、絕對ニ之ヲ禁絶スルノダント云フコトハ私共考ヘテ居リマセヌ、但シ過去五箇年間ニ一億石ノ取引ヲシナガラ、

○周東政府委員 御話ノ通リデゴザイマシテ、販賣組合ト云フモノノ性質ハ、組合員ノ生産シタモノヲ共同販賣スルト云フ建前デアリマス、外カラ他人ノモノヲ買取ルト云フ事柄ハ、其ノ性質上出來ナイコトニナツテ居リマスカラ、御話ノ通リデゴザイマス

○松村政府委員 小平君ニ一寸御断リ申上  
ゲテ置キマスガ、私ノ答辯ト米穀局長ノ答  
辯ト違ツタヤウニ御聽ニナツカモ知レマ  
セヌケレドモ、局長モ勿論投機ヲ全然禁絶  
スルト云フ意味デナクテ、抑制出來ルト云  
フ意味デ説明ヲシテ居ラレタノデアリマシ  
テ、是ハ抑制出來ル理由ヲズツト御話ニナ  
ツタノデアリマスカラ、局長ノ答辯ト私ノ  
答辯ト食達ヒガアルト御考ニナリマスト、  
ソレハ實際ハ左様デナイノデゴザイマスカ  
ラ、念ノ爲ニ申上げテ置キマス

○小平委員 諒承致シマシタ、次ニ御尋致  
シタイコトハ、市場員デナイ所ノ米穀商人ヘ、  
其ノ地區内又ハ地區外ニ於テ、市場ヲ經由  
シナイデ賣買スルコトガ出來得ルカドウカ、  
是ハ市場員ノ資格ノナイ地方ノ仲介業者或  
ハ小賣業者ト云フモノハ、非常ニ之ヲ心配  
シテ居リマス、吾々ハ市場員デナイカラ、  
地區内デモ地區外デモ賣買ハ出來ナイノデ  
ハナイカ、サウナルト米穀業者ハ全然失業  
デアルト云ウテ非常ニ心配シテ居リマスガ、  
此ノ點ハツキリ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマ  
ス

○周東政府委員 御話ノ通り非市場員ハ、  
地區内ニ於テモ地區外ニ於テモ自由ニ賣買  
ハ出來ヌノデゴザイマス

○小平委員 次ニ產組ト米穀商人トノ摩擦  
ハ、其ノ最大原因ハ、產組ガ商人ノ行フ配  
給範圍ニ入り込ンデ、白米ノヤウナモノノ  
小賣マデモヤルト云フ所ニアルト考ヘテ居  
リマスガ、今回ハ日本米穀株式會社ノ市場  
員トシテ、生産者團體ガ最高ノ配給機關ニ  
携ルノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ中  
小商人トノ地方ニ於ケル摩擦ヲ防グ意味ニ  
於テ、生産者團體ガ白米ノ小賣竝ニ卸ノヤ  
ウナ、消費者直接ノ賣買ヲスルコトヲ、制  
限若クハ停止スル御意思ガアルカドウカト  
云フコトヲ御伺シテ置キマス

○周東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ、  
第一條ノ許可ヲ受ケル必要ノアル者ノ範圍  
ヲ定メル場合ニ於キマシテ、新シク販賣組  
合ガ白米小賣ヲ爲ス場合ニハ、此ノ許可ヲ  
受ケル制度ニ致シタノデアリマスカラ、之  
ニ依ツテ其ノ地方毎ニ白米ノ販賣取引ノ上  
ニモ、白米小賣商等トノ關係ヲ能ク考慮シ  
テ、許可不許可ト考ヘテ行キタイト云フ  
只今ノ御話ノ趣旨ニ歸シテ居ルト考ヘマス  
ト云フヤウナ場合ニ付テハ、政府ハドウ云

○小平委員 次ニ御伺致シテ見タイコトハ、  
業團體ガ既ニ白米ノ小賣業ヲヤツテ居ル場  
合ニ於テ、現在ノ其ノ施設ヲ擴大強化スル  
フ御考ヲ持ツテ居リマスカ、此ノ點ヲ御伺  
致シマス

○周東政府委員 現在ノ販賣組合ガ白米ヲ  
リマスガ、今回ハ日本米穀株式會社ノ市場  
員トシテ、生産者團體ガ最高ノ配給機關ニ  
携ルノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ中  
小商人トノ地方ニ於ケル摩擦ヲ防グ意味ニ  
於テ、認メテ行ク積リデアリマス、唯其ノ  
場合ニ於テ色々設備ナリ、支店、出張所ト  
云フヤウナモノヲ、地域的ニ擴大シテ行ク  
コトニナリマスト、是ハ定款ノ變更ナドノ  
問題ガアルト思ヒマスノデ、サウ云フ場合  
ニハ、同様能ク地方ノ事情ヲ考慮シテ決メ  
テ行キタイト思ヒマス

○小平委員 尚ホ御伺致シマスガ、全販聯  
ヲ市場員トシテ一方ニ認ムルコトハ、地方  
ノ買市場ニ於テハ集荷市場トシテノ意義ヲ  
失フ、縣販聯ト全販聯ノ關係ノ強化ニ依ツ  
カ、全販聯若クハ縣販聯ガ市場員トシテ入  
ルノデスカラ、是等ノ機構ヲ持ツテ居ル團  
體ガ地方ノ市場ニ於ケル集荷ヲシヨウト云  
フ場合ニ於テハ、是ハ非常ニ迅速ニ而モ確  
實ニ集荷ガ出來ルト私ハ考ヘテ居リマス、  
サウ云フコトニナルト、現在マデヤツテ居  
タル地方ノ仲介業者或ハ移出業者ハ、全然職  
務失フコトニナルト思フノデアリマスガ、

○小平委員 次ニ御伺致シテ見タイコトハ、  
實物市場ニ於ケル賣又ハ買一方ノ市場員デ  
アツテ、賣市場ニ於テハ買方ハ一般誰デモ  
購入ガ出來ル仕組デアリマス、而シテ生產

消費直接結付キ得ルト考ヘルノデアリマス  
ガ、當局ハドウ考デアルカ、又買市場ニ  
モ賣リ得ル仕組デアリマスガ故ニ、全販聯  
ヲ市場員トシテ認メルコトハ、產地ニ於テ  
移出業者、買集業者ニ非常ナ影響ヲ與ヘル、  
斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、  
此ノ點ニ付テハドウ云フ風ニ考ヘルカ、  
大體前ニ質問申上ゲタコトト大差ナインデ  
アリマスカラ、ソコデ斯ウ云フ風ナ仕組ニ  
ナツテ來ルト私ハ思フノデアリマス、將來  
產組ガ非常ナ發達ラスル、ソコデ地方ノ商  
人ハ非常ニ寂レテシマフト云フヤウナコト  
ニナツテ行クノデアリマスカラ、サウ云フ  
場合ニ於テハ、商工、農林兩省ガ協議ノ上、  
市場員ノ許可ト云フ問題ニ付キマシテ、相  
當ナ手心ヲ加ヘル必要ガアルノデハナイカ、  
斯ウ考ヘルノデアリマスガ、先以テ商工省  
當局カラ其ノ點ニ付テ承リタイト思ヒマス  
業組合ト商人トノ間ノ摩擦相剋ヲ增加スル  
ニ付キマシテ、本會社ノ問題ヲ繞ツテ種々  
ナル問題ガアリマス、唯根本ノ方針ト致シ  
マシテハ、本會社ノ設立ニ依リマシテ、產  
フコトハ、商工、農林一致シタ意見デゴザ

イマス、隨ヒマシテ今ノ市場員ノ問題ニ付  
キマシテモ、是ガ許可ニ當リマシテハ、先  
程申シマシタヤウナ根本ノ趣旨カラ此ノ市  
場員ノ問題ヲ考ヘテ、ソコニ摩擦相剋ノナ  
イヤウナコトデ許可ヲヤツテ行クト云フ風  
ナ考ヘ方ヲ持ツテ居リマス、隨ヒマシテ  
個々ノ具體的ノ市場ニ付テドウカト云フコ  
トハ、其ノ各市場ノ實情ニ依ツテ色々違ツ  
テ來ルコトト思ヒマス

○小平委員 農林當局カラモ御答ヲ願ヒマ  
ス

○周東政府委員 只今商務局長ガ御話ニナ  
リマシタト同様ナ趣旨デ私共考ヘテ居リマ  
ス、ソレカラモウ一步附加ヘテ置キマス、  
實物市場ト云フモノニ付キマシテ、賣市場  
或ハ買市場ト云フヤウナ、一方的ニ必ズシ  
モ限定スルモノハ、只今ノ所考ヘテ居リマ  
セヌ、地方ノ實情ニ應ジマシテ、市場ト云  
フモノガ賣一方ノ市場ニナル場合モアリマ  
セウシ、或ハ買一方ノ市場ニナル場合モア  
リマセウシ、或ハ賣賣共ニ行ハレル市場ニ  
ナルカト思ヒマス

○小平委員 次ニ私ハ現在ノ公定米價ガ最  
高三十五圓四十錢、最低二十九圓九十錢ハ、  
現在ノ諸物價ニ比較致シマシテ適當デアル  
カドウカト云フコトヲ御伺シテ見タイト思

フノデアリマス、此ノ問題ハ再三委員各位  
カラ御質問ガアリマシテ、之ニ對シテ政務  
次官カラモ或ハ大臣カラモ御答辯ガアリマ  
シタノデ、私共モ大體ハ諒承致シテ居ルノ  
デアリマスガ、ドウシテモ瞬ニ落チナイ所  
ガ私ハアルノデアリマス、此ノ間ノ政務次  
官ノ御答辯ニ依リマシテモ、現在ノ米價ハ  
他物價ニ比較シテハ相當低イカモ知ラヌ、  
併シ低物價政策ノ今日ニ於テ之ヲ變更スル  
コトガ出來得ナイ、併シ將來ハ非常ナ物價  
ノ變動ニ依ツテ、或ハ變更ヲシナイトモ限  
ラスト云フコトノ御答辯ガアツタヤウニ私  
ハ記憶シテ居リマスガ、其ノ點尙ホーツハ、  
ツキリ政務次官カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒ  
マス

シソレニナリマスマデニハ、出來得ル限り農業用ノ資材及ビ一般物價モ出來ルダケノ抑制ヲ致シマシテ、出來ルダケ米ノ生產費モ安クシテ、米ト他ノ物價トノ釣合ガ取レルヤウニ努メルコトガ、先づ第一義デアリマスガ、若シモソレガ出來ナクテ、他ノ物價ガ上リ、農業用資材ガ上リマシタ場合ニ於テハ、米バカリ安クシテ置ク譯ニハ行キマセヌカラ、サウ云フ場合ニハ是ハ相當ニ考慮ラセネバナラヌ、斯ウ云フ風ニ申シタノデゴザイマス、左様御承知ヲ御願致シマス

政務次官ノ仰シヤル物價ノ變動アツタ場合ニハト云フ其ノ程度ハ、ドノ程度ニマデ物價指數ガ上リマシタ場合ニ、御訂正ニナル御考ヲ御持チニナツテ居リマスカ、其ノ邊承ツテ置キタイト思ヒマス

○松村政府委員 其ノ點ハ非常ニ困難ナ問題デアリマシテ、有ユル物價ノ騰貴ガ

〔委員長退席、長野委員長代理著席〕

此ノ邊へ來タナラバ基準米價ヲ變ヘネバナラヌカト云フ、其ノ程度ト其ノ時期トハ、是之ヲ明確ニ、此ノ點へ來タナラバ上げ、此ノ時期へ來タナラバ上ガルト云フコトハ、是處デドノ程度へ來レバ上ガルト云フコトハ、其ノ決定ヲ致シマスマデ、其ノ斟酌ノ

ハ農林大臣ガ最善ノ考慮ヲ拂ツテヤルコトデアリマスノデ、今此處マデ來タカラ、此ノ農林大臣ガ最善ノ考慮ヲ拂ツテヤルコトハ、其ノ點ハ公定米價ヲ變ヘネバナラヌカト云フコトハ良イ方法デ

○小平委員 併シ大體私ハ此ノ米穀統制法ノ第二條ノ發動ノ場合ニハ、公定米價ガ決定シタ時ヨリモ、大體諸物價ガ何割位上ツタ場合ニハ——殊ニ生産資材ガ上ツタ場合ニハ、此ノ公定米價ヲドウシヨウトカ云フヤウナ、普段ニ御考ガアルト信ジテ居リマスガ、唯漠トシテ統制法ノ第二條ヲ立法シタモノデアリマシテ、大體サウ云フ豫定ト

云フモノハナイノデアリマスカ、ドノ位上付テノ話モ色々アツタ聞イテ居リマス、タモノデアリマシテ、大體サウ云フ豫定ト

ツタナラバ公定米價ハ變更シナケレバナラスト云フヤウナ案ガアルカ、一昨日カ政務次官ノ御答ノ中ニ斯ウ云フコトガアツタノデゴザイマス、殊ニ現在ノ米ノ所有高ヲ調べテ見ルト、中小農家ハ持ツテ居ナイデ、食ハナケレバナラヌヤウナ時代ニ遭遇シテ居ルカラ、此ノ際上ガルト云フコトハ、一寸困難ダト云フ御答辯ガアツタヤウニ聞イテ居リマスガ、併シ私ハサウ云フ問題ハ心配スル必要ハナイト思フ、御説ノヤウニ、

中小農ハ買ツテ食フ時代ニ遭遇シテ居リマス、仍テ私ハ農村ノ資材ノ物價ガ非常ニ高クナツテ居ルヤウデアリマスカラ、公定米價ハ上グベシ、サウ云フ困る者ニ對シテハ、政府ノ貯藏米ヲ安ク拂下グテ、サウンテ一方農民ヲ救濟スルト云フコトハ良イ方法デヤナイカト考ヘルノデスガ、此ノ點ニ關スル御所見ヲ伺ヒマス

○松村政府委員 實ハ是ハ以前ノコトデアリマスケレドモ、米穀統制法ノ——米穀法時代デアリマセウガ、基準米價ヲ定メマス際ニモ、其ノ條項ニ付テハ、サウ云フ基準ニ付テノ話モ色々アツタ聞イテ居リマス、タモノデアリマシテ、大體サウ云フ豫定トスコトガ困難デアリマスノデ、ソレハ農林

大臣ノ斟酌ニ任セル、斯ウ云フコトニセザルヲ得ナタナツタ譯ダト承ツテ居リマス〔長野委員長代理退席、委員長著席〕

次官ノ御答ノ中ニ斯ウ云フコトガアツタノデゴザイマス、殊ニ現在ノ米ノ所有高ヲ調べテ見ルト、中小農家ハ持ツテ居ナイデ、食ハナケレバナラヌヤウナ時代ニ遭遇シテ居ルカラ、此ノ際上ガルト云フコトハ、一寸困難ダト云フ御答辯ガアツタヤウニ聞イテ居リマスガ、併シ私ハサウ云フ問題ハ心配スル必要ハナイト思フ、御説ノヤウニ、

中小農ハ買ツテ食フ時代ニ遭遇シテ居リマス、仍テ私ハ農村ノ資材ノ物價ガ非常ニ高クナツテ居ルヤウデアリマスカラ、公定米價ハ上グベシ、サウ云フ困る者ニ對シテハ、政府ノ貯藏米ヲ安ク拂下グテ、サウンテ一方農民ヲ救濟スルト云フコトハ良イ方法デヤナイカト考ヘルノデスガ、此ノ點ニ關スル御所見ヲ伺ヒマス

○小平委員 米價問題ハ以上申上ガマスト議論ニナリマスカラ申上ゲマセヌ、私ハ色々同僚各位ノ御質問ニ對スル政府ノ所見、尙又私ガ本日政府ニ對シテ質問ヲ致シマシタ御答辯ニ依リマシテ、本法ヲ考ヘテ見マスルト、ドウモ本法ハ適正ナル米價ヲ以テノ取引ヲ戰時下ニ於テ致サセ、或ハ圓滑ナル米穀ノ取引ヲサセルノダト云フコトガ、主眼ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、私共モ非常ニ期待シテ居タノデアリマスガ、此ノ結果ヲ豫想致シマスト、私ハ更ニサウ云フ效果ハ舉ラナイデヤナイカ、却テ複雜多岐ナル所ノ法律ニ依リマシテ、米穀ヲ地主ノ話モ色々アツタト聞イテ居リマス、尙又地方ノ米穀ヲ扱ツテ居ル商人ハ、是モ非常ニ取引ガ複雜ニナツテ來マシテ、吾々ハドウナルデアラウト云フコトデ非常ニ心配シテ居ル、併シ此ノ法律ノ施行セラレルコトヲ考ヘテ見

最後ニ達スル目的ハ何デアルカト云フコトニナルト、是ハ甚ダ失禮デアルカモ知レマセスガ、私ハ現在ノ清算取引所ノヤウナモノヲ救濟スルト云フ案ニ過ギナインデハナリヤ、此ノ利害關係者ハ、之ガ通過ノ曉ニハドウオルデアラウカトヲ、非常ニソコデ熟考ヘテ見マスト、本法ガ提案サレルヤ、此ノ利害關係者ハ、之ガ通過ノ曉ニハイカト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、

マスト、是ハ又自分等ノ生活擁護下コロデ  
ハナイ、却テ非常ナ反対ノ結果ヲ招來スル  
コトニナリマス、斯ウ考ヘテ見マスルト、  
生産者モ或ハ生産團體モ、或ハ地方ノ商人  
モ、移出業者モ、殆ド私ハサウ期待スルダ  
ケノ宜イコトハナイト思フ、之ニ依ツテ非  
常ナ複雜化ヲ生ジテ、米穀ノ偏在ヲ來ス、  
私ハ豫期ニ反スル結果ニナルコトハ、火ヲ  
賭ルヨリ明ナリト考ヘテ居リマス、斯ウ觀  
ジ詰メテ見マスト、此ノ結果ハドウデアル  
カト云フト、現在殆ド處置ニ困ツテ居ル、  
悲況ニ陥ツテ居ル清算取引所ヲ救濟スルト  
云フ外ニ、何モノモナイデハナイカト云フ  
結論ニ到著スルモノデアルト私ハ考ヘテ居  
リマス、此ノ點ニ對スル政府當局ノ御意見  
ヲ伺ヒマス

○松村政府委員 御話ノ通リニ、此ノ法案  
ニ付テドツチカガ利益ガアルカト期待シテ  
居タ者ガアリマスナラバ、是ハ間違ツタ期  
待デアリマシテ、私共ハ此ノ案ヲ出シマス  
ノニ、或ハ生産者ノ團體ダケノ利益ヲ圖ル、  
如キ、ドツチカニ片寄ル考ヲ持ツテ出シタ  
コトデナカツタコトハ御諒承下サルコトト  
思ヒマス、唯問題ハ、平時ハ勿論デアリマ  
スガ、戰時ニ於テ、若シモ此ノ儘ノ取引機  
構ニ致シテ置キマスト、其ノ場合ニ於テ、  
萬一米ノ思惑ガ將來起リマシタ場合ニ、米  
價ヲ適正ニ保ツテ行クト云フ國ノ必要ナコ  
トガ、或ハ期待ニ反スルト云フガ如キコト  
ガナイトモ限リマセヌ、今日ノ場合ニ於テ  
政府ニモ相當ノ持米モ持ツテ居リマスシ、  
今日ノ米價ヲ最高最低ノ間ニ保クシテ、  
サウンシテ國民ノ常食ニ事ヲ缺カセナイコトニ  
ハ勿論自信ガアリマス、御承知ノ通り米ヲ  
初メ農業ハ今モ尙ホ天候ニ依存スル所ガ多  
イモノデアリマスカラ、サウ云フ場合ガア  
リマシタナラバ今日ノ取引機構ニ於キマシ  
テハ米價ノ變動ハ相當ニ激シイモノガアツ  
テ、政府ガ現在持ツテ居リマス米デ、今日  
ノ統制法ノ制度デ抑ヘルコトガ出來ナイト  
思ヒマス、若シモサウ云フ場合ガアリト致  
シマシタナラバ、今日國民生活ノ安定ハ根  
抵カラ覆サレテ、非常ニ憂フベキ狀態ノ參  
リマスコトハ火ヲ賭ルヨリモ瞭カデゴザイ  
マスカラ、未ダ天ノ雨降ラザル中ニサウ云  
フ場合ノコトヲ能ク考ヘテ、サウシテ米ニ  
マデモ、殆ド投機ニ依ツテ支配サルル米價  
ト云フモノヲ大體實需ニ基ク範圍ニ追ヒ込  
メテ、最低最高ノ間ニ價格ヲ保タシムルト  
カラ市場員ガ買向ツテ來ル、サウシテ極力

構ニ致シテ置キマスト、其ノ場合ニ於テ、  
努力スルト共ニ、今日ニ於テ是非用意シテ  
置カナクテハナラナイコトデアル、斯ウ云  
フ信念カラ致シマシテ此ノ法案ヲ提案致シ  
タ譯デアリマシテ、決シテ今日ノ取引所ヲ  
救濟スルノドウノト云フヤウナ一方ニ偏ス  
ル考ヘ方カラシテ、此ノ案ヲ出シタノデハ  
ナイト云フコトヲ御承知願ヒタイト思ヒマ  
ス

○小平委員 政務次官カラノ御説明デアリ  
マスガ、私ハ隨分此ノ問題ニ付キマシテ研  
究モ致シテ見タノデアリマスガ、只今ノ御  
說ニ依リマシテモ、マダ了承致サナイ點ガ  
多々アルノデゴザイマス、殊ニ私ハ本法ガ  
施行セラレマシテ困ル問題ガ一ツ起ルト思  
フノデアリマス、ソレハ公正ナル米價ノ決  
定ガ市場ニ於テ出來レバ宜イノデアリマス  
ガ、銘柄取引ヲ以テヤルノデアリマシテ、  
例ヘテ申上ダヌルト、栃木縣ノ米ガ非常  
ニ出過ギタト云フヤウナ現狀ヲ市場員ガ見  
タ場合ニ於キマシテハ、市場ニ向ツテ大量  
量ハ地方デ賣賣サレテ居ル數字ヲ調ベレバ  
直グ分ル、是ハ非常ナ結果ヲ生ズルト思  
フ、甲ノ縣ト乙ノ縣デ最高最低ヲ決メテア  
ルケレドモ、昨年ノ公定相場ヲ決ヌル時ニ  
ハ三十三圓何ガシノ市場ノ平均相場デアリ  
マシタガ、此ノ平均相場ガ市場ニ出來マシ  
テモ地方々々ニ依ツテ其ノ相場ヨリ非常ナ  
コトニナルト現物ガ逼迫シマス  
上下ガ出來ルト思フ、政府當局ノ御説明ハ  
アルカモ知レマセヌガ、私ハ自分ノ體驗カラ

考へテ見テモ是ハウマクハイカヌト思フ、併シ之ニ對シマシテ是レ以上政府ト議論ヲ致シマスト、私共ノ方ハ實際論、政府ノ方ハ机上論デ、是ハ議論ニナリマセヌカラ私ハ此ノ程度デ私ノ質問ヲ打切りマス

○山本委員 同僚諸君ノ質問ニ依リマシテ本法ノ提出セラレタ理由ガ段々明ニナリマシタガ、農林大臣ノ御説ヲ拜聽致シマスト、結局本法ノ必要ナ理由、即チ必要性ヲ要約致シマスト、第一ガ國民主要食物デアル米ノ配給統制ヲ行ツテ、米ノ偏在ニ依ル國民生活ノ不安ヲ除去スル、第二ハ適正妥當ナ米價ノ維持ニ依ツテ國民主要食糧品デアル米穀ノ増産ヲ確保スル、斯ウ云フコトニ歸著スルヤウデアリマスガ、勿論所論ノヤウニ米ノ偏在ノ是正、適正妥當ナル米價ノ維持、米ノ增産確保、此ノ三ツノ必要ナコトハ疑問ノ餘地ハアリマセヌ、殊ニ現在日本ガ大體一億万石ノ米ノ生産デ、消費モ大體之ニ似寄ツタ一億万石ノ消費デアル、人口ガ一方ニ於テ増加シテ行ク、米ノ需要モ増加スル、斯様ナ狀況カラ考ヘマスト、ドウシテモ適正妥當ナ米價ノ維持ト米穀ノ偏在是正、増產計畫、斯ウ云フモノガ必要缺クベカラザルコトハ吾人モハツキリ是認致シテ居リマス、尤モソコデ重大ナ問題ハ米ノ増產計畫

ニアルコトハ議論ノ餘地方アリマセヌガ、日滿支ヲ通ジタ增產計畫ヲ立テルニシマシテモ、日本ノ三千万農民ノ生活ト云フコトヲ考ヘズシテ無茶苦茶ニ增產計畫ヲ立テルト云フコトガ妥當デナイコトハ大臣御説明ノ通リデアリマシテ、茲ニ實際米穀ノ配給統制ノ必要ガアル、日滿支ヲ通ジタ經濟「ブロック」内ニ於テ單純ニ增產計畫ガ立テラレルナラバ如何ナル需要ガ起ツテ來テモ之ニ對スル供給確保ト云フ問題ハ大シタ問題モ起リマセヌ、サウスレバ米穀ノ配給統制ト云フ問題モ必要ガナクナツテ來ル、然ルニ其ノ増產計畫ナルモノガ日本ノ農民ノ經濟生活ト云フコトヲ考ヘテ行カナケレバナラヌ所ニ、配給統制ノ必要ガアルト云フコトハ私共モハツキリ之ヲ認識スルノデス、サウ云フ見地カラ本法ヲ提出セラレタモノダント云フ見地カラ本法ヲ提出セラレタモノダト承認致スノデアリマスケレドモ、サウ云フ目的デ本法ヲ提出セラレタ致シマシテ、果シテ政府ガ本法案ノ提出ニ依リマシテ所期ノ目的ガ達セラレルカドウカト云フコトニ付テハ、大分色々ノ御質問ガアリ御答辯ガアリマシテ、大體了承致シマシタケレドモ、未ダ疑問ガ解消致シマセヌ、ソコデニ質疑ヲ試ミタイト思フノデゴザイマス、私ハ第一ニ御尋致シタイノハ本法提出ノ所期ノ目的ハ、

本法ニ依ツテ米穀會社經營ニ依ル市場取引ヲ擴大強化シテ、漸次一元的ナ配給機構ニ依ツテ、現在ノ配給機構ヲ變革セントスルノガ主デアルノカ、又ハ單ニ米穀ノ偏在ヲ是正シテ配給ノ圓滑ト適正價格ノ維持ト云フコトガ主ナノカ、是ガ今日マデ色々御議論ヨトガ主ナノカ、是ガハツキリト認ガアリ、御答辯ガアリマシタケレドモ、ハツキリト認識セラレナイ、是ガハツキリト認識セラレバ本案ニ對スル業者其ノ他ノ種類ナル反對議論モ大部分解消スルモノト信ズル、ソコデ私ハ御伺フスルノデスガ、即チ本法ノ目的トスル所ハ、單純ナ米穀ノ偏在ノ是正シテ配給ノ圓滑ヲ期スル、而シテ適正價格ノ維持ヲスルト云フコトガ本法ノ全部ノ目的デ、本法ヲ施行スルコトニ依ツテ從来カラアル配給機構ニ變革ヲ來サウトスルノデハナイノダト云フコトニ歸著スルノカドウカ、其ノ點ヲハツキリト御答ガ願ヒタノデハナイノダト云フコトニ歸著スルノカイ、一面ニ於テハ本法ハ取引所ノ救濟グト云フヤウナ議論マデ出テ來ルノモ、本法ノ實來カラアル配給機構ニ變革ヲ來サウトスル者團體ト消費者團體ト而シテ從來ノ米穀配給業者ノ方々ト、即チ三位一體トナツテ圓滿ナル配給ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フノガ本法ノ趣旨デアリマス

○山本委員 大臣カラハツキリト其ノ點ヲ御答辯ヲ得マシタガ、只今御答辯ノ如キ趣旨デ本法實施ヲ必要トスルノダト云フコトクテ、刻下戰時體制下ニ於ケル主要食物ノ偏在ヲ是正シテ、サウシテ配給ノ圓滑ト適正價格ノ維持ニアルノダ、ソレ以外ニハ何等ノ所期スル目的ハナイノダト云フコトヲハツキリサレバ、本法ニ對スル世論モ亦一定シテ來ルト思フ、左様ナ見地カラ此ノ點ニ對シテハツキリシタ御答辯ガ伺ヒタイノ趣旨ガ米穀ノ偏在ヲ規正シ配給圓滑ヲ期スルコトガ目的デアツテ、配給機構ヲ變更スルコトガ目的デアツテ、配給機構ヲ變更スル意思ニ基クモノデハナイ、斯ウ考ヘルガドウデアルカト云フ風ナ御質疑デアツタト思ヒマスガ、御説ノ通リデアリマス、即チ本法案ニ依ツテ市場ガ整理致サレマス結果、之ニ基イテ從來ノ機構ニ從事サレテ居ル方々ガ利便ヲ得ラレル點ハ多少アルト思ヒマスケレドモ、之ニ依ツテ從來ノ配給機構ガ一大變革ヲ來ストハ考ヘテ居リマセヌ、又先日來申上ゲマス通り、一元的ニ集荷ヲヤルコトヲ目標ト致シテ居ルモノデモアリマセヌ、即チ度々申シマス通り、所謂生產者團體ト消費者團體ト而シテ從來ノ米穀配給業者ノ方々ト、即チ三位一體トナツテ圓滿ナル配給ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フノガ本法ノ趣旨デアリマス

○山本委員 大臣カラハツキリト其ノ點ヲ御答辯ヲ得マシタガ、只今御答辯ノ如キ趣旨デ本法實施ヲ必要トスルノダト云フコトクテ、刻下戰時體制下ニ於ケル主要食物ノ偏在ヲ是正シテ、サウシテ配給ノ圓滑ト適正價格ノ維持ニアルノダ、ソレ以外ニハ何等ノ所期スル目的ハナイノダト云フコトヲハツキリサレバ、本法ニ對スル世論モ亦

ソレデ宜イノダ、ソレダケノ目的デ本法ヲ  
提出シタノダト言ハレテ居リマスガ、結局  
本法ガ認メテ居ル配給機構ハ二元的デアル、  
即チ生産者カラ產組系統ヲ經テ本法ノ米穀  
市場ヲ經テ消費者ニ行クト云フ一ツノ系統ト、  
生産者カラ生産地ニ於ケル米穀商ノ手ヲ經  
而シテ仲介業者ノ仲介ニ依ツテ消費者ニ行  
ケル米穀業者ノ手ニ渡リ、而シテ消費者ニ行  
ツテ居ル配給機構、此ノ二ツノ系統ヲ本法  
ハ是認シテ居ル、從來モ此ノ機構ニ於テ圓  
滑ニ米ノ配給ガ出來テ居ル、此ノ二ツノ系  
統、大キナ此ノ二ツノ配給機構ヲ本法デモ  
認メテ居ル、本法デ其ノ二ツノ機構ヲ認メ  
テ置イテ、サウシテ一方ニ於テハ米穀會社  
ガ百數十万、少クトモ最低千五百万ノ民間  
出資ニ對シテ年六分、即チ九十万圓ノ配當  
ヲ目論ンデ居ル、所ガ產組系統ヲ經タ所謂  
從來ノ配給デハ、其ノ機構ニ依ル米ノ實際  
取扱數量ハ二十數「パーセント」ニ過ギナ  
イ、第二ノ米穀業者ノ手ヲ經テ配給サレテ  
居ル實數ハ七十「パーセント」ヲ超エテ居  
ル、此ノ一ツノ系統ヲ其ノ儘認メテ置イテ、  
而シテ尙且ツ米穀會社ニ目論見書ニ記載シ  
テアルヤウナ利益ガ擧ゲ得ラレルノカドウ  
カ、擧ゲ得ラレルト云フ目論見ヲスル以上  
ハ少クトモ米穀會社ノ取扱數量ガ從來ノ取

ト本法實施ノ目的ガ、米ノ偏在是正、圓滑  
ナル配給ト云フコトダケデ配給機構ニ變更  
ヲ來スト云フヤウナコトハシナインダト言  
ハレテモ、ドウモ一般的ニ之ヲ見タ時ニサ  
ウデハナクテ、法ノ表面カラ見レバサウ云  
フ結果ニナルケレドモ、政府ハ本法ノ實施  
ヲスルト同時ニ、他面ニ於テハ何カ其處ニ  
人爲的ニ操作ヲ加ヘテ、米ノ流レ、從來ノ  
米穀業者ノ手ヲ經テ流レテ居ル流レヲ、人  
爲的操作ニ依ツテ米穀市場ノ手ヲ經ル、即  
チ本法ニ依ル取引市場ノ方へ流スノデハナ  
カラウカト云フ疑問ガドウシテモ解消シナ  
イ、之ヲ解消サレレバサウ云フコトガナイ  
ノダ、即チ人爲的操作ヲシナインダ、シナ  
イデモ米穀業者ノ中デ主ナルモノハ此ノ取  
引市場ノ市場員ニナツテ協力シテ來ルノダ  
カラ、自然ニ放任シテ置イテモ、本法ノ會  
社ノ取引市場ヲ經由スル米ノ量ガ殖エテ來  
ルノダ、ソレダカラ目論見通リノ收入ガ舉  
ルモノト豫想サレルノダ、決シテ人爲的操  
作ヲ加ヘ、或ハ本法ニ隠レテ居ル委任命令  
ノ權力ニ依ツテ米ノ集荷ヲ擴大強化シテ、  
取引市場ヘ餘計流レサセヤウト云フヤウナ

自然ニ反シタ行爲ハシナイノダ、斯ウ云フ  
コトニ歸著致シマスルト、私ハ本法實施ニ  
依ツテ本法ノ目論ンデ居ル米穀會社ガ、果  
カドウカ、ドウシテモ認識ガ出來ナイ、出來  
シテ目論見書ノヤウナ收益ヲ舉ゲ得ラレル  
ナカニカラ何等カノ方法ニ依ツテ人爲的操  
ヲスルノデヤナカラウカ、此處ガ本法ニ對  
スル世論ノヤカマシイ所ダト思フノデス、  
本法ハ決シテ一米穀取引市場ノ將ニ死ニ瀕  
シテ居ルヤウナモノヲ救濟センガ爲ニ、此  
ノ非常時局ニ本法ノ實施ヲ期シタイト云フ  
ヤウナ考ヲ持ツ者ハ、ソレハ持ツ者ノ誤リ  
デ、如何ナル政府ガ出ヨウトモ、左様ナ法  
律ヲ持ヘヨウ筈ガナ、確ニ是ハ米ノ偏在  
ヲ是正スルノト、圓滑ナル配給ヲ目論ンデ  
持ヘタモノトハ何人モ左様考ヘマスケレド  
モ、人爲的操ヲ爲サズシテ、自然ニ本法  
ニ依ル取引市場ニ米ガ豫期スルヤウナ流レ  
ヲ流レテ來ルカドウカト云フ點ニ付テ、ド  
ウシテモ疑問ガ解消シマセヌ、ソコデ此ノ  
點ニ對スルハツキリシタ御答辯ヲ得タイノ  
デアリマス

ヒマス上ニ於テ、從來ヨリハ幾多便利ヲ受ケル點ガアリマス、即チ市場員ノ組合等ノ共同ノ力ニ依ツテ、荷受ノ關係其ノ他ニ付カト云フ御話デアリマスガ、自然ニ此ノ市場ヲ使用スルコトガ便利デアルト云フ關係カラ、市場員ニナツタ人方便利ヲ得テ、其ノ市場員ノ取扱ハレル數量ガ多少或ハ大イニ殖エルノデハナカラウカトモ考ヘマス、併シナガラソレ等ノ收入ヲ見積ツテアルコトハ、御手許ニ達シテアル通リニ極メテ少額デアリマス、主タル收入ハ其ノ所有ヲ致シテ居リマス倉庫ノ費用、茲ニ將來若シ臺灣米デモ取扱ヒマスコトニナリマスレバ、其ノ取扱ニ依ル收入、又政府米ノ買換等ノ取扱ヲ致シマス收入、或ハ荷受ヲ致シマス關係上、一時立替金ニ對スル計理ノ取扱手數料、斯ウ云フモノガ重ツテ參ツテ、此ノ會社ノ基本ア收入トナルノデアリマシテ、一石四厘ト云フガ如キ極メテ少イ手數料デ全部ヲ賄ツテ行クコトハ到底出來ナイ關係ニアルノデアリマス、隨ヒマシテ政府米ヲ費用トカ云フモノモ見積ツテアリマスケレ取扱ヒマス費用トカ、臺灣米ヲ取扱ヒマス費用トカ云フモノモ見積ツテアリマスケレ

ドモ、又更ニ將來或ハ朝鮮米ヲモ取扱フヤ  
ウナコトニナラストモ限リマセヌガ、サウ  
云フコトニナリマスレバ、更ニ或ハ利益ガ  
増シテ來ルノデハナカラウカ、サウ云フ場  
合ニ於テハ、利益本位デハ行カナイノデア  
リマスカラ、手數料其ノ他ヲ出來ルダケ輕  
減シテ行ツテ、一般ノ利便ヲ圖リタイ、斯

ナルコトハ議論ノ餘地ハナイ、又議論ガアリ  
ツテモ議論ヲシテ居ル時デハナイノデアリ  
マス、國民全般ガ協力シテ國家ノ大キナ目  
的ノ達成ニ邁進シナケレバナラヌコトハ、  
日本人デアル限り何人モ異論ガアラウ皆ハ  
ナイノデアリマス、デアリマスカラ其ノ意  
味ニ於テ一つハツキリ御答ガ願ヒタイノデ  
アリマス、一つハ政府ハ前回同僚ノ質問ニ

テ本法  
大スル  
斯ウ云  
ス、此  
ナ事實  
本法ニ  
ト思ヒ  
ヒタイ

ニ依ル取引市場ノ取扱米穀ノ數ヲ増  
ヤウナコトヲスルノデハナカラウカ、  
フ大キナ二ツノ疑問ヲ持ツテ居リマ  
ノニ二ツノ疑問ガハツキリ絶對ニ左様  
無シト云フコトニナレバ、少クトモ  
對スル業者ノ一部ノ疑問ガ解消スル  
マスノデ、ハツキリシタ御答辯ガ願

モ、アツチコツチデ相對的ニ致シマスヨリ  
ハ、此處へ來レバ簡単ニ出來ルノデアリマ  
スガ故ニ、私ハ此ノ市場ガ從來ノ市場ニ比  
シテ寂レルト云フガ如キコトハ少シモ考ヘ  
テ居リマセヌ、必ズヤ此ノ市場ハ從來ヨリ  
ヨリ以上便利デアリ、又適正デアルト云フ  
コトヲ認メラレマシテ、結局米穀ノ移動ス  
ル種類ガ此處ニ集マルノデハナカラウカト

○山本委員 大體政府ノ御方針ハ誤解致シ  
マシタガ、實ハ本法ニ對シテ業界其ノ他ニ  
於テ議論ノ種々分レマス點ハ、結局本法ヲ  
通覽致シマシテ、第一ニ私共ガ疑問ニ思フ  
ノハ、今私ガ御質疑申上ゲタヤウナ點ガ結局  
餘リニ委任命令ノ範圍ガ廣大過ギマシテ、如何ナル  
命令ヲ發スルノカ、如何ナル特別命令ガ  
出テ來ルノカ、ドウ云フ制限ヲ加ヘルノカ、チ  
ツトモ本法デハ分ラヌノデアリマス、最近總チノ  
立法技術ガ進歩シタノカ、退歩シタノカ知  
リマセヌガ、兎ニ角委任命令ノ範圍ガ甚シ  
ク擴大化サレテ居ル、本法モ其ノ例ニ違ハ  
ズ委任命令ノ範圍ガ非常ニ廣イ、ソコデ業  
界竝ニ識者間ニ色々ノ議論ガ岐レルノデア  
リマス、ソコデ私ハ紛議ノ分レル主ナル點ニ  
付テ斯ウ云フ虞ガアルノダ、ソレデ本法實  
施ニ付テ不安ガアルノダ、ソレサヘハツキ  
リスレバ戰時體制下ニ於テ總チ統制ガ必要

勸誘スルノダ、サウスレバ有力ナ米穀業者ハ市場員或ハ取引員ニナツテ、サウシテ此ノ取引市場ヲ經タ米穀取扱實數ガ殖エテ來ルノダト云フ、答辯ヲサレテ居リマスガ、米穀業者ガ若シ政府ノ協力勸誘ニ應ゼズシテ、從來ノヤウナ配給系統ニ依ツテ取扱シタ方ガ色々ノ束縛モ受ケズ、制限モ受ケズ、其ノ方ガ自由ダ、斯ウ云フ立場デ協力ヲシナカツタ場合ニハ、本法ノ何處カノ委任命令ノ範圍内デ、何等カ權力ニ依ツテニアシ、制限ナリ壓迫ナリヲ加ヘラレルノデハナカラウカ、是ガ一ツノ心配デアリマス、モウ一ツノ心配ハ、本法ニ依ル取引市場ニ米穀ノ流レガ少クナツテ來タナラバ、本法ノ委任命令ノ範圍内ニ於テ何カ強力ナリ、或ハ命令ニ近イ壓迫ナリヲ生産者ニ加ヘテ、サウシテ集荷率ヲ擧ゲテ、而シ

○ 横内ラヌカラ市場ラウカナイ者ナガラニ於キ面ノ集產者ノ來テ賣中繼或市場ヲ市場ニ又從便利ガ會社デバ、相ニナリ

國務大臣 只今ノ街詰ノ市場員ニナ  
方便利デアルカラ、又自由デアルカ  
員ニナラヌ者ガ出テ來タラドウデア  
、米穀取扱業者ノ中デ市場員ニナラ  
モ相當アルダラウト恩ヒマス、併シ  
毎々御詫申上ゲマス通り、此ノ市場  
マシテハ、從來ノ關係カラ有ユル方  
荷ノ狀態モ分ツテ居リマスシ、又生  
團體モ一々賣リマスヨリハ、此處ヘ  
ツタ方ガ便利デアリマスシ、又從來  
ハ集荷ヲシテ居ツタ米穀業者ア方モ、  
離レテ新ニ賣ルヨリハ、從來ノ通り  
賣ラレタ方ガ便利デアリマスシ、殊  
木ヨリハ手數料モ下ツテ居リ、種々ナ  
アリ、殊ニ政府米トカ臺灣米ガ此ノ  
取扱ハレルト云フコトニナリマスレ  
富ノ數ガ始終此ノ市場ニ集マルコト

タ者ニ對シテ、何等カノ壓力ヲ加ヘルノデ  
ハナイカト云フ御話デアリマスガ、斯様ナ  
コトハ平素ニ於テハ斷然アリマセヌ、唯極  
端ナ場合、即チ國民ノ生活ガ脅威セラレテ、  
國民ノ中ニ偏在ヲシテ米穀ヲ賣ルコトガ出  
來ナイヤウナ人ガ出來ルヤウナ場合ニ於キ  
マシテハ、所謂第四條ノ發動ニ依リマシテ  
特殊ナ命令ヲ致スカモ知レマセヌケレドモ、  
平素ニ於テサウ云フ風ナ命令ヲ出スト云フ  
ガ如キコトハ毫末モ考ヘテ居リマセヌ、隨ヒ  
マシテ市場ニ入ラヌ方ガ利益ダカラト言ツ  
テ市場ニ入ラヌ人モ、或ハ相當アルデアラ  
ウト思ヒマス、併シナガラ實際上入ツタ方  
ガ利益ダト云フコトニナリマスレバ、當然  
アリマスガ故ニ、私ハ相當程度ノ米ガ此ノ  
市場ヲ流レルト考ヘテ居ルノデアリマス

○山本委員 大分ハツキリシタ御答辯ヲ得  
マシタノデ、本法實施後ニ於ケル米穀取扱  
業者モ非常ニ安心セラルコト存ジマス、  
即チ通常ノ場合ニ於テハ決シテ政府ハ人爲  
的操縦ニ依リ米ノ流レニ變革ヲ來サウト云  
フヤウナ行爲ハ斷ジテシナ、イ、唯極端ナル  
場合、即チ米ガ偏在シテ圓滑ナル配給ヲ缺  
クヤウナ場合、例ヘバ國家總動員法ノ發動  
ヲシナケレバナラヌヤウナ狀態ニナツタ場  
合ニハ、本法ノ委任命令ノ範圍内ニ於テ必  
要ナル處置ヲスルニ過ギナイノダ、隨テ米  
穀取扱業者モ產地ノ移出問屋モ市場ニ入ル  
コトニ依ツテ非常ナ利便ヲ得ル、價格其ノ  
他ノ點ニ於テモ非常ナ利便ヲ得ラレルカラ、  
本法ニ依ル取引市場ノ市場員ニナルコトヲ  
欲シコソスレ、之ニ入ラヌ方ガ都合ガ好イ  
ノダト云フヤウナ考ヲ起ス者ハ恐ラクナカ  
ラウト云フコトデアリマシテ、其ノ點ハ私  
モ非常ニサウアツテ欲シイト思フ、サウア  
ルコトニ依ツテ初メテ本法ガ所期スル所ノ  
目的、即チ米ノ偏在是正ト圓滑ナル配給、  
米價ノ公正ナル維持ト云フコトガ出來ルト  
思フノデアリマス、是非政府當局ハサウ云  
フ御方針ノ下ニ本法ヲ實施シテ戴キタイノ  
デ、重ネテ茲ニ希望ヲ申述べテ置キマス、  
ソコデ箇々ノ問題ニ付テ御尋致シマスガ、

第一ニ本法ニ依ツテ生産者ガ米ヲ賣ル場合ニ、地方ノ單位產組ニ委囑スル、此ノ委囑スル方法ハ本法ノ全體ヲ通ジテ見マシテ、大凡ソ無條件委託ダト思フノデスガ、是ハ無條件委託ニナルモノト解シテ宜シイノカ、承リタイ

○周東政府委員 御話ノ通リデゴザイマス

○山本委員 サウスルト一ツ考ヘテ貰ハナケレバナラヌノハ、一體生産者タル農民ハ米ニ限ラズ、自分ノ農產物ヲ愛スルコトハ我子ノ如シ、例ヘバ自分ノ近所ノ繭取引所ニ持ツテ行ケバ運賃モ安イシ、費用モ餘計掛ラナイ、ソレデモ一貫目ニ付テ僅カ三錢カ五錢シカ違ハナイノニ——ソレヲ本當ニ吾々ガ計算的ニ考ヘレバ、遠イ市場ニ持ツテ行ク方ガ損ナノダ、ソレデモ農民ハ近イ市場ニ持ツテ行カナイデ、熊、運賃ヲ掛ケテ遠イ所ノ市場ニ持ツテ行ツテ、而モ自分が附イテ行ツテ多クノ時間ヲ費シテマデモ一貫目ニ付テ五錢ナリ三錢ナリノ高イ値段ニ賣ラウトスル、是ハ計算ダケデハナイノデス、生産者ノ生産物ニ對スル愛著心ガ此處マデ來ナケレバ、政府ガ幾ラ增産計畫ナドヲ立テテモ、本當ニ米ノ增産ハ出來ナイ、生産物ノ增産ハ出來ナイ、ソコニ農民ノ農民魂ト云フモノガアル、サウ云フ氣持デ居ル

農民ニ、產組ノ手ヲ經テ市場ニ出ス米ガ無  
條件委託ト云フコトニナリ、此ノ無條件委  
託ニシテ置イテモ決シテ心配ガナイノダト  
云フコトヲ、ハツキリ理解サセルノハ餘程  
困難ダト私ハ思フ、此ノ點ニ付テハドウ云  
フ風ナ説明ヲシタラ宜イノカ、政府當局ノ  
御説明ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 是ハ從來カラ産業組合ノ  
ヤツテ居ルコトデアリマシテ、唯無條件委  
託デアリマスガ、其ノ代リ大體平均的ニ賣  
ル、例ヘバ月別平均的ニ順次賣ツテ參ル、  
サウシテ大體共同計算的ニ此ノ賣買ヲ實行  
セシメテ行クト云フ風ニ、販賣方面ニ付テ  
指導ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フコトニ致  
シマスレバ、農民ハ損失ヲ受ケナイハサウ  
シテ大體普遍的ニ賣ラレテ行クノデアリマ  
ス、平均的ニ且ツ共同計算的ニ行ク、斯ウ  
云フ風ナヤリ方ヲ實行スルコトニ依リマシ  
テ百姓ニ損害ヲ掛ケナイデ適當ナ價格デ賣  
ラセテ行クト云フコトニ指導シテ居ル譯デ  
アリマス

○山本委員 本法實施ニ依ツテ政府ノ所期  
スルヤウナ米ガ市場ニ流レテ、適正ナ米價  
ヲ維持シヨウト云フ此ノ大キナ目的ニ合致  
スルカドウカ御尋スルノデスガ、從來產組

ニ依ル米ノ取扱ハ實際二十數「パーセント」ニ過ギナイ、ソレハ今私ノ申上ゲタ無條件委託モ一つノ原因デハナイカト思フ、私ハ元百姓ナノデスガ、私ノ方ノ米產地ノ百姓ハドウシテモ之ヲ好マナイ、ドウスルカト云ブト、毎日々々農業倉庫カラ來ル其ノ日其ノソレヲ其ノ土地ノ米穀取扱業者ナリ何ナリソレノ相場ニ基イテ、適當ナリト思料シタ値段ノ時ニ、農業倉庫ニ賣ル、農業倉庫ハソレノ其ノ土地ノ米穀取扱業者ナリ何ナリニ販賣シタリ、色々ノ販賣方法ガアリマスガ、サウ云フヤウナ情勢カラ見マシテモ、大體生産物ガ幾ラデ賣レルノカ分ラヌ、成程適正ナル相場ガ取引所ニ於テ立チマスカラ今日ハ相場ガ幾ラ、一週間後ニハドウナル、十日後ニハドウナルト云フ大體ノ見當ハ農民ニ付クデアリマセウガ、ドウモ此ノ無條件委託ト云フノデハ、生産者ノ氣持ニピツタリ合ハナイ、サウスルト、本法ニ依ル取引所ニ流レテ來ル米ノ數ガ少クナル、餘リ少クナルト勢ヒ人爲的操業デモスルノデハナイカト云フ疑惑モ起ツテ來ル、デアルカラ無條件委託ニ付テハ今ノ御説明ダケデハドウシテモ生産者ニ説明出來ナイカラ、モウ少シ具體的ニ御説明願ヒタイト思ヒマス

云フコトハ、御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、唯今御話ハ、産業組合ノ組員タル者ノ米穀ノ販賣方法ト云フコトニ付テノ御質疑デアルト思ツテ、ソレニ限局シテ御話申上ゲマス、組合員ノ生産シタ米ハ大體ニ於テ組合等ノ經營スル農業倉庫ニ入ツテ居リマス、此ノ農業倉庫ノ經營者等ガ、今度ノ制度ガ布カレマスレバ、市場ニ於テ公示サレル價格ニ依ツテ其ノ聯合會ヲ通シテ市場ニ出ス、斯ウ云フコトニナツテ參ラウカト思ヒマス、其ノ際ニ寄託ノ前後ハアリマシテモ、組合員ノ米ハ大體月別平均的ニ賣ラレテ行ク、ソレヲ共同計算ニ依ツテ組合員ノ總テニ損失ノ起ラヌヤウニ賣買代金ノ交付ヲヤツテ行クト云フコトニナツテ參ル、斯様ニ思フノデアリマシテ、産業組合ニ於テサウ云フ風ナコトヲ致シテ居ル譯ニアリマス、但シ是ハ原則的ナ場合デアリマシテ、特ニ組合員ガ必要ト致シマス場合ニ於キマシテハ、場合モアルノデアリマス、ソレハ禁止シテニ言ヘバ、時期ヲ指定シテ販賣ヲ委託スル居ルノデハゴザイマセヌ、併シ組合ノ經營ト致シマシテハ或ル個人ガ倉庫ニ寄託シテ

居ル米ヲ自分ダケ或ル時期ヲ指定シ、或ル  
値ヲ指定シテ販賣ヲ委託スルト云フコトハ  
經營上非常ナ不便ガゴザイマス、大體ノ理  
想ト致シマシテハ總テ理事者ヲ信賴致シマ  
シテ、寄託サレテ居ル米ヲ順次平均的ニ、  
サウシテ市場ニ公定サレタ價格デ賣ツテ行  
キ、其ノ代リ組合員ノ寄託シタモノニ付テ  
大體期日ヲ決メマシテ共同計算的ニドレニ  
モ、ドノ組合ニモ損失ノ行カナイヤウニ販  
賣ヲセシメテ行ク、斯ウ云フコトガ理想デ  
アリマシテ、大體ノ原則トシテ左様ナ指導  
ヲシテ居ルノデアリマス

○山本委員 大體其ノ點ハ諒承致シマシタ、  
農業倉庫ノ問題ガ出マシタカラ序ニ伺ツテ  
見マスガ、現在ノ農業倉庫デハ其ノ日／＼  
ノ相場デ農民ガ米ヲ持ツテ行ク、ソレヲ農  
業倉庫ガ其ノ値段デ預ツテ置イテ、適當ノ  
時期ニ其ノ生産地ノ米穀移出問屋ニ賣捌イ  
テ行ク、其ノ賣捌イテ行ク時ニ五人ナリ三  
人ノ米穀業者ガ農業倉庫ニ居ルノデアリマ  
スガ、是ハ本法ノ取引市場ノ取引類似ノ行  
爲ニナリマスカナリマセヌカ、序ニ伺ツテ  
置キマス

○周東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ先  
程御答辯ヲ致シマシタヤウニ、第五條ノ三  
項ニ言フ類以ノ施設ニハナラナイ、左様ニ

考ヘテ居リマス、是ハ本法ニ依リマス市場ニ於キマシテハ、元來大體所屬特定多數ノ賣手、所屬特定多數ノ買手ガ集合致シマシテ、其處ニ賣買取引ヲ致シマス場合ヲ指シテ居リマスノデ、農業倉庫ノ如キモノノ販賣ニ付キマシテハ、之ニ入ラナイト云フコトニ致シテ居リマス

○山本委員 次ニ本法デハ原則トシテ差金決済ヲ禁止シテ居リマシテ、命令ニ依ル場合ニハ差金取引ヲ認メテ居ル、其ノ命令ニ依ル差金取引ト云フノハ勅令事項ニ御示シノヤウナ場合ニ限ラレテ居ル、即チ未著取引、延取引ノ場合ニ限ラレテ居ル、此ノ二ツノ場合ニ差金決済ヲ認メテ居リマスガ、先程モ此ノ點ニ付テ色々御質疑ガアツタヤウデアリマスケレドモ、成程政府委員ノ説明ニ依リマスト、此ノ差金決済ト云フコトノ必要性ノアルコトハ認メマスケレドモ、其ノ必要性ヨリモ之ヲ認ムルコトノ弊害ノ方ガ、ヨリ多クハナイカ、ソレハ御説明ニ依リマスト、確ニ差支ナイト承リマシタカラ、重ネテ御説明ハ要リマセヌガ、先程ノ政府委員ノ御説明ノヤウナコトデアリマスト、サウ云フ場合ノ差金決済モ必要ニ思ヘマスケレドモ、其ノ御説明ノヤウナコトニ必要ナリトスルヨリモ、絶対ニ之ヲ認メヌ、取引市場ハ現

物取引ニ限ルノダト云フコトニシタ方ガ、所謂  
闇取引ノ防止ニモナリ、延イテハ清算取引  
ヤ定期取引ノ類以ノ行爲ヲ無クシテ、本當  
ノ適正妥當ナル米價ノ維持ガ出來ルノデハ  
ナカラウト考ヘルノデスガ、本法ノ此ノ差  
金取引ヲ是認スル爲ニ、特ニ闇取引ガ増大  
スルトハ私ハ考ヘマセヌケレドモ、元來物  
價統制ガ急激ニヤツテ來タ爲ニ闇取引ガ行  
ハレルノハ、是ハ或ル程度マデ是認シナケ  
レバナリマセヌ、之ヲ絶對ニ防止スルト云  
フコトハ中々困難ナコトデアリマスノデ、  
國民ノ協力ニ俟タナケレバナラヌ、又緊張  
ニモ俟タナケレバナラヌ、事變ニ對スル認  
識モ増サナケレバナラスト云フ重大問題ニ  
ナツテ來マスケレドモ、併シ此ノ差金決済  
ヲ是認スルコトニ依ツテ投機心ヲ煽リ、延  
イテ以テ市場外ニ於テノ闇取引ノ差金決済  
ガ行ハレルコトニナリハセヌカト云フコト  
ガ心配デアリマス、サウスルト折角本法ノ  
制定目的ハ公正妥當ナリハセヌカト云フ  
ダ、而シテ配給ノ圓滑ヲ期スルノダト云フ  
コトニ矛盾ヲ來シハシナイカ、斯ウ考ヘマ  
スノデ、サウ云フ場合ニ於ケル闇取引ノ防  
止ニ付キ、取締ニ付キ、政府ニ於テハドウ  
云フ対策ガアルノカ、承ツテ置キタイ

云フコトハ、御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、唯今御話ハ、産業組合ノ組員タル者ノ米穀ノ販賣方法ト云フコトニ付テノ御質疑デアルト思ツテ、ソレニ限局シテ御話申上ゲマス、組合員ノ生産シタ米ハ大體ニ於テ組合等ノ經營スル農業倉庫ニ入ツテ居リマス、此ノ農業倉庫ノ經營者等ガ、今度ノ制度ガ布カレマスレバ、市場ニ於テ公示サレル價格ニ依ツテ其ノ聯合會ヲ通シテ市場ニ出ス、斯ウ云フコトニナツテ參ラウカト思ヒマス、其ノ際ニ寄託ノ前後ハアリマシテモ、組合員ノ米ハ大體月別平均的ニ賣ラレテ行ク、ソレヲ共同計算ニ依ツテ組合員ノ總テニ損失ノ起ラヌヤウニ賣買代金ノ交付ヲヤツテ行クト云フコトニナツテ參ル、斯様ニ思フノデアリマシテ、産業組合ニ於テサウ云フ風ナコトヲ致シテ居ル譯ニアリマス、但シ是ハ原則的ナ場合デアリマシテ、特ニ組合員ガ必要ト致シマス場合ニ於キマシテハ、場合モアルノデアリマス、ソレハ禁止シテニ言ヘバ、時期ヲ指定シテ販賣ヲ委託スル居ルノデハゴザイマセヌ、併シ組合ノ經營ト致シマシテハ或ル個人ガ倉庫ニ寄託シテ

居ル米ヲ自分ダケ或ル時期ヲ指定シ、或ル  
値ヲ指定シテ販賣ヲ委託スルト云フコトハ  
經營上非常ナ不便ガゴザイマス、大體ノ理  
想ト致シマシテハ總テ理事者ヲ信賴致シマ  
シテ、寄託サレテ居ル米ヲ順次平均的ニ、  
サウシテ市場ニ公定サレタ價格デ賣ツテ行  
キ、其ノ代リ組合員ノ寄託シタモノニ付テ  
大體期日ヲ決メマシテ共同計算的ニドレニ  
モ、ドノ組合ニモ損失ノ行カナイヤウニ販  
賣ヲセシメテ行ク、斯ウ云フコトガ理想デ  
アリマシテ、大體ノ原則トシテ左様ナ指導  
ヲシテ居ルノデアリマス

考ヘテ居リマス、是ハ本法ニ依リマス市場ニ於キマシテハ、元來大體所屬特定多數ノ賣手、所屬特定多數ノ買手ガ集合致シマシテ、其處ニ賣買取引ヲ致シマス場合ヲ指シテ居リマスノデ、農業倉庫ノ如キモノノ販賣ニ付キマシテハ、之ニ入ラナイト云フコトニ致シテ居リマス

○山本委員 次ニ本法デハ原則トシテ差金決済ヲ禁止シテ居リマシテ、命令ニ依ル場合ニハ差金取引ヲ認メテ居ル、其ノ命令ニ依ル差金取引ト云フノハ勅令事項ニ御示シノヤウナ場合ニ限ラレテ居ル、即チ未著取引、延取引ノ場合ニ限ラレテ居ル、此ノ二ツノ場合ニ差金決済ヲ認メテ居リマスガ、先程モ此ノ點ニ付テ色々御質疑ガアツタヤウデアリマスケレドモ、成程政府委員ノ説明ニ依リマスト、此ノ差金決済ト云フコトノ必要性ノアルコトハ認ムルコトノ弊害ノ方ガ、ヨリ多クハナイカ、ソレハ御説明ニ依リマスト、確ニ差支ナイト承リマシタカラ、重ネテ御説明ハ要リマセヌガ、先程ノ政府委員ノ御説明ノヤウナコトデアリマスト、サウ云フ場合ノ差金決済モ必要ニ思ヘマスケレドモ、其ノ御説明ノヤウナ爲ニ必要ナリトスルヨリモ、絶對ニ之ヲ認メヌ、取引市場ハ現

物取引ニ限ルノダト云フコトニシタ方ガ、所謂闇取引ノ防止ニモナリ、延イテハ清算取引ヤ定期取引ノ類以ノ行爲ヲ無クシテ、本當ノ適正妥當ナル米價ノ維持ガ出來ルノデハナカラウト考ヘルノデスガ、本法ノ此ノ差金取引ヲ是認スル爲ニ、特ニ闇取引ガ出来ルトハ私ハ考ヘマセヌケレドモ、元來物價統制ガ急激ニヤツテ來タ爲ニ闇取引ガ行ハレルノハ、是ハ或ル程度マデ是認シナケレバナリマセヌ、之ヲ絶對ニ防止スルト云フコトハ中々困難ナコトデアリマスノデ、國民ノ協力ニ俟タナケレバナラヌ、又緊張ニモ俟タナケレバナラヌ、事變ニ對スル認識モ増サナケレバナラヌト云フ重大問題ニナツテ來マスケレドモ、併シ此ノ差金決済ヲ是認スルコトニ依ツテ投機心ヲ煽リ、延イテ以テ市場外ニ於テノ闇取引ノ差金決済ガ行ハレルコトニナリハセヌカト云フコトガ心配デアリマス、サウスルト折角本法ノ制定目的ハ公正妥當ナ米價ノ維持ニアルノダ、而シテ配給ノ圓滑ヲ期スルノダト云フコトニ矛盾ヲ來シハシナイカ、斯ウ考ヘマスノデ、サウ云フ場合ニ於ケル闇取引ノ防止ニ付キ、取締ニ付キ、政府ニ於テハドウ云フ対策ガアルノカ、承ツテ置キタイ

程申上デマシタヤウニ、米穀ヲ市場ニ集中セシメマス爲メ、配給ノ圓滑ヲ圖リマス上ニ於テ已ムヲ得ザル限度ニ於テ、先程申シマシタヤウニ差金ノ決済ヲ認メテ居ルノデアリマス、是ハ現在ノ所已ムヲ得ナイカト思ヒマス、唯今ノ第二點ノ御質問デアリマスガ、大體私共ノ方デハ今マデ申述べタヤウナ方法ニ依ツテ市場ヘ米ノ主ナ流レヲ集メマス、サウシテ米ノ取引ヲ致シマスル市場員ニ付キマシテハ、本法ニ定メル方法ニ依リマシテ市場ニ於テ公定價格ヲ取引ヲサセヨウト云フ積リデアリマスノデ、若シモ色々ナ事情カラ致シマシテ市場外ニ於ケル闇取引ノ方法ガ眼ニ餘ルヤウナ狀態ニナリマシテ、其ノ結果本法ノ目的ト致シテ居リマスヤウナ配給ノ圓滑ヲ期シ難ク、又米價ノ適正モ期シ難イト云フヤウナ事態ガ極端ナ場合ニ生ジテ參リマスレバ、先程大臣カラモ御話ガアリマシタヤウニ、其ノ時ハ已ムナク第四條ノ規定ニ依リマシテ市場外ニ於ケル取引ニ付テノ操作モ致サナケレバナラスカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山本委員 十一條ノ規定中ニ資格ヲ決メル規定ガアリマスガ、此ノ十一條ノ勅令規定ノ中ニ米穀取引業者ト云フモノガアツテ、此ノ點ハ何遍モ質疑應答ガアツタヤウデスケレドモ、ドウモハツキリ諒承出來マセヌノデ、重ネテ御伺シテ相濟ミマセヌガ、モウ一應ハツキリシテ戴キタイ、即チ米穀取扱業者中ニハ單純ナル仲介業者ハ含マヌト云フコトハ、今マデノ御答辯デ分ツテ居リマスガ、ソコデ米穀問屋ガ此ノ中ニ入ルノダト云フヤウニ承ツテ居ルノデスガ、此ノ點何人ニモ分ルヤウニハツキリト御答辯願ヒタイ

○周東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ先程モ申上ゲマシタガ、第十一條ノ勅令ニ依法リマシテ斯ウ云フコトヲ書カウト思ツテ居ルノデアリマス、本法ノ規定ニ依リマシテ市場員トナリ得ル者ハ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ業トスル者、ソレカラ米穀ヲ取扱フ産業組合聯合會、ソレカラ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ業トスル者ノ組織スル商業組合、主務大臣ノ指定スル者ト云フヤウナ事柄ヲ書ク積入リマスノデ、其ノ中ノ第一ノ點ニ付テ御尋ト思ヒマスガ、御話ノヤウニ卸賣或ノ增減ヲ見ルコトガアルカト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ只今ノ御質問ノ第二點、即チ許可ノ場合ニ於テハドウ云フ標準デアル

○山本委員 フト考ヘテ居リマス

○山本委員 能ク諒承シマシタ、次ニ本法ニ依ル取引市場ハ約三十箇所程開設スル豫定ダト云フ政府委員カラノ御説明ガアリマスカ、三十箇所設置スルト致シマシテ、其ノ設置スル場所ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ、若シ前ニ質問ガアツテ御答ガ既ニアリマシタ、速記録ヲ拜見致シマスカトハ、今マデノ御答辯デ分ツテ居リマスガ、ソコデ米穀問屋ガ此ノ中ニ入ルノダト云フヤウニ承ツテ居ルノデスガ、此ノ點何人ニモ分ルヤウニハツキリト御答辯願ヒタイ

○周東政府委員 市場ノ設置箇所ニ付キマシテハ、只今ノ所現在ノ市場ノ在リマスル箇所ニハ大體設置スル積リデゴザイマス、

シタガ、三十箇所設置スルト致シマシテ、ウニ需要ニ應ジテ増産セラレルモノデナイ、隨テ如何ナル事態ニナツテ來テモ國民ノ主要食物ノ安固ヲ期シタイ、ソレガ爲ニモ本法實施ノ必要ガアルノダト云フ御答辯ガアリマシタ、昭和十四年度ニ於テハ約四百万石ノ米穀ノ増産計畫ニナツテ居ルサウデアリマスガ、其ノ四百万石ヲ増産スル御計畫ニ付テ、ドウ云フ具體的ノ對策ガアリマスカ、ソレニ關聯シテ一二三御尋シタイ點ガアリマス、四百万石ト云フト、四百万石ヤ五百万石ノ米ハ天候次第ニ依ツテハ容易ニ増産が出來マス、又天候次第ニ依ツテハ其ノ位ノモノハ容易ニ減收ニナツテシマウ、ソコデ大體今日マデノ日本ノ米ノ生産高カラ平均ヲ取ツテ見ルト、其ノ平均數量ヨリ大體四百万石ノ増産計畫ヲ立テタモノナリノ增産計畫ニ付テハ、此ノ人的資源ノ不足シ、肥料ノ配給ノ旨ク行カナイ今日ノヤウナ場合デモ、斯ウ云フ方策デ斯ウ云フ建前ノ下ニ四百万石ノ増産計畫ヲ立テタノデアルカラ、必ズ此ノ計畫ハ實施セラレ、其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルノダト云フ御計畫ヲ承レバ仕合セダト存ジマス

畫致シテ居リマス、事柄ヲ簡単ニ申上ゲマス、  
増産施設ト致シマシテハ、先づ第一ニ地域  
別耕種ノ改善基準ノ設定ヲ致シマス、之ニ  
付キマシテハ、其ノ改善基準ノ設定ヲ實施  
促進致シマス爲ニ、道府縣ニ指導普及ノ施  
設ヲ致シ、之ニ對シテ相當ノ金額ノ助成ヲ  
致スコトニナツテ居リマス、ソレカラ第二  
ニハ水稻ノ育成施設ノ獎勵デゴザイマス、  
殊ニ是ハ寒冷地帶、東北地方、北海道ニ關  
スル問題デゴザイマス、是ハ豫メ早ク溫床  
苗代ヲ設置致シマシテ、其處デ普通ノ苗代  
ヨリ早く育成ヲ致シマシテ、之ヲ本田ニ移  
ス、斯ウ云フヤウナ方法ニ依リマシテ  
増產ノ計畫ヲ立テル、是ハ既ニ十三曆年、  
昨年實施ヲ致シマシテ、相當效果ヲ擧ゲテ  
居ルモノニアリマス、第三ハ病蟲害ノ防除  
獎勵施設デゴザイマス、是ハ稻熱病、螟  
蟲、泥負蟲ト云フヤウナモノニ因ル被害ガ  
從來相當ノ石數ニナツテ居リマス、是等ノ  
當然得ラルベクシテ失ハレテ居リマル米  
穀ノ數量ヲ確保致シマスル爲ニ、地方別ニ  
セマス爲ニ、相當ナル噴霧器ヲ購入配付致サ  
ルノデアリマス、ソレカラ第四ハ是等ノ指

導普及施設ノ助成ヲ致シマス爲ニ、增産ニ  
關スル一齊運動、實地指導、或ハ是等ニ關  
シマシテ講習、講話ヲ行フト云フヤウナ方  
法ヲ講ジマシテ、計畫ノ實效ヲ擧ゲサセル  
ヤウニ努メテ行クノデアリマス、是等ニ對  
シマシテ相當ノ助成ヲ致スコトニナツテ居  
リマス、大體主ナル點ハ以上ノヤウナ方法  
ニ依ツテ增產計畫ヲ進メテ參ル譯デアリマ  
ス

○山本委員 ハツキリ諒承致シマシタ、溫  
床育成ノ方法ヲ採ツテ、即チ陸苗代ヲ捨ヘ  
テ之ヲ冷害地ニ實施シタ結果ノ好成績デア  
ツタコトハ、私共モ能ク諒承致シマスガ、  
溫床育成ニ依ル苗ハ多ク病蟲害ニ罹リ易  
イ、殊ニ螟蟲ノ害ヲ非常ニ受ケ易イ、是ハ  
實際ガサウナノデアリマス、此ノ點ハ政  
府當局ニ於テ螟蟲被害ノ豫防ニ付テ特ニ  
農民ニハツキリト認識ヲサセテ、折角出  
來テ居ルモノガ害蟲ノ爲ニ被害ヲ蒙ムル  
コトノナキヤウ一段ト御努力ガ願ヒタイ  
ト云フ希望ヲ申述ベテ置キマス、ソレカラ  
實地ノ指導デアリマスガ、大體今日マデノ  
ラン」デ、洋服技術屋ノ指導デ、實際ハ旨  
ク行ツテ居リマセヌ、洋服ヲ著テ靴ヲ履イ  
テ農村ニヤツテ來テ、忙シイ農民ヲ學校ニ

集メテ、病蟲害ノ驅除ハ斯ウダ、アアダ、  
有機肥料ノ製造、自給肥料ノ製造ハ斯ウダ  
シマシテ講習、講話ヲ行フト云フヤウナ方  
法ヲ講ジマシテ、計畫ノ實效ヲ擧ゲサセル  
中ハツキリト呑込メナイ、ソレガ爲ニ澤山  
ノ金ヲ掛ケテ指導サレテ居ツテモ、其ノ目  
的ヲ達シテ居ラナイ、是ハ小サナ問題ノヤ  
ウデアリマスガ、國家全體ノ立場カラ考ヘ  
重大ナモノデアル、ソコデ政府當局ニ望ン  
ル、即チ各町村ニ於ケル模範的農民ヲ指導  
員ニ囑託シテ、之ニ實質的ナ實地指導ヲ本  
デ已マナニノハ、實際ノ指導者ノ養成デア  
ル、即チ各町村ニ於ケル模範的農民ヲ指導  
員ニ囑託シテ、之ニ實質的ナ實地指導ヲ本  
シマシタ地域別耕地改善基準ノ設定等ニ關  
シマシテモ、常ニ各地方別ニ其ノ地方ノ氣  
候ナリ土質ナリ地性ナリ、稻作慣行ト云フ  
モノ等ヲ能ク調査シテ、ソレニ順應致シマ  
シテ各地區ヲ定メ、各地區毎ニ其ノ基準ヲ  
設定シテ、指導シテ行ク積リデアリマス、  
而シテ其ノ指導致シマス場合ニハ、御話ノ  
ヤウニ各地方ニ於ケル篤農家トカ、或ハ農  
會ノ技術員等ニシテ實際ノ經驗アル者等、  
サウ云フ者ハ、常ニソレ等ノ基準ノ設定ヲ  
致シマス場合ノ委員會等ニ加入ヲ求メマシ  
テ、之ニ農林省等ニ於キマシテモ、本省ハ  
勿論農事試驗場ニ於ケル各種ノ技術員、ソ  
レカラ地方ニ於ケル同様ナ關係者ト云フヤ  
ウナ有ユル人ガ、官民一致シテ最モ適正ナ  
方法ニ從ツテ其ノ地方ノ適シタ改善基準ヲ  
立テ、是ノ指導ニ依ツテ增產ヲ圖リタイト、

年繼續シテ居リマスガ、其ノ結果ニ依ルト  
單純ナ增產計畫デハイケナイ、實際ノ指導  
員、即チ其ノ土地ニ於ケル農民ノ實際ノ指  
導者ガ當ル、其ノ指導ヲ受ケルノガ一番效  
果的デアルカラサウ云フヤウナ指導方法ニ  
付テノ、何カ政府ニ御考ガアリマスルカ、  
ドウカラ承ツテ置キタイ

○周東政府委員 御話ノ點ハ御尤デゴザイ  
マスノデ、此ノ度ノ施設ニ於テモ、先程申  
シマシタ地域別耕地改善基準ノ設定等ニ關  
シマシテモ、常ニ各地方別ニ其ノ地方ノ氣  
候ナリ土質ナリ地性ナリ、稻作慣行ト云フ  
モノ等ヲ能ク調査シテ、ソレニ順應致シマ  
シテ各地區ヲ定メ、各地區毎ニ其ノ基準ヲ  
設定シテ、指導シテ行ク積リデアリマス、  
而シテ其ノ指導致シマス場合ニハ、御話ノ  
ヤウニ各地方ニ於ケル篤農家トカ、或ハ農  
會ノ技術員等ニシテ實際ノ經驗アル者等、  
サウ云フ者ハ、常ニソレ等ノ基準ノ設定ヲ  
致シマス場合ノ委員會等ニ加入ヲ求メマシ  
テ、之ニ農林省等ニ於キマシテモ、本省ハ  
勿論農事試驗場ニ於ケル各種ノ技術員、ソ  
レカラ地方ニ於ケル同様ナ關係者ト云フヤ  
ウナ有ユル人ガ、官民一致シテ最モ適正ナ  
方法ニ從ツテ其ノ地方ノ適シタ改善基準ヲ  
立テ、是ノ指導ニ依ツテ增產ヲ圖リタイト、

斯様ニ考ヘテ居ル次第ゴザイマシテ、御話ノヤウナ趣旨ニ則ツテ之ヲ實行シテ行クヤウナ計畫ニナツナ居リマス、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○古田委員 之ニ關聯シテ一寸

○添田委員長 古田君

○古田委員 只今ノ増產計畫ニ付キマシテハ、殆ド技術的方面ニ重キヲ置カレルヤウデアリマスガ、開田事業等ニ付テハ如何ナル御考ヲ持ツテオイデニナリマスカ、茲ニ統計ノ示ス所ニ依リマスト、耕地擴張ガ過去五箇年間ニ於テ、昭和八年カラ十二年ノ間ニ七万二千九百三十四町歩擴張致シテ居リマス、所ガ潰地ガ七万五千百二十六町歩、即チ一千九百九十二町歩程減段致シテ居リマス、過去五箇年ニ於ケル開田事業費ハ四千三百三十三万圓、又土地改良事業費、是ハ主ニ用排水幹線改良事業費デアリマスガ、此ノ方ニ於テモ四千九百十四万三千百四十六圓、暗渠排水事業費、是ニハ救匡事業費モ籠ツテ居リマスルガ、是亦千二十三万二千六百四十三圓、此ノ三ツヲ合セマスルト一億七十万圓五箇年間ニ水田ノ方ニ向ツテ金ガ行ツテ居リマスガ、其ノ結果一ツモ殖エズニ一千何百町歩モ減ルト云フガ如キコトデアリマス、是ハ昭和十二年ニ

於テデアリマスガ、殊ニ昭和十二年ノ事變勃發以來、殊ニ都會ノ附近ノ田畠ノ潰地ト云フモノハ實ニ夥シイモノガアルト思ヒマスルガ、此ノ反別ガ御分リニナツテ居ルカドウカ、殊ニ廣島附近デハ何十町歩ノ水田ガ殆ド地上ガラシテアリ、之ガ軍需工場ガ建ツヤウナ狀況デアリマス、技術ノ方面ノハ、殆ド技術的方面ニ重キヲ置カレルヤウデアリマスガ、開田事業等ニ付テハ如何ナル御考ヲ持ツテオイデニナリマスカドウカ、私思ミニ重キヲ置カレ、潰地ニ付テハ何カ御對策ヲシテオイデニナリマスカドウカ、私思ヒマスルノニ昨年頃カラ農林省ノ御研究ノ結果、田ノ畦ヲ「コンクリート」デスルコトヲ試驗的ニオヤリニナツテ居ルヤウデアリマス、私等ノ知ツタ村デモ、試驗的ニ水利組合ガ國費及び縣費ヲ貰ツテ、ソレモ「ゼメント」代ダケデス、砂ヤ「バラス」ト云フモノハ農村ノ青年ガ之ヲ出シテ自發的、試驗的ニヤツタ所ガ、非常ニ澤山ノ土地ガ出て來ルヤウデアリマスガ、全國的ニ此ノ國產品ノ「ゼメント」ダケデ以テ畦ヲ改良スルナラバ、スルヨリモ、反當リノ收量ヲ増加スルト云何十町歩、或ハ何百町歩殖エルコトハ明カト思ヒマスルガ、此ノ點ニ付テ、農村ノ救濟ニモナリマスシ、全國的ニ此ノ方面ニ御指導ヲ積極的ニオヤリニナル御考ハアリマセスカ、ドウカ、之ヲ伺ソテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ潰地ノ問題デアリ

云フノモハ實ニ夥シイモノガアルト思ヒマスガ、之ニ對シマシテ約五千町歩デアソタト思ヒマスガ、潰地ニ付キマシテ開墾ヲスルト云フ經費ガ盛ラレテ居リマス、是ハ昨年ノ地ニ對スル對策ト致シマシテハ略、同様ナシテ思フノノ豫算ニ於キマシテモ、ヤハリ潰去五箇年間ニ於キマシテモ、其ノ國營ノ開拓費ト云フモノガ相當ノ數字ヲ認メラシテ別途年度ニ於キマシテモ、今度ノ十四年度ノ豫算ニ於キマシテモ、此ノ土地ノ開墾ニ付キマシテ思フノノ豫算ニ於キマシテモ、更ニ是等ト離レマシルコトガ大體必要條件デアル、純綿デナケレバナラスト云フ譯デヤアリマセヌケレドモ、大體サウデナイト保チガ惡イ、所謂此ノ盲縞ガ農民ニハ必要缺クベカラザル著物デアリマス、一種ノ農具デス、是ガ來年度、昭和十四年度ノ分トシテ配給サレタノヲ見マスルト、僅ニ一箇町村ニ十數反乃至二十數反シカ配給ニナツテ居リマセヌ、ソコデ各町村デ農民ヲ集メテ抽籤ヲシテ其ノ反物ヲ分ケテ居ル、サウシテ籤ニ當ラナカツタ農民ハ一體ドウスルノダ、吾々ノ一番手近ナ必要品デアル盲縞サヘ圓滑ニ配給シテ貴ヘヌヤウデハ、一體此ノ時局ハドウナルダラウト云フノデ、延イテ以テ時局ニ對スル不安ノ增大ヲ來ス大キナ原因トナル、ソコデ政府ハ此ノ農民ノ不安ヲ除去スル爲ニ、ドウ云フ對策ヲ持ツテ居ルノカ、ドウ云フ

○山本委員 増產計畫ニ付テノ關聯シタ點デアリマスガ、是ハ小サナ問題ノヤウデ非常ニ大キナ影響ノアル問題デアリマスカラ、農林當局ハ一ツ親切ニ御答辯ガ願ヒタイノ是ハ毎日田圃ニ入ルノデスカラ「ステープル・ファイバー」デハ十分デナイ、純綿デアルコトガ大體必要條件デアル、純綿デナケレバナラスト云フ譯デヤアリマセヌケレドモ、大體サウデナイト保チガ惡イ、所謂此ノ盲縞ガ農民ニハ必要缺クベカラザル著物デアリマス、一種ノ農具デス、是ガ來年度、昭和十四年度ノ分トシテ配給サレタノヲ見マスルト、僅ニ一箇町村ニ十數反乃至二十數反シカ配給ニナツテ居リマセヌ、ソコデ各町村デ農民ヲ集メテ抽籤ヲシテ其ノ反物ヲ分ケテ居ル、サウシテ籤ニ當ラナカツタ農民ハ一體ドウスルノダ、吾々ノ一番手近ナ必要品デアル盲縞サヘ圓滑ニ配給シテ貴ヘヌヤウデハ、一體此ノ時局ハドウナルダラウト云フノデ、延イテ以テ時局ニ對スル一面ニヤツテ居ル譯デゴザイマス、御諒承ヲ願ヒマス

○山本委員 増產計畫ニ付テノ關聯シタ點デアリマスガ、是ハ小サナ問題ノヤウデ非常ニ大キナ影響ノアル問題デアリマスカラ、農林當局ハ一ツ親切ニ御答辯ガ願ヒタイノ是ハ毎日田圃ニ入ルノデスカラ「ステープル・ファイバー」デハ十分デナイ、純綿デアルコトガ大體必要條件デアル、純綿デナケレバナラスト云フ譯デヤアリマセヌケレドモ、大體サウデナイト保チガ惡イ、所謂此ノ盲縞ガ農民ニハ必要缺クベカラザル著物デアリマス、一種ノ農具デス、是ガ來年度、昭和十四年度ノ分トシテ配給サレタノヲ見マスルト、僅ニ一箇町村ニ十數反乃至二十數反シカ配給ニナツテ居リマセヌ、ソコデ各町村デ農民ヲ集メテ抽籤ヲシテ其ノ反物ヲ分ケテ居ル、サウシテ籤ニ當ラナカツタ農民ハ一體ドウスルノダ、吾々ノ一番手近ナ必要品デアル盲縞サヘ圓滑ニ配給シテ貴ヘヌヤウデハ、一體此ノ時局ハドウナルダラウト云フノデ、延イテ以テ時局ニ對スル不安ノ增大ヲ來ス大キナ原因トナル、ソコデ政府ハ此ノ農民ノ不安ヲ除去スル爲ニ、ドウ云フ對策ヲ持ツテ居ルノカ、ドウ云フ

配給ノ方法ヲスルノカ、之ニ對スルハツキ

リシタ農民ノ安心ノ行クヤウナ御答辯ガ願

ヒタイ

○周東政府委員 御話ノ綿織物ノ配給ノ問題デアリマスガ、盲縞ト仰シヤイマシタガ、其ノ織物ノ配給ニ付キマシテハ、能ク商工省ト連絡ヲ執リマシテ、農村ニ對シマシテ必要ナ綿布類ノ配給ニ對シマシテ、遺憾ノナイヤウニ努力致ス積リデアリマス

○山本委員 農林當局デハソレ以上御答が出來ナイデセウケレドモ、ドウモソレダケデハ不十分デスカラ、安心方行カナノデス、米穀局長ハ其ノ點ハ抽象的ニ遺憾ナキヲ期シマスト云フコトデハ……

○添田委員長 山本君此ノ問題ハ重要ナ問題デゴザイマスケレドモ、直接此ノ法案ニハ關係ガアリマセヌカラ、後ニ御廻シヲ願期シマスト云フコトデハ……

○山本委員 私ハ是ガ必要缺クベカラザル

モノト思料スルノデ御伺ヲシテ居ルフデスガ、ソレ以上答辯が出來ナケレバソレデ宜シウゴザイマス

○新倉政府委員 農山漁村方面ニ必要ナ綿織物ノ配給ノ點ニ付テ御尋ノヤウデアリマスガ、之ニ付キマシテハ御承知ノヤウニ相當多量ノ純綿製品ヲ、一面ニ於テハ產業組

合ヲ通シ、一面ニ於テハ商人ノ團體デアリマス、商業組合ヲ通シテ配給ノ開始ヲ致シ

テ居リマス、最近デハ相當此ノ配給モ行ハ

レルヤウニナツテ居リマスガ、何分ニモ手續其ノ他ノ關係カラ、恐ラク十分ニト云フ譯ニハ參ツテ居ラナイダウラト承知シテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ商業組合方面及ビ産業組合方面ニ付キマシテ、色々手續ノ複雜ナ關係上、十分ニハ行カヌト云フ

點ヲ吾々モ承知シテ居リマスノデ、尙ホ一段ト其ノ點ニ付テ注意ヲ致シタイト思ツテ居リマス、唯何分ニモ純綿製品ガサウ澤山ゴザイマセヌノデ、足リナイト言ハレルコトハ相當アラウカト思ツテ居リマスガ、是ハ所謂國際貸借ノ關係カラ棉花ノ輸入ヲ制限シタ其ノ影響デゴザイマスノデ、此ノ點ハ或る程度マデ御辛抱ヲ願ハナケレバナラヌト思ツテ居リマス

○吉種委員 關聯事項デ少シク御尋致シマス、實ハ農林大臣モ能ク聽イテ戴キタイ、酪農委員會デモ此ノ問題ニ付テ農林大臣ニ申上げテ居リマスルガ、他ノ質問者ノ關係デ後ニ讓ルト云フノデ途中デ打切リマシタ、

本問題ハ昨年ノ議會デ私ガ當時ノ有馬農林大臣ニ向ツテ「ステープル・ファイバー」混用ノ問題ニ付テ伺ヒマシタ、其ノ時ニ詳シク農

村ノ實情ヲ申上ゲマスト、農林大臣ハ實ハ國策ノ線ニ副フ「ステープル・ファイバー」三

割混用ト云フコトガ決行セラレタ時ニアナ

ドモ、段々御話ヲ聽イテ見ルト、是ハ容易リマス、此ノ點ニ付キマシテハ商業組合方御希望ニ副フヤウニ善處致サウト云フ話ヲ承ツテ居リマシタ、其ノ當時カラ暫ク經チマスト、國家ノ方デ餘ツタ木綿ガ澤山見付

カツタト云フノデ、此ノ配給ヲ受ケルヤウニナリマシタガ、恐ラク是ハ當時ノ有馬農林大臣ノ御答辯ニナリマシタヤウナ心ガ籠シマスト、昨年ノ今頃二圓十錢デアリマシタ木綿ガ、今ハ四圓七十錢カラ八十錢ニナツシマス、所ガ其ノ配給量ガ甚ダ少ウゴザイ

マシテ、私ノ村ナドデハ私ノ組合長ヲシテ居リマス、實情デゴザイマスカラ、是ハ商工當局モ御出デゴザイマスカラ、是ハ商工當局モ御出デゴザイマスカラ、是ハ商工當局モ御出デゴザイマスカラ、農村ニ紛無地ノ木綿ヲ出來ルダケ澤山ヤルト云フコトハ、一面農家ガ米價安ヲ我慢シテ國策ニ殉ジテ居リマスル此ノ犠牲ニ對シマシテ、政府當局トシテモ當然御報ヒ下サツテ然ルベキコトト存ジマスノデ、商工當局ニ於キマシテモドウカ特別ノ御配慮ヲ御願致シタウゴザイマス、農林大臣ニ於カレマシテモ勿論特別ニ御配慮ヲ願ヘルコトト存ジマス、何分此ノ點切ニ御願致シマ

コトニナルト、木綿ニ比ベマシテ三分ノ一カ四分ノ一ノ期間シカ持タナイト云フコトガ實情デアリマス、ソレデハ今日木綿ト云フモノガ農民ノ被服ノ中デドノ位ヲ占ルカト云フト、殆ドモウ大部分ヲ占メテ居リマス、サウ云フコトニナツテ居リマスカラ、此ノ弱イ「ステープル・ファイバー」デヤルト

○山本委員 又委員長ニ叱ラ レルカモ知レ  
マセヌガ、是ハ實際決シテ關聯ゼザル問題  
デハナイノデ、今度ハ米ノ規格ヲ統一シ、  
而シテ検査ヲ嚴重ニシテ、サウシテ取引ヲ  
安易ニスル爲ニ、殆ド全國ニ瓦リマシテ從  
來ノ土臼ガ廢止セラレ——絶對ニ禁止シタ  
譯デハアリマセヌガ、殆ド「ローラー」摺ニ  
ノ穀ヲ「ローラー」挽ニシヨウトシマシテ  
ナツテ參リマシタ、所ガ昭和十三年度產出  
ノ穀ヲ「ローラー」挽ニシヨウトシマシテ  
モ、各方面ノ實情ヲ見マスト、此ノ「ロー  
ラー」ノ謹謨ガ殆ド配給ヲ受ケラレナイ、  
其ノ爲ニ一石ニ付テ何錢ト云フ本當ニオ話  
ニナラヌヤウナ高イ値段ヲ拂ツテマデ「ロー  
ラー」機械ヲ持ツテ居ル遠クノ方ノ組合  
ナリ商人ナリカラ機械ヲ持ツテ來テ、サウ  
シテ穀ヲ玄米ニシテ居ルヤウナ始末デア  
ル、其ノ爲ニ農民ハ莫大ナル損害ヲ蒙ツテ  
居ル、是ハ謹謨デアリマスカラ、一定ノド  
ノ「パテンント」ノ「ローラー」ニシマシテモ、  
自ラ挽キ得ル分量ト云フモノニハ限度ガア  
ル、ソレノ配給ガナイ、モウ玄米ニスルコ  
トハ出來ナイ、仕方ガナイカラ商賣人ニ賴  
ンデ玄米ニシテ居ル、斯ウ云フ狀態デアル、  
政府ノ方針ガ斯ウ云フ方針ニナツテ來タ以  
上、又ソレガ實際米ノ保管ノ上カラ土臼デ

ガ宜イノデアルカラ、少クトモ農家デ使フ  
「ローラー」ノ護謨位ハ、圓滑ニ配給出來ル  
ヤウニ、農林當局ニ於テ特ニ商工當局ト御  
協議ニナリマシテ、圓滑ナル配給ノ出來ル  
ヤウナ對策ヲ講ジテ貴ヒタイト云フ切ナル  
御願ヲスルノデアリマスガ、之ニ對シテモ  
斯ウ云フ方法デ昭和十四年度ノ產出米ニ付  
テハ、サウ云フ不自由ヲサセナイト云フ一  
ツ御説明ヲ願ヒタイ

ノ實施ニ依リマシテ先程來農林大臣ノ御説明ニ依リマシテ米穀取扱業者ハ從來ノ配給機構ノ變革ヲシテ、一營利會社ノ米穀會社ニ利益ヲ壟斷セシメルガ爲ニ本法ヲ實施スルノデハナキ、隨テ從來ノ配給機構ニ在ル米穀取扱業者ハ、現在以下ノ狀態ニハナラナシ、此ノ上ニ免許制度ニナツテ一つノ特權ヲ附與セラレルノダカラ、現在以上ニヨリ好キ狀態ニ立到ルコトコソアレ、決シテ現狀以下ニ悲慘ナ狀態ニナルコトハ絕對ニナイト思料セラレルト云フ御答辯ガアリマシタケレドモ、私ノ見ル所ニ依リマスト、都會地ニ於ケル米穀取扱業者ハ或ハ然ラン、併シナガラ生産地ニ於ケル米穀業者ハ其ノ集荷ノ方法ニ付テ、ドウシテモ其ノ業者ノ進出スペキ餘地ガ段々ナクナツテ來ルノデハナカラウカ、即チ產組系統ノ集荷率ガ殖エテ來テ、其ノ方面ノ集荷實數ガ殖エレベ殖エル程、生産地ニ於ケル米穀業者ハ取扱石數ガ減ツテ來ル、サウスルト所謂デリ貧デ段々々々取扱數量ガ減ツテ來テ、サウシテ終ヒニハ近キ將來——餘リ遠イ將來デナイテシマフノデハナイカト云フ不安ノ爲ニ、生産地ニ於ケル米穀業者ガ猛烈ナ勢デ本法

ノ成立ニ反對ヲシテ居ル、有ユル意味ノ陳  
情ヲシテ居ル、是モ兎ニ角今日マデ我國ノ  
主要食物デアル米穀ノ配給機構トシテ貢獻  
スル所大ナル業者デアルノデスカラ、ソレ  
ハドウナツテモ宜イノダ、斯ウ云フ御考デ  
ナイコトハ重々御察シ致シマスケレドモ、  
尙更ニ一步ヲ進メラレテ、若シ萬一本法實  
施ノ結果、生産地ニ於ケル米穀取扱業者ガ  
斯様ナ結果ニ陥ツテドウシテモ如何トモス  
ルコトガ出來ナイ、生業ガ立タスト云フヤ  
ウナ考ヲ若シ現出スルヤウナコトガアリト  
セバ、政府當局ハ之ニ對シテ何等カノ救濟  
對策ヲ御講ジ願ヒタイ、ソレニ對スル何等  
カノ御考ガアルカドウカラ承ツテ置キタイ  
ノデアリマス、此ノ點ヲ明瞭ニシテ戴キマ  
スレバ、米ノ產地ニ於ケル米穀取扱業者ト  
雖モ、強ヒテ本法ニ反對スル理由ハ解消ス  
ルノデアリマスカラ、ドウカサウ云フ意味  
ニ於キマシテ農林大臣ヨリ、ソレハ斯ウ云フ  
コトニナルノダカラ斯ウ云フコトニ歸著ス  
ル、由ツテ以テ本法實施ノ結果生産地ニ於ケ  
ル米穀取扱業者ト雖モ左様ナ不安ハナイ、  
假ニ若シ萬一左様ナ不安ガ實現セラレテ、  
ノダト云フ御言明ガアリマスレバ、二者何



テ除外例ヲ設ケテ、未著物取引及ビ延取引ヲ認メテ居リマスコトハ、此ノ法案ノ目的トスル趣旨ニ副ハザルモノデハナイカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、延取引及ビ未著物取引ヲ許シマシタ爲ニ、動モスルト從來ノ投機取引ヲヤルノデハナイカト云フ懸念ヲ持ツテ居ツタノデアリマス、ソレガ第一ノ疑問デアツタノデアリマスガ、其ノ點ニ關シマシテハ先日來幾タビカ質疑應答ガ試ミラレマシタ、サウシテ左様ナル懸念ハナイ、斯様ナル御答辯ヲ伺ツタノデアリマス、殊ニ本日ノ午前中ニ農林當局ハ、投機取引ヲ絶對ニ禁止スルト云フコトハ理想的デアラ、ウケレドモ、中々容易デハナイ、ソコデ全然賭博ノ道具ノヤウニサレテ居ツタモノハ、斷然之ヲ禁壓スル、斯ウ云フ風ノ趣旨ノ御答辯ガアツタノデアリマシテ、私共投機取引ノ抑制ト云フ點ニ關スル法案ノ、十分ニ徹底セザル憾ハ感ジテ居リマスケレドモ、ソレニケマス、第一ノ私ノ疑問ニ對シマシテハ、今マデノ農林當局ノ御答辯ヲ一應諒承致シマス、第二ノ法案全部ニ對スル私ノ質疑ハ、本法施行ニ依ツテ失業者ガ多分ニ生ズルノ

デハナイカ、其ノ第一ハ從來ノ取引所又ハ正米市場ノ開設者、取引所ノ使用人及ビ取引員、之ニ對シマシテハ法案第五十六條ノ規定ガアルガ、其ノ他ノ米穀取扱業者、即チ地方ノ買出人、仲買人或ハ米穀商ト云フヤウナ者ガ、失業ノ悲運ニ陷ル、サウシテ今日ソレ等ノ米穀取扱業者ノ徒弟ト致シマシテ、將來獨立シテ自分ガ米穀取扱業者三ナラントスル人達ガ、此ノ法案實施ノ爲ニ、將來ノ獨立營業ト云フコトニ危惧ノ念ヲ感ジマシテ、轉業シナケレバナラヌヤウナ羽目ニ陥ルコトガ、非常ニ多イグラウト思ヒマス、尙又現ニ生産地ニ買出シニ行ク、例ヘバ荷馬車ヲ以テ買出シニ行クト云フヤウナ人、或ハ米穀商ニ使用サレテ居ル仲仕、斯ウ云フヤウナ者達ノ失業ハ、可ナリ私ハ多數ニ上ルト考ヘルノデアリマス、而シテソレ等ノ者ニ對スル對策上ノ規定ハ、勿論法案ニハ全然アリマセヌ、ソコデ如何ニ國策上ノ見地カラサレル所ノ變革、改革デアリマシタ所デ、其ノ爲ニ生ズル所ノ失業者ヲ、其ノ儘放置シテ置クト云フコトハ、是ハ決シテ政治ノ要諦デハナイ、平沼首相ハ說カレル、而シテ公道政治ハ天地萬物悉ク其ノ所ヲ得シメル、一人トシテ所ヲ得シメ

ナイ者ナカラシメルト言ハレルノデアリマスガ、其ノ政治ノ理想ハ私共全然共鳴ヲ禁  
ジ得ザル所デアル、左様ナル理想ヲ以テ臨  
マレル現内閣ノ下ニ於キマシテ、此ノ法案  
實施ニ依ツテ、私共ノ見ル所デハ多數ノ失  
業者ガ出ルト、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、  
此ノ點ニ付キマシテモ只今山本君ノ御質問  
ニ對シマシテ農林大臣ハ、失業者ハ出ナイ、  
若シ萬々一左様ナコトガアルトスレバ、國  
ガゾレヲ賠償スルセヌハ別トシテ、何等カノ  
方法モアラウ、斯ウ云フ風ニ申サレルノデアリマスガ、尙ホ一應此  
リマス、私共大臣ノ其ノ御辯明ヲ聽キマシ  
テ今此ノ法案ニ對シマシテ非常ニ危惧ノ  
念ヲ持ツテ居ル數万ノ人達ト共ニ、非常ニ  
意ヲ強ウスルノデアリマスガ、尙ホ一應此  
ノ點ニ關シマシテ、私共ノ懸念スルヤウナ  
多數ノ失業者ガ出ルコトニ對シテ、若シ出  
レバ何等力講ズベキ方法モアラウ、斯ウ云  
フ風ノ御趣旨ノ御答辯ヲ今少シク具體的ニ  
承ルコトガ出來レバ、心配シテ居ル人達モ  
ス、山本君ノ御質疑ハアリマシタケレドモ  
此ノ點ヲ重ネテ御承リシテ置キタイト思フ  
ノデアリマス

フガソレニ對シテ何カ對策ガアルカト云フコトデアリマス、米穀ノ取引所ノ取引員ソ中デ清算取引ヲ事業ニシテ居ル者ハ、當局ノ調トシテハ百十幾人デアリマス、取引所居ル人ガ相當アリマス、故ニ此ノ總數ニ側カラ言フト尙ホ少シ多イヤウニ言ツテ居リマスガ、大體ニ於テ是等ノ人々ノ使ツテ至リマンシテハ、ソレニ十倍フスルカト數倍スルカト云フ人數ニナラウカト思ヒマスガ、此ノ問題ハ要スルニ取引員ニ對スル救濟ト相關聯スル問題デアリマシテ、即チ此ノ處置ヲ致ス場合ニ、其ノ人達ガ米穀ノ取扱ヲ業トシテ轉業シヨウト云フナラバ、米穀取扱ヲスル爲ニ利用スル費用ニ對シテ相當之ニ相當ナル助力ト申シマスカ、貸出ト申シマスカ、何等カ適當ノ處置ヲ執ラウトスウ云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、私ハ其ノ點ニ付キマシテハ本法ノ出ル爲ニ失業者ガ此ノ方面ニ出ヤウトハ思ツテ居リマセヌ、極端ニ申シマスナラバ、寧ロ今日ノ現状ノ儘デアレバ、或ハ是レ以上失業者ガ出ルノデハナカラウカト云フ實情ニアリハシナイカトスラ想像スル譯デアリマス、ソレカラ其ノ以外ニ、要スルニ米穀商人ガ之ニ依ツテ失業スルダラウカドウグラウカト云

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

フ風ナ問題ニ付キマシテハ、私自身ハ先刻  
來申ス通リニ、趣旨ニ於テ私ハ失業者ハ出  
ナイノダラウトスウ思フノデアリマス、併  
シナガラ、ソレニ對シマシテ先刻申ス通り  
ニ、國ガドウシヨウトカスウニヨウトカ云  
フ成案ハ、是ハ議會ノ御協贊ヲ經ナケレバ  
ナラヌカラ不可能ナコトデアリマスガ、現  
在ニ於テ轉業其ノ他ニ對シテ相當盡力スル  
途モアリマス、又他ニ其ノ商賣ノ減少シタ  
原因ヲ調査シテ、ソレヲ救濟スル途ガアレ  
バ政府ノ力ニ於テ出來ル限り考慮シテモ宜  
シイノデアリマスケレドモ、現在ノ吾々ノ  
調査シタ建前カラ言ヒマスルト、サウ云フ  
心配ハナイト斯様ニ信ジテ居ルノデアリマ  
ス

セヌデモ相當打撃ヲ受ケルコトデアラウト  
憂慮致シテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付  
キマシテハ左様ナ場合ニ於キマシテハ尙ホ  
一層ノ御配慮ヲ賜ランコトヲ切ニ此ノ際御  
願シテ置キタイト存ジマス

謂附帶事業デアリマス、法案第二十九條第  
二項以下ノ事業ノコトニマスルガ、當  
初米穀一本デ米穀會社ガ出來テ、其ノ事業  
ヲ營ムト云フコトニナツテ居ツタノガ、法  
案作成ノ途中ニ於テ附加サレタ、而シテ其  
ノ事情ニ付キマシテ、色々本會議ナリ、委  
員會デ議論ガアツタヤウデアリマスルシ、  
此ノ米穀會社ニ附帶事業ヲヤラセルト云フ  
コトハ適當デナイト云フ意見ハ相當強イヤ  
ウデアリマス、私共ノ仄聞致シテ居ル所ニ  
依リマスルト、此ノ條文ガ二十九條ノ中ニ  
附加サレマシタ所以ノモノハ、現在小樽其  
ノ他二三ノ取引所デ、此ノ附帶事業デヤツ  
テ居ルヤウナ事業ヲヤツテ居ルガ、ソレ等  
ノ取引所ノ爲ニ考慮サレテ斯様ナル條文ガ  
ゴザイマス、要スルニ此ノ米穀會社ニ此ノ  
附帶事業ヲヤラセルト云フコトハ、是ハ適  
當デナイト私ハ考ヘルノデアリマス、隨ヒ

マシテ當局ハ此ノ附帶事業ヲ削除サレル意  
思ハナイカドウカト云フコトヲ御伺致シタ  
イノデアリマス  
○周東政府委員 此ノ條文ヲ置キマシタ所  
以ノモノハ、度々申上ゲマシタヤウニ、只  
今ノ正米市場等ニ於キマシテ實際取扱ツテ  
居リマスル實情ヲ見マシテ、急速ニ變動ガ  
起ルコトニ依ツテ其ノ取引ノ不便ト云フコ  
トガ起ラナイヤウニ、此ノ會社ニ併セテ行  
ハシメ得ル場合ヲ規定シタノデアリマス、  
故ニ政府ト致シマシテハ、ヤハリ地方ノ事  
情ニ應ジマシテ是ガ必要デアラウ、斯様ニ  
考ヘテ居リマス

○石坂委員 次ニ本法施行ノ手續上ニ關ス  
ル問題ノ一二三ヲ承リタイ、第一ハ先程  
ドナタカラカ御指摘ニモ相成リマシタ  
ヤウニ、此ノ法案ヲ見マスルト勅令ニ  
委任シテ居ル事項ガ頗ル多イノデアリマシ  
テ、法文ヲ讀ミマシタダケデハドウ云フ内  
容ニナツテ居ルカト云フコトガ分ラナイコ  
トガ非常ニ多イノデアリマス、一タビ法律  
ガ公布セラレマスト、是ハ總テノ人ヲシテ  
周知セシメナケレバナラヌノデアリマスル  
ガ、此ノ法案ノ書キ方ノヤウニ勅令ノ委任  
事項ヲ多カラシメテ居ルト云フコトハ、將  
來米穀取扱業者、此ノ市場ノ仕事ヲスル人

達ニ一種ノ不安ノ念ヲ與ヘルノデハナイカ  
ト懸念サレルノデアリマス、此ノ點ニ關ス  
ル當局ノ御意向ハ如何デアリマセウカ  
ル  
第二六附則第五十三條「本法施行ノ期日ハ  
各規定ニ付勅令ヲ以テ以ヲ定ム」ト云フ案ニナ  
ツテ居ルヤウデアリマス、普通ノ立法例カラ  
致ジマズト、大體其ノ法律全般ニ付テ、一齊  
ニ同時ニ施行サレルノガ普通デアル、若シ  
是ガ條文ニ區々ニナリマスト、運用ノ上  
ニモ非常ニ不便ヲ來シマセウシ、又法律ノ  
適用ヲ受クベキ物若クハ人ノ關係カラシテ  
モ、頗ル不便ナ結果ヲ生ズルデアラウト考  
ヘルノデアリマス、故ニ私ハ斯様ナ施行期  
日ニ付テノ規定ガ各條項ニ依ツテ別々ニナ  
シテ云フコトハ、立法技術ノ問題トシテ不  
適當デアルバカリデナク、實際ニ法案ヲ實  
施シテ、此ノ法案所期ノ目的ヲ達成スル上  
ニモ、不便ガ少クナサイノデハナイカト心配  
シテ居リマス、尤モ此ノ點ニ付テ先日周東  
局長ハ、大體此ノ法律ハ今年ノ十月一日ヨリ  
施行スル見込デアル、斯様ナ御答辯ガアツ  
ヒカモ知レマセヌガ、左様デアルト致シマ  
スレバ、私ノ申上ゲル心配ノ點ハ除去サレ  
ルコトニナリマスガ、何故ニ此ノ五十三條ノ  
ヤウナ規定ヲ設ケラレタノカ、其ノ事情

ヲ承リタインデアリマス、而シテ是ガ適當  
デアルカドウカト云フ點ニ付キマシテノ御  
意見ヲモ承リタイ

ソレカラモウ一ツ是モ技術上ノ問題ニアリマスガ、附則第六十條ニ依リマスト「取引所稅法中第二十一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ」ドアリ、更ニ其ノ次ニ「第二十一條ノ二」斯様ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是モ普通ノ立法カラ申シマスト、私共稍々變則ノヤウラ申シマスト、取引所稅法ヲ改正スルナラバ、取引所稅法中改正法律案ヲ別ニ出シテ、之ニ第二十條ノ次ニ左ノ一條ヲ加ヘテ此ノ法案ノヤウニスルノガ適當デアラウト思フノデアリマス、是ハ單純ニ便宜上カラオヤリニナツタコトデアラウト思ヒマス、是ハ成程提出マデハ便利カモ知レマセヌガ、將來ノ實施ノ上デハ、却テ是ガ不便ヲ來スノデハナイカト思フノデアリマスカラ、特ニ斯ウ云フ風ノ取扱ヲサレマシタコトニ付テ、何カ特別ノ事情ガアルカナイカヲ承リタイ、本法施行ノ手續上ノ問題ニ付テ、以上ノ三點ニ付テノ御所見ヲ承リタイノデアリマス。

讓ツタ部分ガ相當多イノデ、實際之ヲ施行スル上ニ於テ、民間ニ對シテ不安ノ念ヲ起スコトナキヤトノ御質問デアリマスガ、此ノ種等ニ關スル問題ガ相當多イノデアリマス、之ハ實際ノ動キニ應ジマシテ必要ナ、且ツ實際ニ適シタ方法ニ改ヌル等ノ場合ニ於キマシテ、却テ動キ難イト云フ點ガ多イノデアリマス、更ニ又取引ノ實體等ニ付テ色々々ノ場合ガアリマスノデ、慎重ニ適當ナ規定ヲ置ク必要上、寧ロサウ云フ點ニ付テハ勅令ニ讓ツタノデアリマス

ソレカラ第二ノ施行期日ノ問題デアリマスガ、是モヤハリ本法ノ持ツテ居リマス内容ハ色々アルノデアリマス、殊ニ市場開設ノ準備ト云フヤウナ爲、即チ其ノ本體デアル所ノ株式會社ノ設立ノ準備ト云フヤウナ事柄ガ十分出來マシテ、初メテ市場開設ト云フヤウナ事柄ニナルノデアリマス、隨テ之ヲ一律ニ何時ト云フ風ニ規定致スコトハ、實際上ノ動キニ不便デアリマスノデ、寧ロ各條毎ニ之ヲ區分シテ、例ヘバ會社設立ニ關シテ必要ナ規定ハ、今後出來ルダケ早ク、而シテソレ等ノ法律ノ施行ニ依リマシテ準備方整ヒ、創立ノ諸準備ガ整ヒマシタ時ニ

於テ會社ガ出來マスレバ、之ニ關聯シテ市場開設ニ關スル、或ハ市場等ノ動キニ關スル規定ノ施行ヲ致スコトガ必要デアリマス、ノデ、サウ云フ風ナ事情カラ各條ニ依ツテ施行期日ヲ決メタ方ガ適當デアラウト思ヒマシテ、左様ニ決定致シタ譯デアリマス、尙ホ此ノ際特ニ御諒解ヲ得テ置キタノハ先日私ガ申シマシタ本法ノ施行ハ十月一口ヨリ云々ノ點ニ付テハ、是ハ本會社ノ市場ノ開設ハ何時頃ニスルカト云フ御話デアリマシタノデ、其ノ點ニ限ツテ、遲クトモ十二月一日頃開設ヲ致シタイ運ビデアルト申上ゲタノデアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

ガ例ニナツテ居ルヤウデアリマシテ、是ハ  
ヤハリ御話ノヤウニ、大體便宜上ノ問題デ  
アリマス

○石坂委員 次ハ産業組合ト商人トノ對立  
摩擦ヲ緩和スル爲ニ、政府ハ適當ナル施設  
ヲ講ゼラレル必要ガアルノデハナイカト云  
フ點デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、  
世上雙方ノ立場カラ色々論議ガ行ハレテ居  
ルト同時ニ、當議會ニ於キマシテモ、各方  
面ニ可ナリノ論議カ行ハレテ居ルコト考  
ヘルノデアリマス、本法案審議ニ際シマシ  
テモ、先般來此ノ法案ヲ接觸場面トシテ、  
動モスルト從來ノ米穀配給機關デアツタ所  
ノ商人側ト、新シク進出致シテ參リマシタ  
產組側トノ摩擦ト云フモノガ、尖銳化シテ  
來ツツアルヤウニモ思フノデゴザイマス、  
私共國家ノ現在及び將來ニ思ヒテ致シマシ  
テ、此ノ點ハ誠ニ憂慮スペキコトダツ考ヘ  
テ居リマス、殊ニ是ガ國民ノ主要食糧デア  
ル所ノ米穀ノ配給ト云フ問題ニ付テ、其ノ  
對立摩擦ト云フモノガ尖銳化スルト云フコ  
トハ、是ハ決シテ好マシイコトデハナイト  
米穀政策ト云フモノハ極メテ重要ナル問題  
デアルト同時ニ、極メテ困難ナル問題デ  
アリマス、生産者側ノ立場カラ申シマ

スト米價ノ高イコトヲ希望スル、而シテ其ノ消費者ハ國民ノ全部デアリマスルガ故ニ、消費者側カラ申シマスト比較的安い米價ヲ希望スルト云フコトハ當然ノ話デアリマス、ソコニ生産者ト消費者トノ間ノ利害關係ノ相衝突スルコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、茲ニ色々ノ矛盾ガアリマスガ故ニ色々ノ問題ガ惹起サレテ參ルト思フノデアリマスガ、商人ト產組トノ對立摩擦ト云フモノハ實ニ此ノ點ヨリ胚胎シテ居ルト、斯様ニ私ハ存ジマス、產組側ノ方々ニ言ハセマスト、直接生産者ヨリ消費者ヘト云フ「モットー」デアル、其ノ間ノ中間搾取機關ヲ除ク、サウシテ直チニ生産者ヨリ消費者ヘ安ク供給ヲシヨウト云フ議論、私ハ當然ノコトダト思ヒ、御尤ナコトダト考ヘルノデアリマス、一面商人側カラ申シマスト、自分達ノ商權ナリトシテ強ク其ノ擁護ノ聲ヲ叫バレル、サウシテ其ノ人達ガ申シマスルノニハ、自己ノ商賣上ノ優秀ナル技術、サウシテ家族全部ヲ擧ゲテ拮据罷勉スル所ノ其ノ營業ノ熱心、ソレハ到底產業組合側ノ配給組織ガ吾々ニ勝ツモノデハナイ、斯基斯様ナコトヲ言ツテ居ルヤウデアリマス、若様ナコトヲ言ツテ居ルヤウデアリマス、若

此ノ點ニ付テノ當委員會ノ論議ニ鑑ミマシテモ、其ノ點ハ各方面カラ憂慮サレテ居リマスガ、農林大臣ハ此ノ問題ニ關シマシテハ、眞ニ時局ニ鑑ミ、生産者、配給機關、消費者、此ノ人達ガ三位一體トナツテ國家ノ食糧政策ニ働キタイ、斯ウ云フ風ノ御趣旨ノ御話ガアツタヤウデアリマシテ、隨ヒマシテ私ハ農林大臣ノ產組對米穀商トノ對立摩擦ノ除去ニ關スル御意圖、米穀商バカリデナク、產組對商人ノ對立摩擦ヲ除クト云フ、ソレニ對スル御抱負ハ大體之ヲ諒ト致シテ居ルノアリマス、數日前ドナタカノ質問ニ對シマシテ、今井商工政務次官ハ、自分ノ私見ヲ言ツテハ恐縮ダケレドモト云フ前置置ヲサレマシテ、等シク 陛下ノ赤子デアル、サウ云フ人達ニ對シテ斯様ナコトガアツテハナラヌ、是非トモ此ノ緩和ノ方法ヲ講ジタイト云フ趣旨ヲ述ベラレタノアリマス、私ハ又今井政務次官ノ個人的意見ナリトハ申サレマシタケレドモ、其ノ御意見ヲ十分是認シ、ソレニ贊成致ス者デアリマス、何ト致シマシテモ私ハ此ノ國家ノ前途ニ鑑ミテ見マスルト、此ノ雙方對立摩擦シテ居ルト云フヤウナ現狀ヲ緩和シテ、サウシテ雙方ドモ理解諸調ヲ圖リ、サウシテ共存共

食糧政策ノ萬全ヲ期シタイト云コトヲ歎  
望スル者デアリマスガ、此ノ點ニ付テ、總  
親和ヲ説カレル所ノ現平沼首相が如何様ナ  
考ヲ持ツテ居ラレルデアリマセウカ、今日  
勿論總理ハ御出席ニナツテ居リマセヌガ、  
委員長ノ取計ヒニ依リマシテ、適當ノ機會  
ニ其ノ點ニ關スル總理ノ御所見ヲ承ルコト  
ガ出來レバ洵ニ仕合セニ存ジマス、此ノ段  
委員長ニ於テ適當ニ御取計ヒ置キ願ヒタイ  
ト思ヒマス、私ノ此ノ法案ニ對スル總論的  
ノ質問ハ以上デアリマスガ、次ニ本案ノ各  
論的ノ質問ニ入ラケレバナラヌノデアリ  
マスガ、ソレヲ最後ニ廻シマシテ、農林大  
臣ニ農林政策上ノ二三ノ問題ヲ御承リ致シ  
タイト思ヒマス、其ノ第一ノ問題ハ、長期  
戰下ノ農林政策的見地カラ、東亞農林政策  
東亞農業體制ノ創建ト云フコトヲ必要ト考  
ヘマスルガ、其ノ東亞農林國策ノ見地カラ  
スル所ノ米穀政策、斯ウ云フコトニ付テノ  
御意見ヲ御承リ致シタイノデアリマス、申  
スマデモナク長期建設下ノ農業政策ハ、先  
づ生産力ノ維持擴充、而シテ機械ノ本格的導  
入、サウシテ同時ニ私ハ東亞農業體制ノ創建  
ト云フコトヲ必要トスルト考ヘルノデアリマ  
ス、此ノ戰時下ニ於ケル農業政策ノ一ツノ現  
ハレトシテノ東亞農林體制ノ創建、其ノ見地力

ラ見マシテ、農林大臣ハ米穀政策ヲドウ云  
フ風ニ樹立サレントシテ居ルデアラウカ、  
其ノ點デアリマス、此ノ議會ニ現ハレマシ  
タ法案ナリ所論ニ依ツテ見マシテモ、臺灣  
米穀管理特別會計法案、其ノ特別會計法案  
ガ提出サレマシタノハ、臺灣ニ於ケル米穀  
ノ管理ヲ實施シヨウト云フノ爲デアリマス、  
サウシテ從來内地ノ米穀ノ需給ト云フモノ  
ハ、内地、朝鮮、臺灣、内外地ヲ一貫シテ  
需給ノ調節ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリ  
シテ、内地ノ生産ノミヲ以テ致シマシテハ  
内地ノ需要ヲ充スニ足ラナイコトハ先刻御  
承知ノ通リデアリマス、然ルニ今回臺灣ニ  
米管案ガ實施サレント致シテ居リマスルガ、  
拓務當局及ビ臺灣當局ノ話ニ依リマスル  
ト、臺灣ノ米作ヲ抑ヘテ、サウシテ臺灣特  
有ノ他ノ有用作物、或ハ甘蕉、苧麻、黃麻  
薩麻ト云フヤウナ有用作物ヲ增産セシム  
ル、而シテソレガ爲ニ決シテ臺灣ノ米作ハ  
減少スルモノデアル、而モ其ノ増産計畫ハ、昭  
和十四年度ヨリ十年間ニ差當リ增産計畫ヲ  
立テマシテ、サウシテ十箇年間ニ二百五十  
三万石ヲ増産致シマシテ、今日ノ臺灣ヨリ  
内地ヘノ移出ハ約四百五十万石デアルガ、  
ソレヲ五百五十万石程度ノ移入ニスルト云

フ此ノ案デアリマス、而シテ臺灣ニ於テ米管案ガ實施サレルコトニナリマスト、當然方法ガ講ゼラレナケレバナラヌコトハ當然デアリマス、ソレニ對シテ私共別途臺灣米管案ノ委員會ニ於キマシテモ、其ノ御方針ヲ拓務當局ニ御尋致シタノデアリマスガ、段々最近ニナリマシテソレガ具體的ニナツテ參ツタヤウデアリマシテ、去ル九日ノ西川君ノ質問ニ對シマシテモ、大野政務總監ヘ、朝鮮米ノ移出管理及ビ產地ニ於ケル配給統制機構ノ確立ニ付テノ大體試案ガアルト云フヤウナコトヲ申サレテ居リマス、サウシテ新聞紙上ヲ見マスト、其ノ朝鮮ニ於ケル米穀統制要綱ト云フモノハ、大體決定致シタヤウニ承知致スノデアリマス、斯様ニ致シマシテ内外地ヲ通ジタ一貫セル米穀政策ト云フモノハ大體揃ツテ、愈々備整シテ參ツタヤウデアリマス、併シナガラ今日ノ情勢ハ單ニ内外地ヲ一貫シタ政策ダケデハ十分デナインデアリマス、之ニ當然日本ト友好不可分ノ關係ニアル滿洲國トノ關係ガ考慮サレナケレバナリマセヌ、ソコデ昨年ノ八月デアリマシタカ、滿洲國關係ト日本ノ農林當局トノ間ニ東亞農林協議會ト云フヤウナモノガ催サレマシテ、サウシテ其ノ會合

ノ席上ニ於テ東亞農林政策ト云フ、サウ云  
フ日滿ヲ通ジタ日滿「ブロック」的見地カラ  
ス、左様ナル農林政策全般ニ付テ、日滿支  
ヲ通ジテ協議ヲ進行サレ、對策ヲ樹立サレ  
ルト云フコトハ、極メテ必要ナコトデアリ  
マスルガ、殊ニ私ハ今日ノ長期戰下ノ食糧  
政策ト云フ見地カラ致シマシテ、米ノ問題  
ニ付テ、内外地ヲ一貫スルバカリデナク、日  
滿支ヲ通ジテ政策ノ一元化ヲ圖ツテ、サウシ  
テ滿洲國トノ關係ニ於テモ一步ヲ進メネバ  
ナラズ情勢ニ立至ツテ居ル、斯様ニ信ジテ  
居ル者デアリマス、最近傳ヘラレル所ニ依  
リマスト、滿洲國ニ於キマシテモ米穀ノ國  
家管理制度ニ付テノ研究ガ段々進ミマシ  
テ、米穀ノ管理制度案ト滿洲糧穀會社法案ト  
云フヤウナモノガ出來マシテ、サウシテ滿  
洲國ノ米產及ビ之ニ對スル所ノ配給統制ト  
云フヤウナモノニ付テノ政策ガ樹立致シタ  
ヤウデアリマス、ソコデ今日ノ情勢ニ鑑ミ  
マシテ、内外地及ビ滿洲ヲ通ジタ一元的ナ  
ル米穀政策ヲ確立致シマシテ、一方ニ於キ  
ニナルト、又一面ニ於テ内地ノ農家ニ不安  
ヲ與ヘルヤウナコトニナツテハ相成リマセ

スカラ、其ノ不安ヲ避ケツツ戰時食糧政策ノ食糧ノ確保ト云フコトニ大方針ヲ立テナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスルガ、此ノ戰時食糧政策的見地カラスル所ノ内地及ビ滿洲ヲ通ジタル一貫セル農林國策ニ付テノ農林大臣ノ御所見ヲ承リタイト存ジマス。

○櫻内國務大臣 只今日滿支一體トシテノ米穀政策ハドウ云フ風ニ立テルノデアルカ、斯ウ云フ御質疑デアツタト思ヒマス、勿論先日來申上ゲマス通り、現在農林省が考ヘテ居リマス所ノ案ハ、内外地ヲ一貫シテ自給自足ヲ十分ニ致シ、而シテソレニ多少ノ餘地ガアルヤウナ風ニシテ生産ヲ致シテ行キタイ、斯様ナ見地カラ總テノ内地、朝鮮、臺灣ノ米作ヲ計畫シテ居ルノデアリマス、併シナガラ御話ノ如ク東亞一體トナツテ、即チ新秩序ノ下ニ新建設ヲ致スノデアリマスガ故ニ、此ノ問題ニ付キマシテハ勿論將來考ヘナケレバナラヌ問題デアリマシテ、滿洲ハ御承知ノ通り既ニ許可制度ヲ採リマシテ、栽培、輸出入雙方トモ許可制度ヲ採ツテ統制ヲ致シテ居リマス、此ノ方面カラノ米ノ増產ト云フモノハ、要スルニ增產計畫ヲ立テマスレバ、相當ナ生産ヲ致スヤウニナルコトハ是ハ疑ヒアリマセヌ、今

ノハマダ十分ナル生産ヲ致サズシテ、内地ノ人ガ相當參リマスノデ、多少朝鮮カラ輸入シテ居ルヤウナ譯デアリマスケレドモ、將來ハ米穀ヲ如何程生産シテ如何程外へ出スヤウニスルカト云フコトハキチント立テナケレバナラヌノデアリマス、此ノ問題ハ企畫院ヲ中心トシテ今日計畫ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、マダ正確ナル所ノ案ガ立ツテ居リマセヌ、居リマセヌガ遠カラザル將來ニ於テ、此ノ日滿支ヲ一體トシタル所ノ米穀政策ヲ確立スルト云フコトニ對シマシテハ、必ズヤ成案ヲ得テ發表スル時期ガアルト思ヒマス、現在ニ於キマシテハ、度々申シマスガ、内地ト外地ニ於テ、日本内地ノ需要ヲ十分ニ満タスヤウニ致シタイ、此ノ見地ニ於テ政策ヲ立テ居ル譯デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

リマスカラ、今ノ政策的ノ問題ニ付テ、尙本質問ヲ續行致シマス、次ニ御尋致シタイト存ジマスノハ、農產物ノ增産計畫ニ付テデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ先日來當委員會ニ於キマシテモ段々質疑ガアツタヤウデアリマシテ、農林當局ヨリソレバ御答辯ガアリマシテ、私モ大體諒承致シテ居リマス、最近傳ヘラレル所ニ依リマスト、此ノ月ノ八日九日ニ農林計畫委員會が開カレマシテ、農產物增産計畫ニ對スル答申ガ提出サレタヤウニ承リマスガ、其ノ委員會ノ答申ニ於キマシテ、委員會ハ五ツノ希望條件ヲ附ケテ居ラレルヤウデアリマス、而シテ其ノ第一ハ價格政策ハ農產物增産ノ基礎的條件タルヲ以テ是ガ適正ヲ期スベシ、當面セル酒精原料農產物ニ付テハ速ニ適正ナル價格ヲ以テ買上グル方針ヲ立ツベシ、第二項ハ肥料其ノ他ノ生產資材ノ供給ノ確保ノ點、第三ハ勞力調整ニ關スル件、第四ハ第五ハ農村部落團體ノ活動ヲ一層促進スル、ウデアリマスガ、此ノ希望條件ハドノ點ヲ見マシテモ、現下ノ時局ニ鑑ミ、此ノ時局下ニ於ケル增產計畫ニ必要缺クベカラザル希望條件ダト私共考ヘルノデアリマス、隨

ヒマシテ勿論農林當局ハ此ノ農林計畫委員會ノ答申案、殊ニ此ノ希望條件ハ直チニ採ツテ以テ實行ニ移サレルコトグラウト確信致スノデアリマスルガ、左様承知シテ宜シイカドウカト云フ點ヲ承リタインデアリマスノデアリマス、新聞紙上ニス（委員長退席、馬岡委員長代理著席）併セマシテ希望第一項ニ特ニ謳ツテアル價格適正ト云フコトハ、勿論表面ハ適正デアリマシテ、讀ンデ字ノ如シデアリマスケレドモ、其ノ實際ハ農產物ノ價格ヲ決シテ安思フノデアリマス、其ノ點ニ關スル當局ノ御意向ヲ併セテ承リタインデアリマス尙ホモウツノ問題ハ、此ノ第一項ニアル當面セル酒精原料農產物ニ付テハ速ニ適正ナル價格ヲ以テ買上グル方針ヲ立ツベシト云フ此ノ希望條件アリマス、從來農家ガ此ノ時局ニ當リマシテ無水「アルコール」原料トシテノ甘諸ノ供出ニ銳意熱心其ノ要求ニ副フヤウニ努力致シテ居リマスコトハ、私共地方ニ居リマシテ、其ノ農家ノ努力ニ參ツテ居リマセヌケレドモ、出來得ルダケマス、ソレニ付キマシテ只今ノ所デハ、マダ之ニ要スル追加豫算ハ發表スルマデニハ御趣旨ニ副フヤウニ努力ヲ致シテ居ル所デアリマス、而モ事ハ急デゴザイマシテ、其ノ豫算ノ決定ヲ俟ツテ實行ニ著手スルコトハ、幸ニ三十二錢ト云フ價格ニ全國一樣ニ藏當局ト農林省ノ間ニ圓滿ナ話ガ付キマシテ、幸ニ三十二錢ト云フ價格ニ全國一樣ニ纏マリマシタ、此ノ增産ニ付テハ農林省ハ固ヨリ、大藏省ニモ專賣局ノ方ニ相當ノ技術者モ居ラレルノデアリマスカラ、相俟ツテ此ノ增産ニ努力スルコトニ兩省ノ間ニ話ガ纏マリマシタノデアリマスカラ、此ノ點ハ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス、是等ノ兩

モノデ、私共尤ナ次第ト存ジテ居リマス、ソコデ是モ當局ニ於カレマシテハ、農林、大藏兩當局協議ノ上デ、甘諸價格ノ値上ヲトシテ安心シテ宜シカラウト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ御確メヲ致シテ置キタイト思ヒマス（松村政府委員）只今御質問ノ點ハ大體此ノ間議會ノ御決議ニモアリマジタ點ヲ、大部分含シテ居ル譯アリマシテ、私共ハ此ノ御決議ノ趣旨ニ基クヤウニ致シタイト考ヘマシテ、只今努力ヲ致シテ居ル所デアリマス、ソレニ付キマシテ只今ノ所デハ、マダ之ニ要スル追加豫算ハ發表スルマデニハ御趣旨ニ副フヤウニ努力ヲ致シテ居ル所デアリマス、而モ事ハ急デゴザイマシテ、其ノ豫算ノ決定ヲ俟ツテ實行ニ著手スルコトハ、幸ニ三十二錢ト云フ價格ニ全國一樣ニ纏マリマシタ、此ノ增産ニ付テハ農林省ハ固ヨリ、大藏省ニモ專賣局ノ方ニ相當ノ技術者モ居ラレルノデアリマスカラ、相俟ツテ此ノ增産ニ努力スルコトニ兩省ノ間ニ話ガ纏マリマシタノデアリマスカラ、此ノ點ハ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス、是等ノ兩省ノ協力ニ依リ、又一般農民ノ協力ニ依リ

ヒマシテ勿論農林當局ハ此ノ農林計畫委員會ノ答申案、殊ニ此ノ希望條件ハ直チニ採ツテ以テ實行ニ移サレルコトグラウト確信致スノデアリマス、此ノ箇々問題ニ付キマシテハ、價格政策ノ問題ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、一面一般物價トノ關係モアリマスガ、併シ增產計畫、生產擴充計畫ヲヤルノニハ、何ト云ツ云フコトヲ承ルノデアリマス、新聞紙上ニ傳ヘラレル此ノ事實ハ、既ニ決定シタモノ併セマシテ希望第一項ニ特ニ謳ツテアル價格適正ト云フコトハ、勿論表面ハ適正デアリマシテ、讀ンデ字ノ如シデアリマスケレドモ、其ノ實際ハ農產物ノ價格ヲ決シテ安思フノデアリマス、其ノ點ニ關スル當局ノ御意向ヲ併セテ承リタインデアリマス尙ホモウツノ問題ハ、此ノ第一項ニアル當面セル酒精原料農產物ニ付テハ速ニ適正ナル價格ヲ以テ買上グル方針ヲ立ツベシト云フ此ノ希望條件アリマス、從來農家ガ此ノ時局ニ當リマシテ無水「アルコール」原料トシテノ甘諸ノ供出ニ銳意熱心其ノ要求ニ副フヤウニ努力致シテ居リマスコトハ、私共地方ニ居リマシテ、其ノ農家ノ努力ニ參ツテ居リマセヌケレドモ、出來得ルダケマス、ソレニ付キマシテ只今ノ所デハ、マダ之ニ要スル追加豫算ハ發表スルマデニハ御趣旨ニ副フヤウニ努力ヲ致シテ居ル所デアリマス、而モ事ハ急デゴザイマシテ、其ノ豫算ノ決定ヲ俟ツテ實行ニ著手スルコトハ、幸ニ三十二錢ト云フ價格ニ全國一樣ニ纏マリマシタ、此ノ增産ニ付テハ農林省ハ固ヨリ、大藏省ニモ專賣局ノ方ニ相當ノ技術者モ居ラレルノデアリマスカラ、相俟ツテ此ノ增産ニ努力スルコトニ兩省ノ間ニ話ガ纏マリマシタノデアリマスカラ、此ノ點ハ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス、是等ノ兩省ノ協力ニ依リ、又一般農民ノ協力ニ依リ

マシテ、是非トモ此ノ生産ヲ確保シタトイ思ヒマス、ソレカラ肥料ノ問題へ屢々此處デモ論議セラレマシテ、アノ計畫委員會ニ於テモ論議セラレタノデアリマスガ、是ハ是非トモ最低限度ノ肥料ヲ確保致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ只今色々心配ヲ致シテ居ルノデゴザイマデス、是ハ非常ニ必要ナモノデアリマスカラ、物動計畫ノ方デハ是非最小组度ノモノハ御認ヲ願ヒマシテ、サウシテ米穀次年度ニ於ケル肥料ノ供給ヲ確保致シタイト考ヘマス、尙又日本ノ勢力範圍内ニ於テモ礦石ノモノガ今アリマスカラ、之ヲ採ツテ参リマシタ、サウシテ不足ヲ補フコトガ出來マスナラバ、是ハ最モ宜イノデアリマスカラ、之ニ對スル豫算モ私ノ方カラ只今大藏省ノ方へ御願ヲ致シテ居ルヤウナ次第ゴザイマス、ソレカラ勞力調整ノ問題ハ、是ハ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、差當リノコトヲ申スナラバ、不足セル勞力ヲ如何ニ調整シテ行クカト云フ問題ト、更ニ進ンデ申スナラバ、農村ノ人口ト耕地トノ比例ヲ調整スルト云フコトニモ相成リマスノデ、是ハ全力ヲ擧ゲテ差當リノ當面ノ問題ト、續イテハ根本ノ問題トヲ解決致シタイト思ヒマスノデ、之ニ關スル追加豫算モ只今御願ヲ申シテ居ル譯ゴザイマス、ソレカラ

用排水ノ問題ハ、是ハ大體申上ダマセヌデモ、農省ト致シマシテハ相當ニ努力ヲシテ居ルノデアリマスガ、當面トシテハ別ニ追加豫算等ニハ出シマセヌケレドモ、根本ノ問題トシテ考ヘタイト思ヒマス、ソレカラ農村ノ實行團體、部落團體ニ對スル活動促進ノ問題ハ、是ハ非常ニ重大ナ要點デアリマシテ、先般來色々院内ニ於テモ御話ヲ承リマシタガ、之ニ對シテハ大體詳シイ御説明ハ只今大藏省へ要求申デアリマスカラ申上げ兼ネマスケレドモ、併シナガラ要求シタ豫算ノ立て方ハ成ベク中央若クハ地方ノ役所ニ使ハネバナラヌ人間ハ節シ得ル限り節シマシテ、ソシテ現在ノ人達デソレダケノ方面ヲ受持ツテ貰ビマシテ、ソシテ是等ノ獎勵若クハ活動ノ費用ハ、出來得ル限リ議會ノ決議ニ從ヒマシテ、最前線ノ實行組合へ廻ルヤウナ仕組ニ致シテ居リマスシ、又直接ノ團體活動費トシテモ、今日大藏省ニ御願申上ダテ居ル譯デアリマシテ、衆議院ノ決議ノ趣旨ヲ十分尊重シタル豫算ガ、何レ近日中ニ皆サンノ御協賛ヲ得ル運ビニ相成ルト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス○石坂委員 農產物價格ノ問題、殊ニ甘諸價格ノ決定其ノ他ニ付キマシテ御懇篤ナル御答辯ヲ感謝致シマス、次ニ簡單ニ御伺シ

ノ事ハ面白クナイコトダト考ヘテ居ルノデアリマスガ、依然トシテ左様ナル施設ヲ繼續致シテ居リマスガ、今日問題ニナツテ居ルヤウニ、軍馬資源ノ確保ト云フコトハ一層時局下ニ必要ナコトデアルノデアリマスガ、其ノ點カラ致シマシテモ、今申上ガル小農ノ經濟資源確保ノ點カラ、其ノ必要性ハ十分ニ論ゼラレ、且ツ當局モ其ノ點ヲリマシテ、先般來色々院内ニ於テモ御話ヲ承リマシタガ、之ニ對シテハ大體詳シイ御説明ハ只今大藏省へ要求申デアリマスカラ申上げ兼ネマスケレドモ、併シナガラ要求シタ豫算ノ立て方ハ成ベク中央若クハ地方ノ役所ニ使ハネバナラヌ人間ハ節シ得ル限り節シマシテ、ソシテ現在ノ人達デソレダケノ方面ヲ受持ツテ貰ビマシテ、ソシテ是等ノ獎勵若クハ活動ノ費用ハ、出來得ル限リ議會ノ決議ニ從ヒマシテ、最前線ノ實行組合へ廻ルヤウナ仕組ニ致シテ居リマスシ、又直接ノ團體活動費トシテモ、今日大藏省ニ御願申上ダテ居ル譯デアリマシテ、衆議院ノ決議ノ趣旨ヲ十分尊重シタル豫算ガ、何レ近日中ニ皆サンノ御協賛ヲ得ル運ビニ相成ルト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス○石坂委員 農產物價格ノ問題、殊ニ甘諸價格ノ決定其ノ他ニ付キマシテ御懇篤ナル御答辯ヲ感謝致シマス、次ニ簡單ニ御伺シ

ノ事ハ面白クナイコトダト考ヘテ居ルノデアリマスガ、依然トシテ左様ナル施設ヲ繼續致シテ居リマスガ、今日問題ニナツテ居ルヤウニ、軍馬資源ノ確保ト云フコトハ一層時局下ニ必要ナコトデアルノデアリマスガ、其ノ點カラ致シマシテモ、今申上ガル小農ノ經濟資源確保ノ點カラ、其ノ必要性ハ十分ニ論ゼラレ、且ツ當局モ其ノ點ヲリマシテ、先般來色々院内ニ於テモ御話ヲ承リマシタガ、之ニ對シテハ大體詳シイ御説明ハ只今大藏省へ要求申デアリマスカラ申上げ兼ネマスケレドモ、併シナガラ要求シタ豫算ノ立て方ハ成ベク中央若クハ地方ノ役所ニ使ハネバナラヌ人間ハ節シ得ル限り節シマシテ、ソシテ現在ノ人達デソレダケノ方面ヲ受持ツテ貰ビマシテ、ソシテ是等ノ獎勵若クハ活動ノ費用ハ、出來得ル限リ議會ノ決議ニ從ヒマシテ、最前線ノ實行組合へ廻ルヤウナ仕組ニ致シテ居リマスシ、又直接ノ團體活動費トシテモ、今日大藏省ニ御願申上ダテ居ル譯デアリマシテ、衆議院ノ決議ノ趣旨ヲ十分尊重シタル豫算ガ、何レ近日中ニ皆サンノ御協賛ヲ得ル運ビニ相成ルト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス○石坂委員 農產物價格ノ問題、殊ニ甘諸價格ノ決定其ノ他ニ付キマシテ御懇篤ナル御答辯ヲ感謝致シマス、次ニ簡單ニ御伺シ

意味ノコトガアルト思ヒマスガ、唯開墾ニ付キマシテハ、私共ハ非常ニ其ノ工事方高ク付キマシテ、隨テ生産費ガ高ク付クヤウナ開墾ハ、ソレヲ耕ス農民ノ爲ニモ相當考ヘネバナラスト思ヒマスガ、併シナガラ其ノ開墾ガ安ク上ツテ生産費ガ高ク付カナイヤウナ場合ニ於テハ、是ハ出來ル限り其ノ村々ノ更生計畫ニ基イテ考慮ヲスベキモノデアルト思ヒマスルシ、現ニ農林省モ其ノ方針ニ於テヤツテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ今御話ノヤウナ點ニ付キマシテハ、今度森林法ノ改正モ致シマシテ、ソレデ施行計畫モ立チマスカラ、サウ云フ場合ニハ十分ニ今御話ノヤウナ點ヲ考慮シマシテ、徒ニ木ヲ如何ナル所ニモ植エルト云フヤウナ施設ハ致サセマセヌケレドモ、放牧或ハ開墾ト云フヤウナ餘地ヲ適當ニ残シタイト考ヘテ居リマス、是ハ馬政局アタリニ於テモ同様ノ考ト希望ヲ持ツテ居リマスノデ、能ク實情ニ即シテ山林局、馬政局アタリニ實際ニ適スルヤウニ計畫ヲ立チサセタイ、斯様ニ存ジテ居リマス

○石坂委員 諒承致シマシタ、次ニ食糧問題、殊ニ農村ノ食糧問題ヲ他ノ觀點カラ見マシテ御意見ヲ承ツテ見タイト思ヒマス、ト申シマスノハ、米麥、主要食ノ問題ニ付キマシテハ既ニ多クノ論議ガアリマシタノデ、其ノ方面カラノ食糧問題ハ此處デ私論付、御承知ノ通リニ我ガ國民ノ主要物ヲ攝取致シテ居ルコトハ説明ヲ俟タナイ所デアリマス、而ニ米麥ノ榮養ハ澱粉質デアル、ソコデ國民體位保持ノ上カラ、國民ノ榮養ノ點カラ申シマスト、此ノ澱粉質ニ加フルニ相當ノ蛋白質ヲ攝取スル必要ガアルノデアリマスガ、幸ヒ我ガ國民ノ蛋白質ノ攝取ト云フ點カラ考ヘマスト、四面環海ノ我國ハ水產資源ハ無盡藏ト申シテモ宜シイノデアリマス、而シテ食糧政策ハ國民ニ十分ノ榮養ヲ適當ナル價格ヲ以テ供給スルコトガ根本ノ建前デナケレバナラヌノデアリマシテ、我國ニ豐富ナル海洋資源ノ開發利用ト云フコトガ、此ノ點カラ極メテ重要な問題ニナツテ參ルノデアリマス、我國ノ全般ニ食糧ヲ豐富ニ供給スル、就中農山漁村ノ人達ニ此ノ食糧資源ノ供給ヲ豐富ニスルコトガドウシテモ法要デアル、或ハ安イ鰐テ、益、海洋資源ヲ開發致シマシテ、國民ヲ供給スルコトガ必要デアル、鰐ノ肉ノ蛋

云フコトヲ申上げルノハ無理ナコトモ承知シテ居リマスガ、從來餘リ顧ミラレナカツタ斯様ナ問題ヲ、厚生省トモ御相談ナサレテ、斯ウ云フ時局柄適當ナル處置ヲ講ジテ戴キタイト云フ熱心ナル希望ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、之ニ對スル農林當局ノ御意向ヲ承ルコトガ出來レバ洵ニ仕合ニ存ジマス

○松村政府委員 國民榮養食ノ問題ハ御話ノ通リニ考ヘテ居リマス、私共ハ是ハ餘程重大ナ問題デアルト考ヘマスガ、之ニ付キマシテモ今度通リマシタ豫算、是カラ御願スル豫算ニモ其ノ點ヲ相當ニ考慮致シタノデアリマス、唯今日ニ於キマシテハ御承知ノ通リニ漁船ハ少クナリ、油ハ十分ニシタ所デ、マダ農產村ニハ供給ガ十分云フコトニナツテ參リマスト、從來ハ鮮魚ハ勿論參リマセズ、鹽魚、乾魚ト云フヤウナル魚獲物ガアルニモ拘ラズ、ソレガ果シテ十分ニ農山漁村ニ供給シテ居ルカドウカトモノニシタ所デ、マダ農產村ニハ供給ガ十分

ニ生産が減リマスコトハ、國民榮養ノ上  
カラ申シテモ洵ニ遺憾ナコトデアリマス、  
漁業ノ獎勵ト云フコトガ最モ要必デアリ  
マスノデ、其ノ點トモウ一つハ出來得  
ル限リ安イ魚介類ノ養殖ヲ獎勵致シタイ、  
是ガ一ツデアリマス、ソレカラ鰐ノ御話ガ  
アリマシタガ、是等モ同様ニ吾々ハ考ヘテ  
居ルノデアリマシテ、今度ノ追加豫算ニ通  
ルカドウカ知リマセヌガ、出來得ルナラバ  
近頃鯨ガ北海道デハ獲レマセヌケレドモ、  
北洋ヘ参リマスト、相當ニ豊富ナ魚群ガア  
ルノデアリマス、ソレデ取敢ズ今年カラソ  
レ等ノ鯨ヲ獲ツテ參ツテ、是ハ最モ榮養ガ  
アリマスカラ、國民ノ榮養食ニ充テタイ、  
斯ウ云フヤウナ計畫ヲ色々立テ居リマシ  
テ、其ノ中ノ一部ハ既ニ御協賛ヲ得タ豫算  
ノ中ニモ入ツテ居リマスシ、又はカラ御願  
スル豫算ノ中ニモ是非加ヘマシテ、國民榮  
養ノ問題ヲ考慮致シタイト存ジテ居リマス  
○石坂委員 只今ノ農山村ノ榮養ノ問題ハ  
折角今御努力中ノヤウニ拜承シマシテ洵ニ  
喜ビニ堪ヘナイノデアリマス、或ハ冷凍設  
備ノ施設ナリ、其ノ配給方法ナリ、或ハ共  
同炊事ト云フヤウナコトモ考ヘラレマセウ

ノ願ヒタイン存ジマス、最後ノ政策的ノ間題ハ農村自治制度改正ニ關スル農林大臣ノ御意見ヲ實ハ承リタインデアリマス、戰時下ニ於ケル銃後農村ノ行政ノ運營ニ對シマシテハドウ致シマシテモ新シイ方向ニ向ハナケレバナラヌノデアリマシテ、其ノ運營ノ新シイ要求ト申シマスノハ、私ハ農村ノ各種團體ノ活動ヲ綜合強化ヲスルト云フコト、又一面ニ於キマシテハ部落ノ活動ヲ促進スルト云フヤウナコトカラ致シマシテ、其ノ地方農村ノ實情ニ即シタル自治制度ノ運用ト云フコトガ最モ望マシイコトダト者ヘテ居ルノデアリマス、又斯クアラネバナラヌト考ヘテ居リマス、サウシテ農村ノ生産力ノ擴充ヲ致シ、尙ほ隣保相扶ノ美風ヲ昂揚致シマシテ本當ニ住ミ良キ農村ヲ建設スル、斯ウ云フ風ニアリタイト豫テ私ハ念願ヲ持ツテ居ルノデアリマス、先般傳ヘラレマシタ町村制改正ノ案ハ未ダ十分ニソレ等ノ私共ノ希望ニ即應シタルモノトハ言ヘマセヌケレドモ、兎ニ角現在ノ町村行政ノ缺點ヲ補フ相當ノモノデアツタト思ツタモニ提ツタノデアリマシテ、且ツ法案ガ議會ニ提出致サレマシタナラバ意見モ申上ゲマセウシ、又其ノ法案ヲヨリ完全ナルモノニスルコトモ出來タデアラウト實ハ非常ニ期待ヲ

致シテ居リマシタ所ガ、遂ニ提案ヲ見ナカ  
ツタ、結局今期議會ニハ提案ガナイヤウニ  
想像サレテ居リマスガ、農林大臣ハ農林行  
政ヲ刷新ト云フ見地カラ、延イテハ銃後農  
村ノ充實ト云フ點カラ、來ルベキ機會ニ於  
キマシテ出來ルダケ案ヲ練ツテ自治制度ノ  
改正ノ案ヲ提出シテ戴キタイト熱望シテ居  
リマスガ、ソレニ對スル農林大臣ノ御意圖  
ノ存スル所ヲ實ハ承リタカツタメアリマ  
シテ、只今此ノ席ニオ居デニナリマセヌガハ  
其ノ點ハ何レカノ機會ニ此ノ委員會デ御答  
辯ガ願ヘレバ仕合セグト思ヒマス、其ノ點  
委員長ナリ政務次官ニ御含ミ置キヲ願ツテ  
置キタイト思ヒマス、一應此ノ際次官カラ  
答辯ヲ戴キタイ  
○松村政府委員 其ノ點ハ國務大臣トシテ  
ノ問題デゴザイマスノデ、私カラ御答スルノ  
ハ甚ダ妥當デナイト考ヘマスカラ、大臣ニ  
御話ノ點ハ申上ゲマシテ適當ナ機會ニ御答  
申上ゲマス

○石塙委員 簡條的ニ伺ヒマス、其ノ第一  
點ハ戴キマシタ主要事項案ト云フモノノ第  
一條ノ勅令事項ノ「本條ニ依リ許可ヲ受ク  
ルコトヲ要スル地域ヲ定ムルコト」ト云フ  
コトガアリマスガ、此ノ地域ト云フコトガ  
先般二應御説明ガアリマシテ、市場ノ地域

ト此ノ地域ト、市場ノ方ハハツキリ致シマ  
シタガ、此ノ點ガハツキリ致シマセヌデシタ  
カラ、モウ一遍御説明ヲ願ヒマス、ソレカ  
ラ勅令事項ノ第三ノ許可ヲ受ケタル者死亡  
シタル場合其ノ相續人ノ問題デスガ、是ハ  
私ノ申上ゲ方ガ少シ理窟ツボクナルカモ分  
リマセヌガ、死亡ニ因ル相續ト言ヘバ、御  
承知ノ通リニ戸主ニアラザル者ノ死亡、即  
チ遺産相續ノ場合ト家督相續ノ場合ト兩方  
アリマスガ、其ノ兩方ヲ勿論合ヌテノコト  
ダト思ヒマスガ、サウデアリマスカト云フコ  
ト、ソレカラ死亡致シマシテモ直グニ相續人  
ガ決ラナイ場合ガアル、相續人ガナイケレド  
モ、商賣ヲ始メタイト云フ、結局相續人ガ選  
定サレテ決ルコトニナリマスガ、ソレマデ時  
間的ニハ一箇月或ハ數箇月ノ餘裕ガアル、サウ  
云フ場合ノ取扱ヲドウナサルカト云フコト、  
ソレカラ是ハ死亡ノ場合ノミヲ豫想シタヤ  
ウデアリマスケレドモ、一家ノ中ニハ隠居  
ニ因ル家督相續ト云フヤウナコトガアルノ  
デアリマシテ、隠居ノ場合ニハドウ云フ御  
扱ヒニナリ積リカト云フコト、サウシテ此  
ノ三項ニ「不許可ノ處分アル迄」ト云フコトモ  
アリマスノデ、家督相續ニ因ル場合、遺產  
相續ニ因ル場合ニ相續人カラ願出シテモ許  
可サレナイ場合モ想定シテアルヤウデアリ

マス、隨テソレダケ當業者ハ將來ニ非常ニ  
不安ヲ感シマス、色々氣ヲ廻シテ考ヘマス  
ト、段々業者ヲ少クシテ行ツテ所謂取潰サ  
レルヤウニナツテ行クノデハナイカト云、フ  
懸念モアリマスカラ、其ノ點モ、明快ニシ

穀ノ取扱業ヲ致シテ居ツテ、其ノ親が死ニ、或ハ隠居シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテノ相續人ニ付キマシテハ、餘程其ノ事情ガ變ツテ參リマスノデ、手續ハ踏マセルコトニ致シマスガ、大體ハ實際上ニ於テハ許可ヲ爲シテ行ク考デ居リマス、唯法定

程不信用ナ場合ト云フヤウナ特別ノ場合ニ  
ハ許可シナイコトガアルカモ知レナイ、斯  
ウ云フ風ナ御説明デ能ク分リマシタ、尚ホ  
ソレニ關聯致シマシテ商業上ノ所謂譲渡ノ  
場合、サウ云フ場合モ相當信用ノアル人ガ  
營業ノ譲渡ヲ受ケレバ、家督相續ノ場合ニ

トハ、其ノ許可ヲ爲シマス場合ノ好イ條件  
トナツテ斟酌サレル點デアラウト思ヒマス  
○石坂委員 此ノ許可ノ管轄廳ハ何處ノ管  
轄ニナルノデアリマスカ、尙ホ地方廳ハ何  
處デソレヲ扱ハレルカト云フコトヲ御説明  
ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 地區ノ問題デアリマスガ、  
是ハ本法第一條ノ關係ハ全國ニ直チニ布ク  
必要ハナイデハナイカ、本法制定ノ目的ニ  
從ヒマシテ其ノ地區ヲ決メテ行キタイト、  
斯様ニ考ヘテ居リマス、其ノ點ニ付テハ、  
ソレハ勅令ヲ制定スル迄ニハ決メテ行キタ  
イト思ヒマスケレドモ、先程申シマシタヤ  
ウニ、大體配給統制ノ必要上カラ、斯ウ云  
フ制度ヲ布イタノデアリマスカラ、先ヅ一  
番ハツキリ申上ゲラレル點ハ、市場ノ地區  
等ハ勿論此ノ地區中ニ入レテ考ヘラレルモ  
ノデアルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマ  
ス、ソレカラ第二番目ノ相續ノ問題デアリ  
マスガ、勿論此ノ許可ノ問題ハ物的設備等  
ノ物件ニ關シテノ許可デナクシテ、人ヲ對  
象トシテノ許可デアリマスカラ、理論的ニ  
言ヘバ、是ハ人毎ニ、人ガ送レバ之ヲ許可  
シテ行クト云フ建前ガ至當デアラウト思ヒ  
マスカラ、大體サウ云フ建前ニナツテ居リ

推定家督相續人ハ親ガ死ネバ當然其ノ後ヲ繼グノデアリマスガ、中ニハ不信用ナ者デ相當社會的ニ持テ餘サレテ居ル者ニ付キマシテハ、ソレガ米穀ノ配給ニ携ハルコトガ不適當ナ場合モアラウト思ヒマスノデ、サウ云フ場合ハ能ク事情ヲ調査ノ上、或ハ不許可ノ場合ガアルカト考ヘマスノデ、斯ウ云フ規定ヲ置イタ譯デアリマス、大體ニ於キマシテハ相續ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、手續ヲ踏マセルコトニ致シマシテ、實際上ニハ許可ヲサレテ行クモノト、斯様ニ御承知置キ下サツテ結構ダト思ヒマス、ソレカラ特ニ此ノ場合死亡ト書キマシタガ、是ハ隠居ノ際ノ相續人ノ場合モ同様ノ考ヲ以テ行キタイト思ヒマス、又相續人ノ決マラナイ場合ハ推定相續人ト云フ者モ是モ同様ニ、ヤハリ考ヘラレテ行クト思ヒマス、能ク其ノ場合ニ依ツテ實際ノ運用ヲシテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

ト事情ガ違ヒマスケレドモ、ヤハリ前ノ其  
ヅテ居ル營業ノ讓渡ヲ全部受ケルノデアリ  
マスカラ、商法ハ之ヲ認メテ居リマス、唯  
營業讓渡ノ場合ニ公ニ知ラセル方法デアリ  
トガ、債權者、債務者ニ對スル關係ナドハ  
改正商法ニハ御承知ノ通リニ色々シイ規  
定ヲ設ケマシタガ、兎ニ角現行商法モ改正  
商法モ其ノ點ハ認ヌテ居リマスカラ、其ノ  
場合ニモ讓受人ガ人的ニ甚シク不信用デアリ  
ルトカ何トカ、サウ云フ特別ノ者デナイン  
リハ、ヤハリ此ノ許可ヲサレテ然ルベキデ  
アラウト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ何力会  
マデ御考ニナツタコトハアリマセヌカ  
○周東政府委員　營業讓渡ノ場合ニ於キマ  
シテモ法制ノ建前ト致シマシテハ、ヤハリ  
其ノ人ニ就テ手續ヲ取ツテ戴キ、サウシテ  
許否ヲ決定スル積リデアリマス、御話ノキ  
ヴナ營業讓渡ノ場合、讓受人ノ信用ト云フ  
ヤウナモノガ非常ニ好イトカ、或ハ從來ノ

○周東政府委員 大體許可ヲ致シマスノハ  
地方廳ニ致シテ行ク積リデ居リマス、地方  
長官ニヤラレルノデアリマスガ、地方廳ニ  
於ケル主管課ヲ何レニ置クカト云フコトニ  
付キマシテハ、實施マデニハ能ク内務省ト  
モ協議ヲ致シマシテ決メタイト思ヒマス  
○石坂委員 第四條ノ場合ハ、先日來ノ御  
説明ニ依リマシテ、是ハ極端ナ場合詰リ其  
シク賣惜ミ若クハ買溜メヲヤツタヤウナ場  
合ニ發動スルモノデアツテ、所謂傳家ノ寶  
刀デアル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルヤ立  
デアリマス、ソコデ之ニ關聯致シマシテ御  
尋ヲ致シタイト思ヒマスノハ、今ノ傳家ノ  
寶刀デアツテ極端ナ場合ニ發動スペキモノ  
ダト云フコトハ分リマシタガ、是ト法案第  
十九條ノ關係デアリマス、第十九條ト第四  
條トノ關係ハ大體ニ於テ此ノ命令ノ對象物  
デアル人ガ違フダケデアルノカ、命令ノ内  
容自體ガ違ツテ來ルノデアリマセウカ、其

マスガ、勿論此ノ許可ノ問題ハ物の設備等  
ノ物件ニ關シテノ許可デナクシテ、人ヲ對  
象トシテノ許可デアリマスカラ、理論的ニ  
言ヘバ、是ハ人毎ニ、人ガ送レバ之ヲ許可  
シテ行クト云フ建前ガ至當デアラウト思ヒ  
マスカラ、大體サウ云フ建前ニナツテ居リ  
マス、併シナガラ御話ノヤウニ從來親ガ米

○右坂委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ餘能ク其ノ場合ニ依ツテ實際ノ運用ヲシテ行様ニ、ヤハリ考ヘラレテ行クト思ヒマス、又相續人ノ決マラナイ場合ハ推定相續人ト云フ者モ是モ同様ニ、ヤハリ考ヘラレテ行クト思ヒマス、又相續人ノ場合ノ際ノ相續人ノ場合モ同様ノ考ヲ以テ行キタイト思ヒマス、又相續人ノ決マ

○周東政府委員 营業譲渡ノ場合ニ於キシテモ法  
シテモ法制ノ建前ト致シマシテハ、ヤハリ  
其ノ人ニ就テ手續ヲ取ツテ戴キ、サウシテ  
許否ヲ決定スル積リデアリマス、御話ノヤ  
ツナ營業譲渡ノ場合、譲受人ノ信用ト云フ  
ヤウナモノガ非常ニ好イトカ、或ハ從來ノ  
アツタモノノ譲渡ヲ受ケタト云フヤウナコ

寶刀デアツテ極端ナ場合ニ發動スペキモノ  
ダト云フコトハ分リマシタガ、是ト法案第  
十九條ノ關係デアリマス、第十九條ト第四  
條トノ關係ハ大體ニ於テ此ノ命令ノ對象物  
デアル人ガ違フダケデアルノカ、命令ノ内  
容自體ガ違ツテ來ルノデアリマセウカ、其  
ノ點御説明ヲ願ヒタイ

○石坂委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ餘

アツタモノノ譲渡ヲ受ケタト云フヤウナコ

ノ點御説明ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 是ハ第十九條ノ方ハ、先づ市場員ニ付テ命令ノ發動ヲ致ス場合デアシテ、是ハ市場ニ於ケル取引ト云フモノニ付テ規制ヲ加ヘテ行ク必要ノアル場合出テ行フ規定デアリマス、市場員ニ對シマシテ必要ナ或ル程度ノ命令ヲ致シマシテモ尙且ツ全體ノ配給上ニ於テ徹底セズ非常ニ不都合ガ生ジマスヤウナ場合ニ於キマシテハ、市場員ニアラザル米穀ノ配給業者ニ對シマシテ命令ガ出、更ニ配給業者ノミニ於テモ尙ホ徹底シナイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、順次此ノ間申上ゲマシタヤウニ、地主等ニ參ル譯デアリマス、其ノ必要ナ度合、其ノ狀況ニ依リマシテ自ラ變ツテ參ルコトデアラウト思ヒマス

○石坂委員 其ノ發動ノ場合ニ委員會ヲ設

置致シマシテ、其ノ議ヲ經テ、然ル後ニ發動スル、斯ウ云フコトモ一案デハナイカト思ヒマスガ、左様ナ點ニ付テノ御考慮ハナイノデアリマセウカ

○周東政府委員 本法ノ規定カラハ直ニ委員會ニ掛ケテ決スルト云フ風ニ考ヘテ居ラヌノデアリマス

○石坂委員 先程聽キ落シタノデスガ、第一條ノ地域ノ御説明ガドウモハツキリ致シマセヌ、凡ソ全國ヲドノ位ノ地域ニ分ケル

カ、地域ト地區デスガ、第一條ハ地域ニナツテ居リマス、全國ガ幾ツ位ノ地域ニナルノデアリマセウカ

○周東政府委員 是ハ必要ナ地域ニ限ツテ其ノ中ニ於テ營業致スモノニ付テ許可ヲ致スト云フ建前デアリマス、併シナガラ其ノ地域ヲドウ云フ風ニ定メルカト云フコトガ御質問ノ點ニナルト思ヒマスガ、是ハ本法ノ目的ガ米穀配給統制ノ貫徹ヲ期スルト云フコトト、ソレカラ勿論其ノ反面ニ於キマシテハ業者ノ安定向上ト云フコトニアルノデアリマスガ、主トシテ是等ノ兩方ノ點カラアリマスガ、主トシテ是等ノ兩方ノ點カラ考ヘマシテ、先づ市場ノ設置サレル區域ノ中ニ營業所等ヲ設ケテ居ルモノニ付テハ勿論第一ニ考ヘラレル點デアリマス、其ノ次ニハ小賣商、卸商ニ付テハ多少地域ニ付テ差異ガ起ルノデハナイカト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ商工省トモ連絡致シマシテ、最後的ニ地域ヲ決メタイト思ヒマス

○石坂委員 第八條ニ付テ伺ヒマスガ、第八條ノ但書ニ依リマスト「命令ヲ以テ定ム

ル場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラズ」所ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、同條ノ勅令事項

ハ第一項ノ命令事項ト致シマシテ、「現物取引ニ於テハ市場員ニ非ザル者ト雖モ市場員

トノ取引ヲ爲スコトヲ得ルモノトスルコト」

斯ウ云フ規定ニナツテ居リマス關係上、此

ノ現物ニ對シテ市場員デナイ者ガドン

トナツテ居リマスカラ、消費者ト買ヒニ參ルコトニナリマスカラ、消費者ト

産業組合トノ直接ノ取引ガ多クナル結果ニ

ナルダラウト想像サレルノデアリマス、サ

ウ致シマスト白米商ト云フモノハ實際第一

條デ許可ヲ受ケテ置キマシテモ、段々商賣

ガ、實際市場ニ於キマシテ現物取引ヲ、第八

條ノ但書デ認メタヤウナコトニナルト、段々

白米商ノ商賣ガナクナツテ來ルト云フ心配

イカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○石坂委員 只今ノ點ハ成程理窟ノ上デハ

テ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付テ何等變

更ヲ加ヘル譯デハゴザイマセヌノデ、小賣商ノ御心配ノヤウナ點ハ起ラナイノデハナ

テ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付テ何等變

更ヲ加ヘル譯デハゴザイマセヌノデ、小賣

商ニ行ツテ、市場員デアル方カラ米ヲ買ツ

マシテハ現在ニ於キマシテモ小賣商ハ正米

市場ニ行ツテ、市場員デアル方カラ米ヲ買ツ

ル米穀ノ取扱業者カラ、米ヲ買得ルト云フ

コトヲ書ク積リデアリマス、此ノ點ニ付キ

ナイノデアリマス、ソレニ依ツテ特ニ小賣商ガ排除サレテ、個々ノ消費者ガ其處ニ米ヲ買ヒニ行クト云フコトニハナラヌノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

○石坂委員 勿論市場へ升一升二升買ヒニ

タノガ悪カツタノデアリマスケレドモ、或  
ハ一石ヲ單位ニスレバ二十五人以上ノ組合  
ナドハドン／＼直接ニ買ヒニ來ルノデハナ  
イカト考ヘラレマス、大體ドノ位ノ石數ヲ  
單位ニシテヤラレルノカ、又一升、二升  
ニシタ所ガ二十五人以上ノ消費組合ヲ作ツ  
タ際ニハ其ノ組合ガ買ヒニ行クヤウナコト  
ガアリハシナイカ、サウ云フ懸念ガアルノ

マス  
大體今ノ所二十五俵位ヲ單位ニ考ヘテ居リ  
多少ノ變更ガ起リハセヌカト思ヒマスガ、  
フト思ヒマス、大キナ市場ニ行キマシテハ

○石坂委員 第八條ノ第一項ノ命令事項、

ノ委託ヲ受ケタル場合ニ限り米穀市場ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ルモノトスルコ

ト」斯ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、大體臺  
灣米ノ委託販賣ヲ此ノ會社デヤラレルト云  
フコトハ承知致シマシタガ、政府ハ從來ノ  
拂下米ヲ此ノ會社ニ委託シナイ場合ガアル

○周東政府委員 大體ニ於キマシテハ是ハノデセウカ、其ノ點ハ如何デセウカ

場合モ考ヘテ居リマス、今々質問ハ恐ラク  
從來ノ應召軍人遺家族、或ハ災害地ニ於ケ  
ル應急處置トシテノ米ノ拂下ト云フヤウナ  
コトヲ御考ニナツテ居ルノダト思ヒマスガ、

ソレ等ハ勿論政府ガ直接ニヤツテ行カウト  
思ツテ居リマス

斯ウ云フヤウナコトノ規定デハナイカト思ヒマスガ、若シサウダトスルト是ハ日本米穀株式會社ノ業務ニ參與スル理事ガ、其ノ市場デ現物取引ヲスルト云フコトハ弊害ヲ

生ズルコトニナリハシナイカヲ恐レマスガ  
其ノ點ハ如何デスカ

○周東政府委員 是ハ少シ書キ方ガ拙カツ  
タト思ヒマスガ、是ハ大體參與理事ト書ク

積リダツタノデス、業務ヲ擔當スル理事ニアラズシテ、參與理事ト云フヤウナモノヲ置ク積リデアリマスガ、ソレ等ハ現物ノ取引ノ市場員ニナルコトモ差支ナインゾハナ

○石坂委員 ソレナラバ能ク分リマス、ソ  
イカト云フ範圍デ之ヲ認メタノデアリマス

前回、局長より御詫び申す。ノーデ、モウ一遍伺ひマス、第十一條ノ勅令ノデ、ノーニ「米穀取扱業者」トアリマス、「取扱業者」及「其ノ團體」ト云フノハドウ云フモノヲスガ、私ハ其ノ時十分ニ聽キ取レナカツタ

指シテ居ルノカト云フコトヲ伺ヒタイ  
○周東政府委員 此ノ「米穀取扱業者」ト云  
フノハ大體卸賣若クハ問屋ト云フモノヲ考  
ヘテ居リマス、ソレカラ團體ニ付キマシテ  
ハ商業組合ヲ考ヘテ居リマス

デ米穀取扱業者ノ業態別全國數及ビ道府縣別概數調ト云フノガアリマス、其ノ中ニ「卸商、小賣買出人」トスウ云フ風ニ三種類ニ分ケテアリマスガ、此ノ資料ノソレト十一

條ノ只今御伺致シマシタ勅令中ノ米穀取扱業者ト云フモノハ必ズシモ一致致シマセヌ

○周東政府委員  
サウヂス  
ネ

○石坂委員 尚ホモウ一ツ御伺致シマス、  
是モ一回御説明ガアリマシタノデスガ、第  
五條ノ第三項ノ「類似ノ施設」ト云フノガア  
リマス、ソレハドウ云フ意味デ、ドノ位ノ範

園ノモノヲ言ウテ居ルノカト云フコトヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

五條ノ第三項ニ言フ類似施設トス様ニ考ヘ  
出來ル譯デアリマスガ、其ノ各取引所ニ於ケ  
場、ソレカラ未著物取引市場ト云フモノガ  
ル取引施設ト同様ナ類似ノ施設ヲ指シテ、

テ居リマス、隨ヒマシテ例ヲ取ツテ申シマスレバ、本法ニ依ツテ設ケル實物市場ハ、大體五日以内ニ受渡ヲ致シ、見本又ハ銘柄、等級別ニ相對賣買ノ方法デヤルト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレト同様ナ施設ヲノノニ多數ノ賣手ト買手ガ集ソテ取引シ、ノノニ多數ノ賣手ト買手ガ集ソテ取引

ヲ致シマスヤウナ施設ヲ假ニ致シマシタ場  
合ニ於テハ、是ハ第五條ノ第三項ノ規定ニ  
當ツテ、類似施設ト認メテ行ク積リデアリ  
マス

○石坂委員 尚ほ簡単ナコトデアリマスガ、

手數料ヲ御取りニナル御意思デアリマセウ

